

福岡市 教育データブック

(平成24年度版)



福岡スタンダードキャラクター
「スタンバード」

福岡市教育委員会

はじめに

平成21年6月に策定した「新しいふくおか教育計画」において、「基本的生活習慣を身につけ、自ら学ぶ意欲と志を持ち、心豊かにたくましく生きる子どもをはぐくむ」ことを福岡市の教育の目標として定め、3年が経過しました。

今後は、「新しいふくおか教育計画」の取組が、目標の実現に向かっているのか検証していく必要があります。そのためには、学校教育に関するさまざまな事象を数量的にとらえ、分析・評価することが必要不可欠です。

本冊子は、「新しいふくおか教育計画」資料編で示した「基礎データ」に、平成19年度から実施された全国学力・学習状況調査結果や平成22年度からの生活習慣・学習定着度等調査の統計データを加え、構成したものです。

編集や構成にあたっては、視覚的にとらえ、数年の経年も比較し易くなるようにグラフで示すなど、本市の子どもたちの教育に関するデータを紹介しています。

今後も教育に関するデータを集約し、教育施策検討の際の資料になるよう努めていきたいと考えています。

平成24年10月

福岡市教育委員会
総務部総務企画課

も く じ

I 子ども

1 基本的生活習慣	2
2 学力	8
3 学習習慣・家庭学習	20
4 進路状況	27
5 自尊意識・規範意識	30
6 体格・疾病	34
7 体力・運動能力	37
8 メディアとの接触	40
9 不登校・いじめ・暴力行為	42

II 学校

1 学校数等	45
2 学校施設の状況	48
3 特色ある教育	50
4 地域の人材活用状況	53
5 学校情報の提供	55
6 特別支援教育	56
7 ICT環境	61
8 その他の状況	63

III 教職員

1 教職員	66
2 教職員の研修状況	68
3 教員の休職状況	69
4 体罰・処分	70

IV 家庭・地域

1 家庭状況	72
2 子どもとのかかわり	73

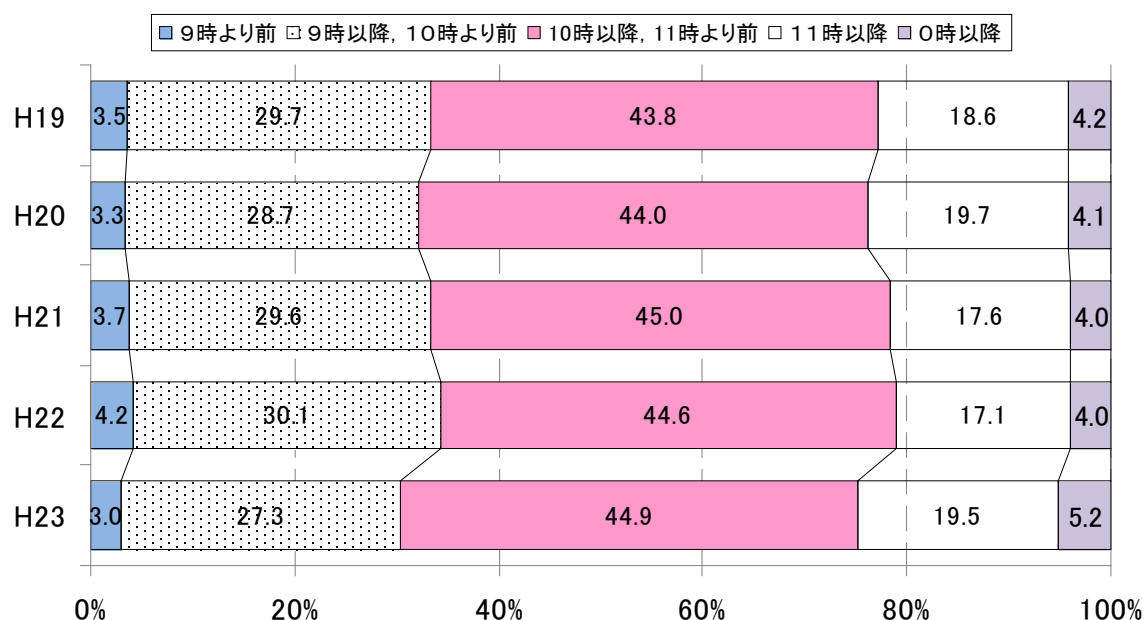
利用にあたって

- 四捨五入の関係で、計と内訳の合計が一致しない場合があります。
- 23年度の全国学力・学習状況調査は、東日本大震災の関係で9月に行われています。

I 子 ど も

I－1 基本的生活習慣

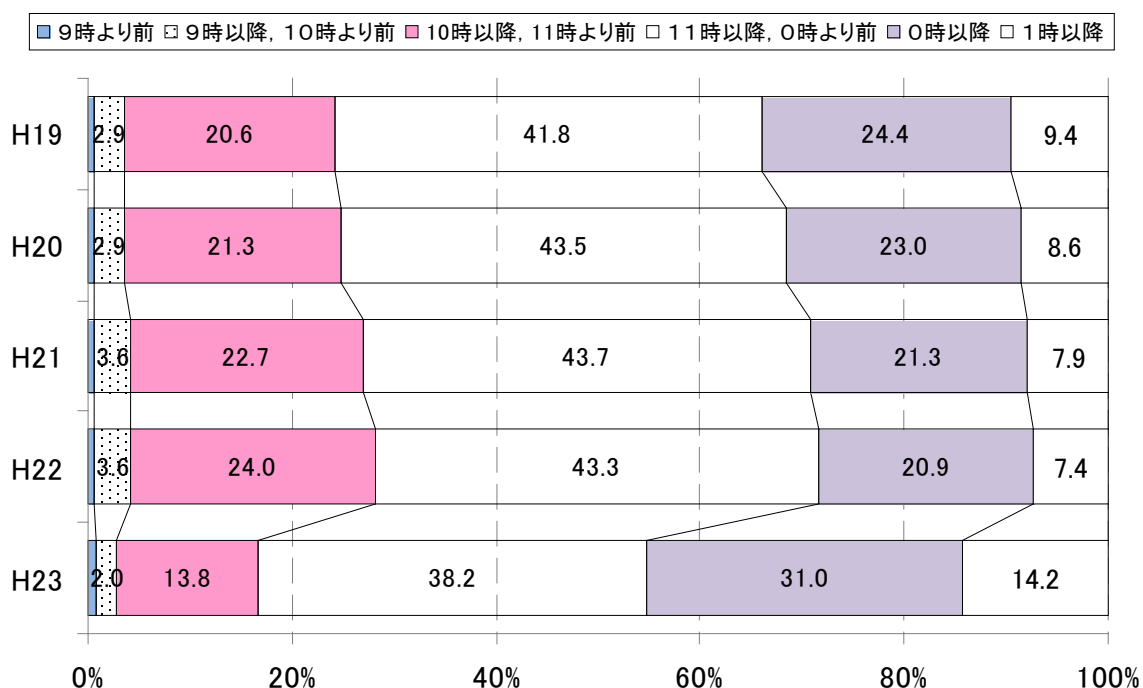
I－1－1 就寝時刻（小学校6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■ 小学校6年の就寝時刻は、19年度以降大きな変化はない。「10時以降, 11時より前」が最も多い。

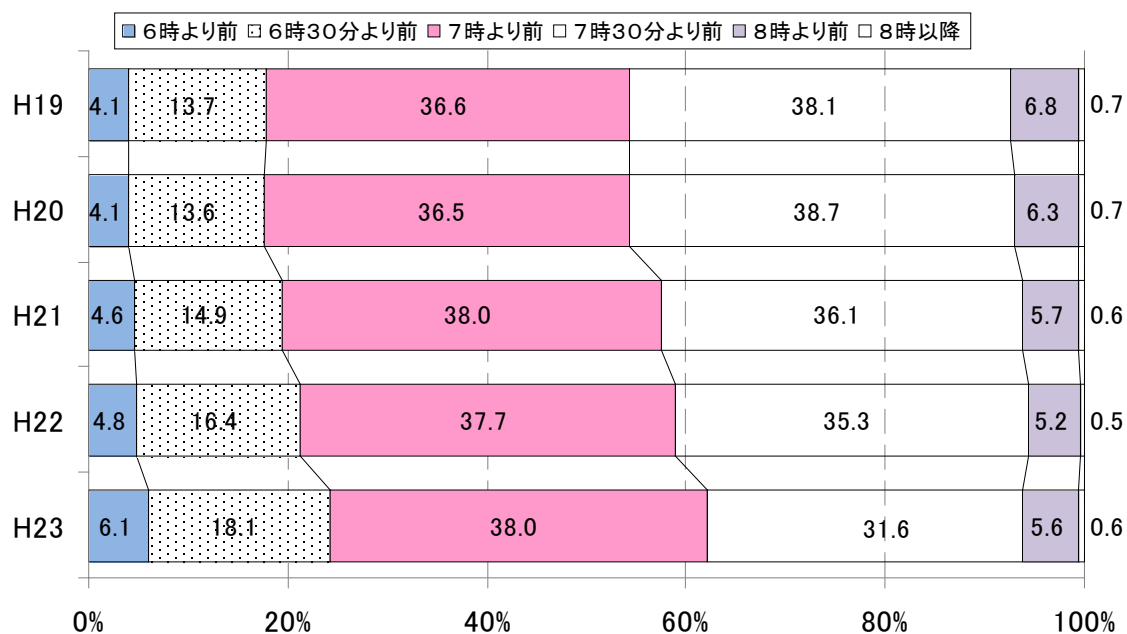
I－1－1 就寝時刻（中学校3年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■ 中学校3年の就寝時刻は、「11時以降, 0時より前」が多い。23年度は、「0時以降」の割合が増加している。

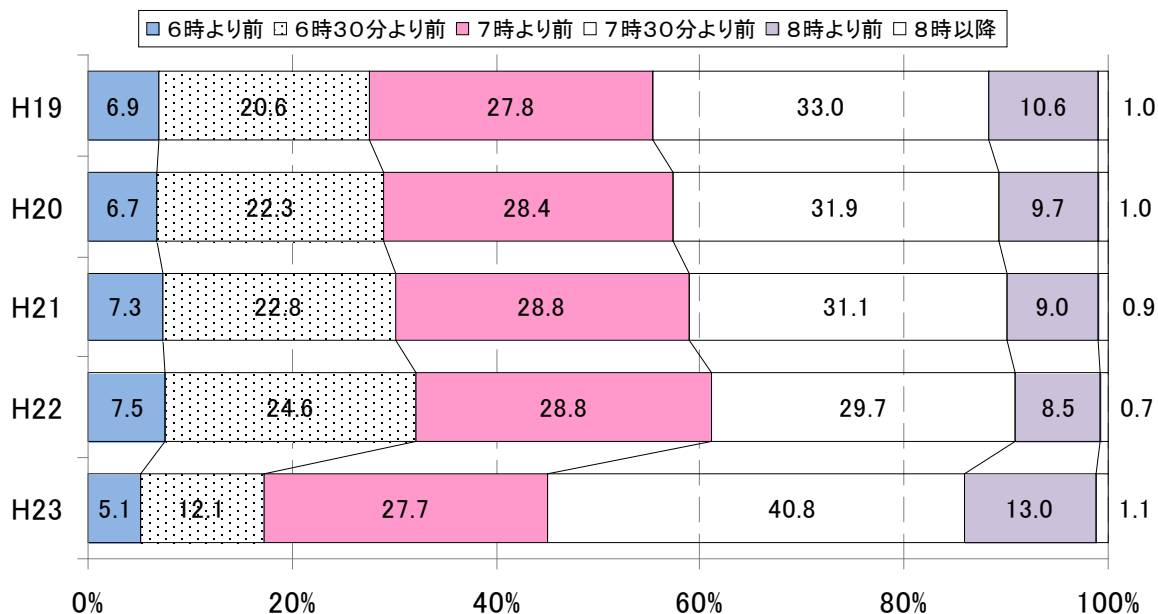
I－１－２ 起床時刻（小学校６年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■ 小学校６年の起床時刻は、次第に早くなってきており、「６時３０分以降、７時より前」に起床している児童の割合が最も大きい。

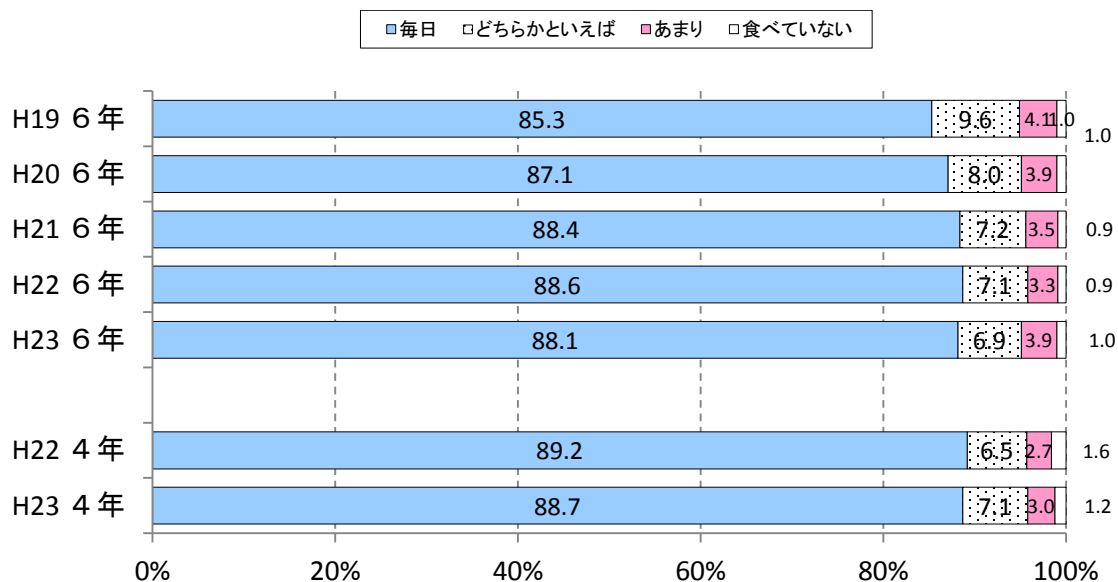
I－１－２ 起床時刻（中学校３年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■ 中学校３年の起床時刻は、「７時以降、７時３０分より前」に起床している生徒の割合が増加している。

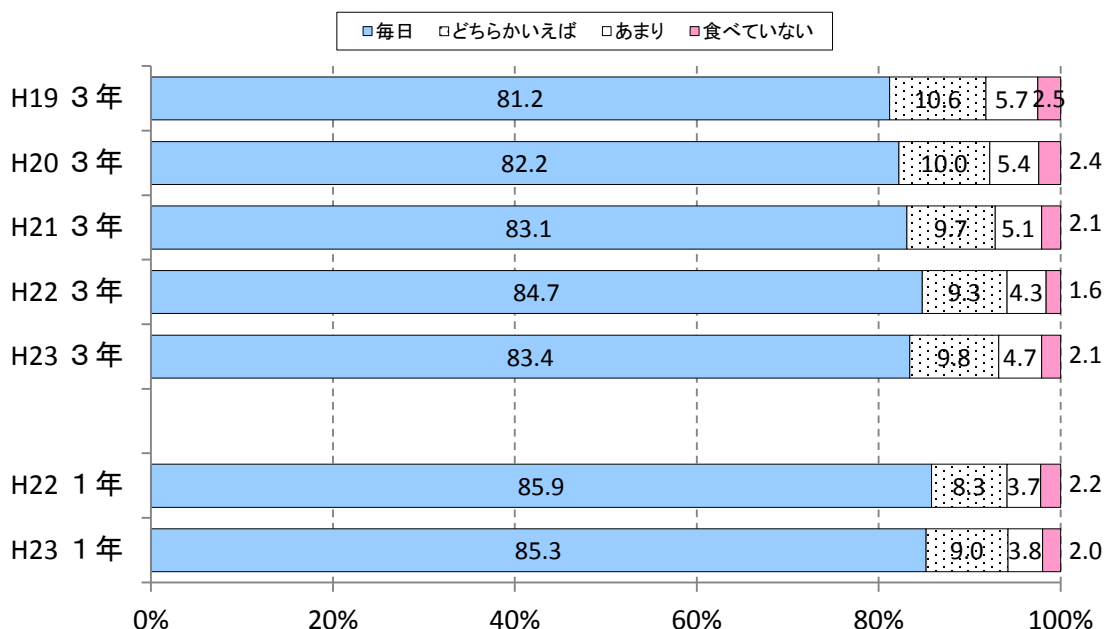
I－1－3 朝食の摂取（小学校4・6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査（小6）」・「生活習慣・学習定着度調査（小4）」

■毎日朝食を食べる児童の割合は、小学校4，6年とも90%弱であり、安定した割合で推移している。

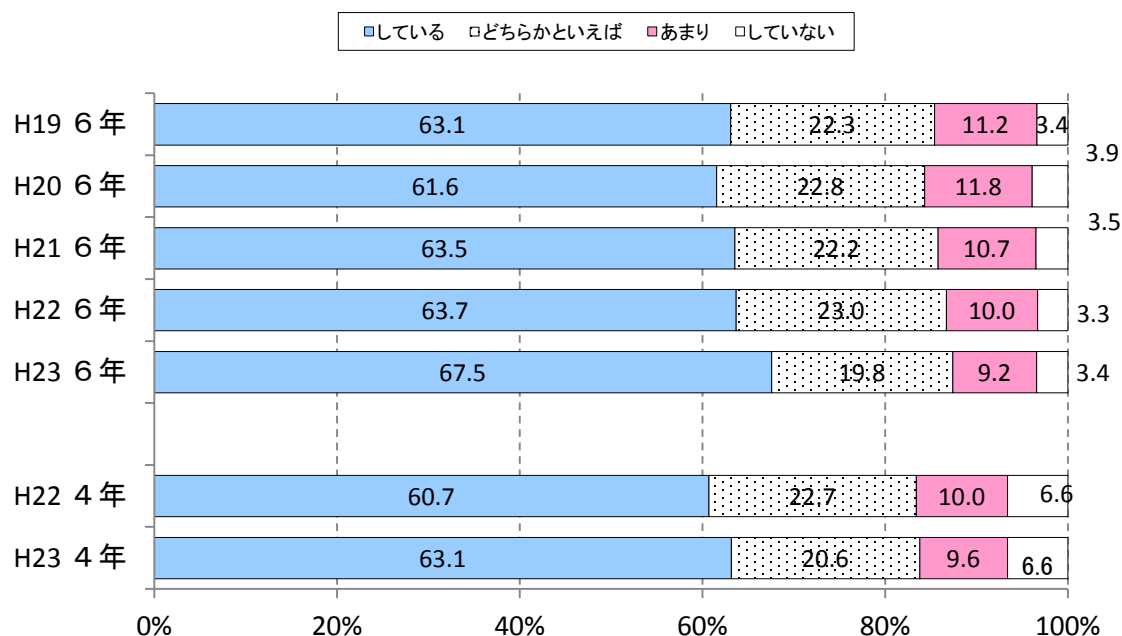
I－1－3 朝食の摂取（中学校1・3年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査（中3）」・「生活習慣・学習定着度調査（中1）」

■毎日朝食を食べる生徒の割合は、中学校1，3年とも80%強である。

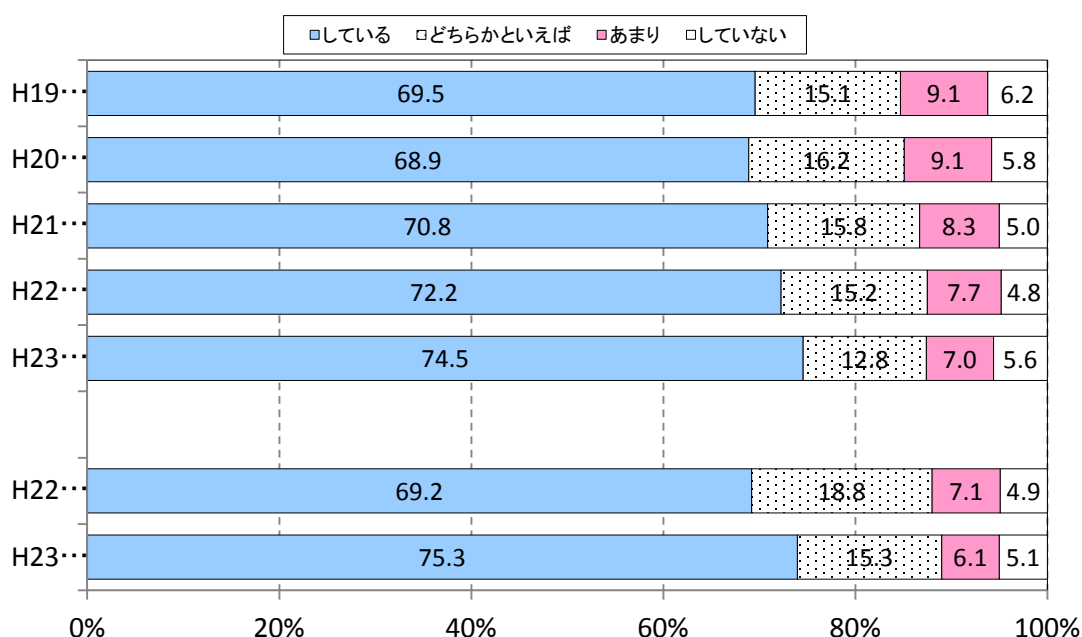
I-1-4 学校に持っていくものの事前確認（小学校4・6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査（小6）」・「生活習慣・学習定着度調査（小4）」

■学校に行く前に持ち物を確認している小学校4，6年の児童の割合は，年々増加している傾向にある。

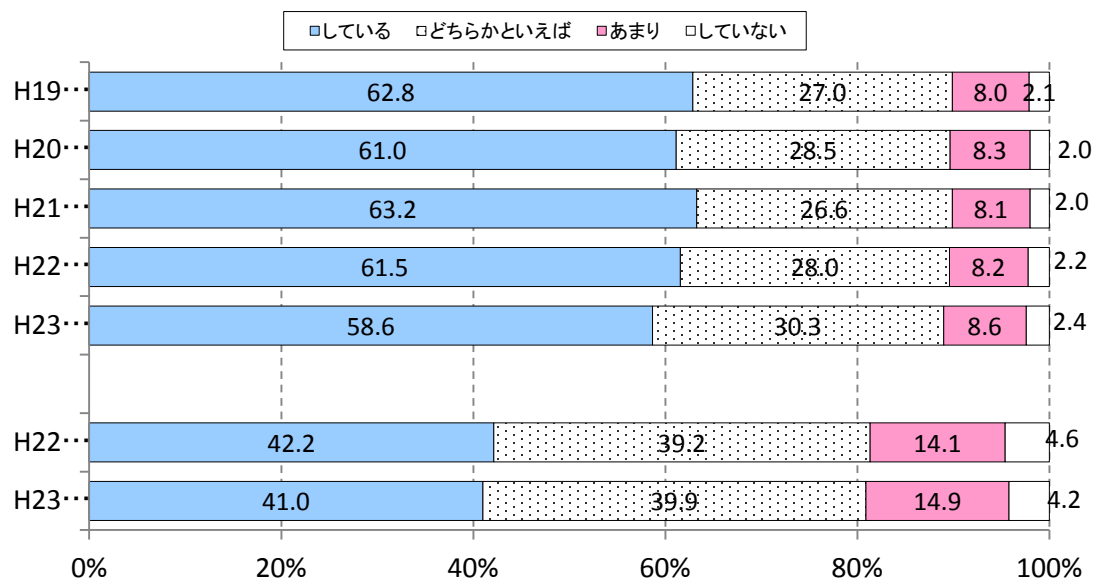
I-1-4 学校に持っていくものの事前確認（中学校1・3年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査（中3）」・「生活習慣・学習定着度調査（中1）」

■学校に行く前に持ち物を確認している中学校1，3年の生徒の割合は，年々増加している傾向にある。

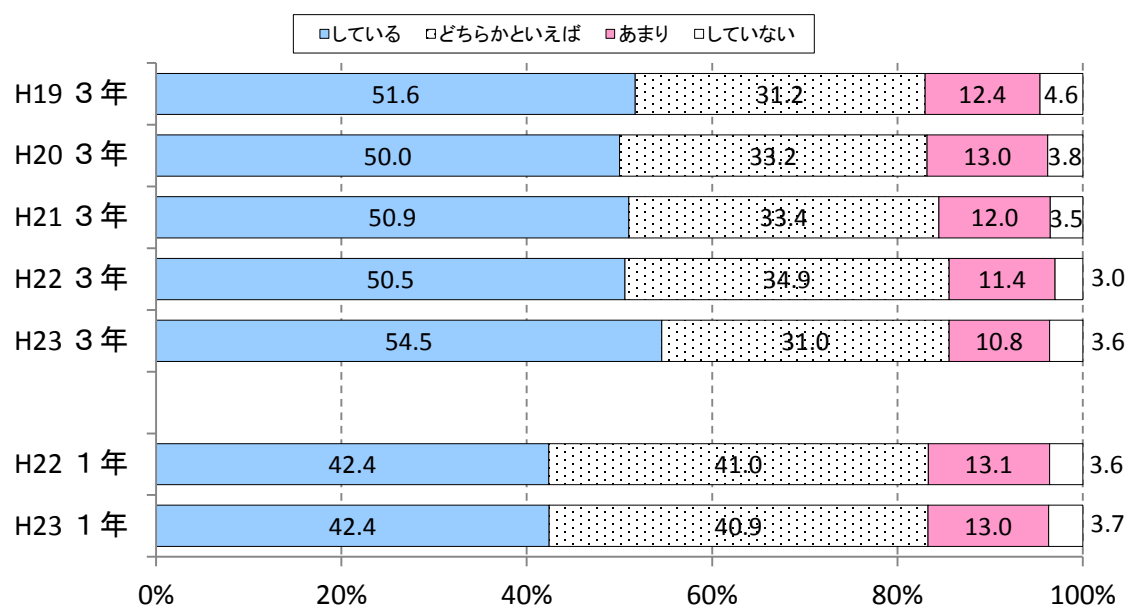
I-1-5 近所の人へのあいさつ（小学校4・6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査（小6）」・「生活習慣・学習定着度調査（小4）」

■近所の人へあいさつを「している」「どちらかといえばしている」小学校6年の児童の割合は、90%弱と高い割合で推移している。

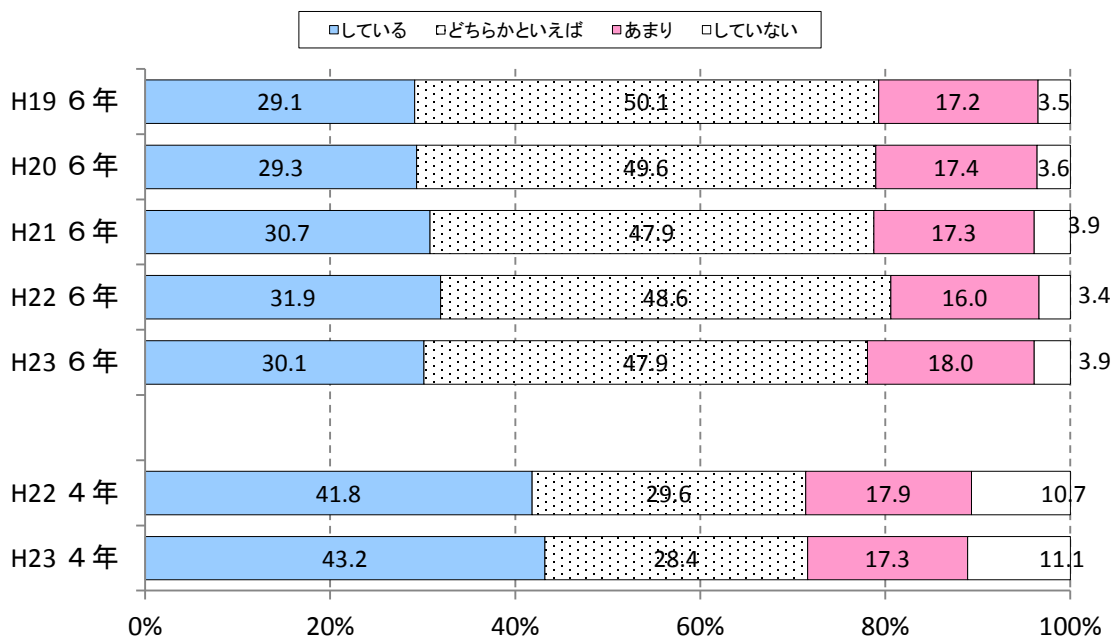
I-1-5 近所の人へのあいさつ（中学校1・3年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査（中3）」・「生活習慣・学習定着度調査（中1）」

■近所の人へあいさつしている中学校3年の生徒の割合は、増加している傾向にある。

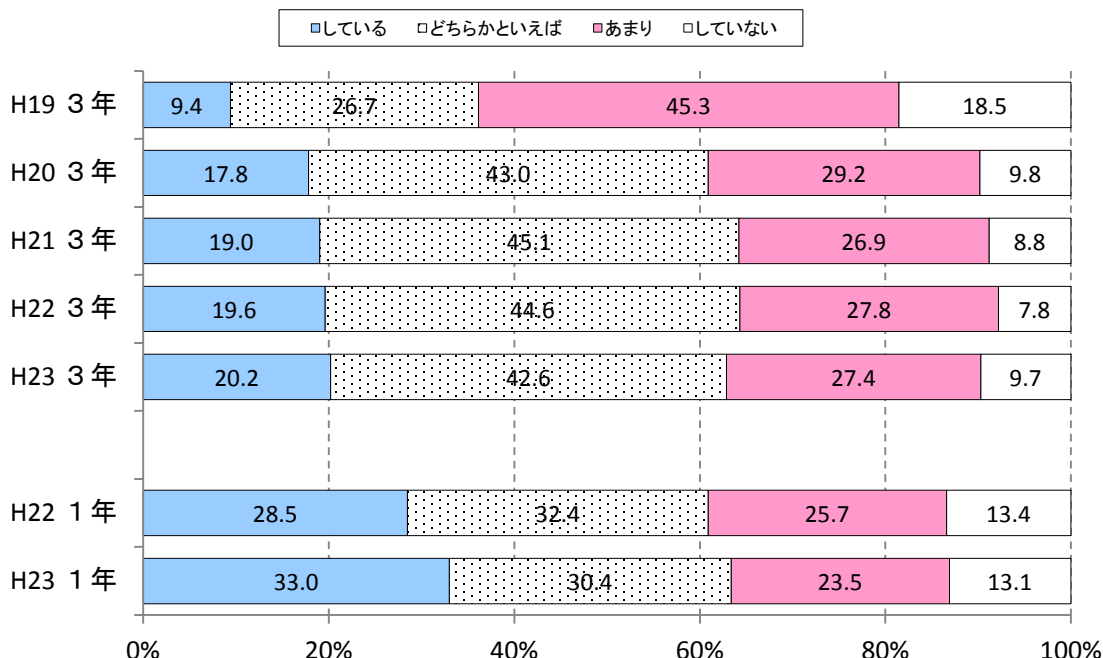
I-1-6 家の手伝い（小学校4・6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査（小6）」・「生活習慣・学習定着度調査（小4）」

■ 小学校6年での家の手伝いを「している」割合に変化は見られない。「していない」割合は小学校4年で約10%前後であり、小学校6年では、約4%弱で推移している。

I-1-6 家の手伝い（中学校1・3年）

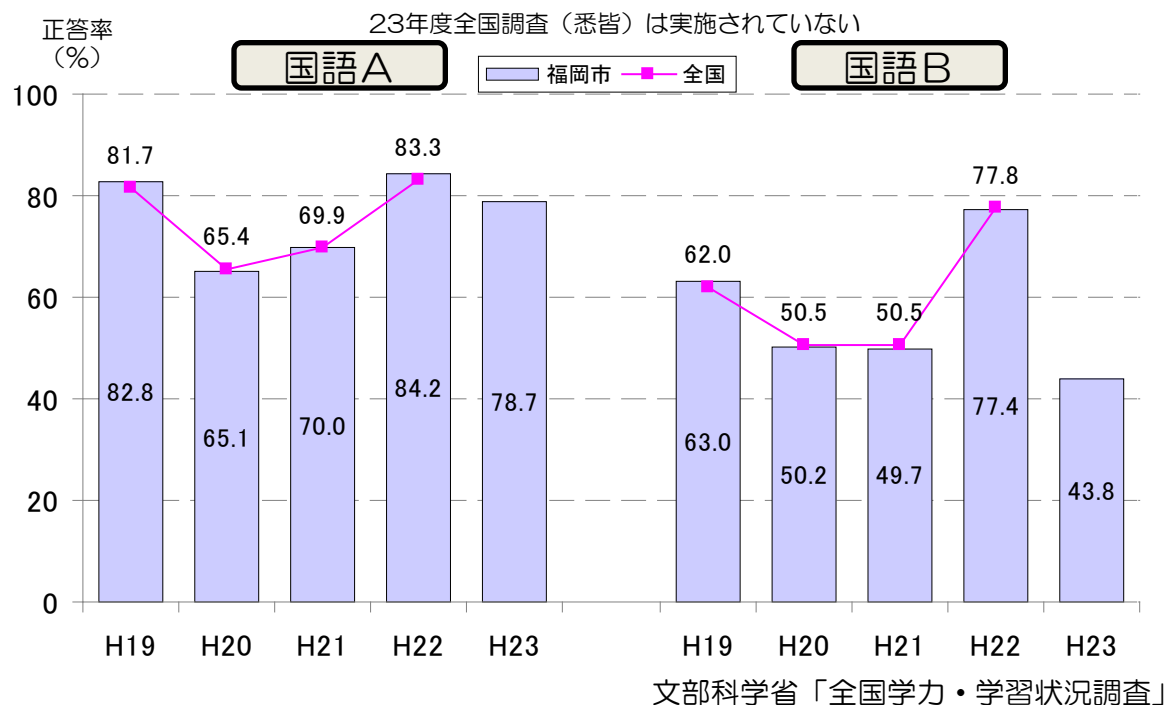


文部科学省「全国学力・学習状況調査（中3）」・「生活習慣・学習定着度調査（中1）」

■ 中学校3年の家の手伝いを「している」「どちらかといえばしている」生徒の割合は、60%台で推移している。

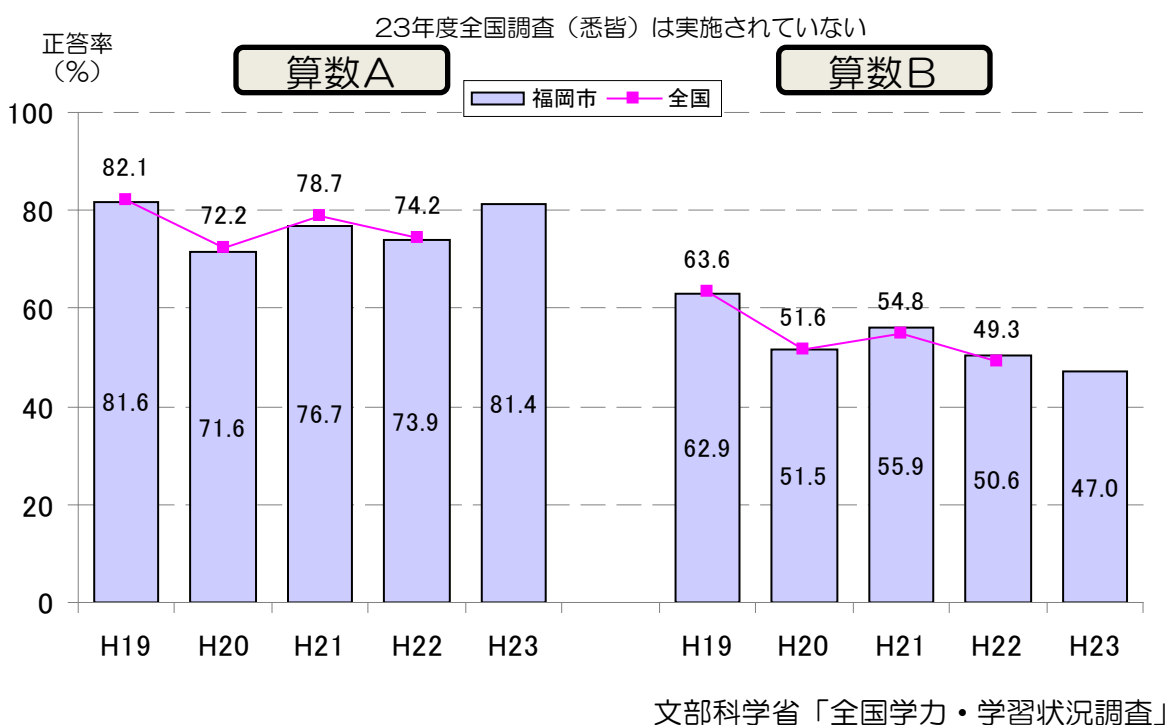
I-2 学力

I-2-1 国語A・Bにおける平均正答率の推移（小学校6年）



■22年度まで国語A，B問題の正答率は，全国平均とほぼ変わらない。

I-2-1 算数A・Bにおける平均正答率の推移（小学校6年）

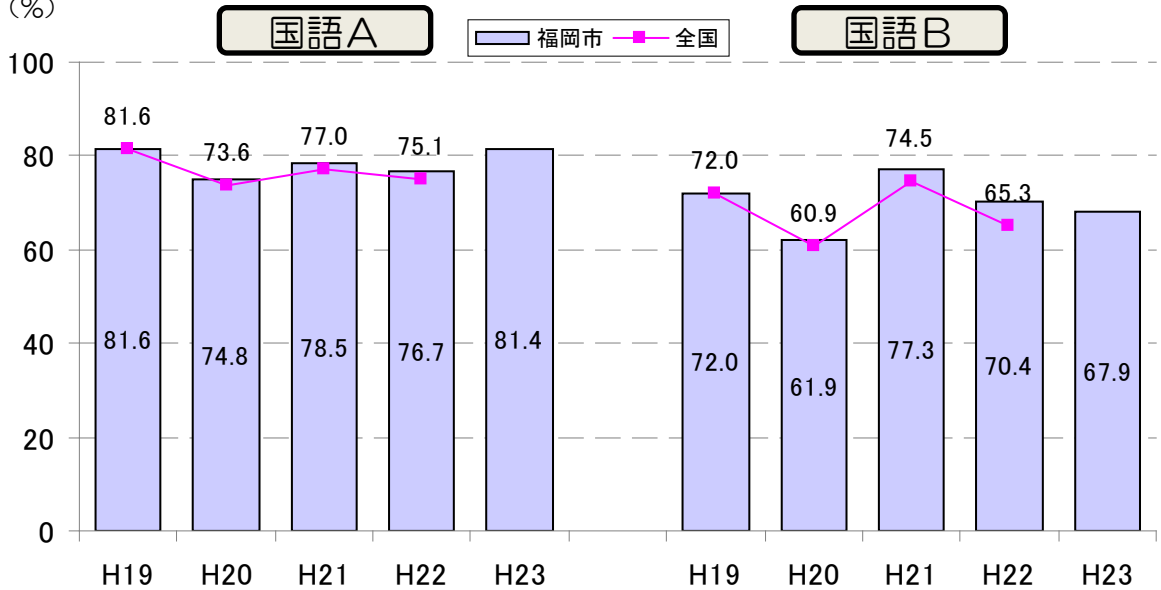


■22年度まで 算数Aの正答率は，全国平均とほぼ変わらないが，B問題は全国平均をやや上回っている。

I-2-2 国語A・Bにおける平均正答率の推移（中学校3年）

正答率
(%)

23年度全国調査（悉皆）は実施されていない



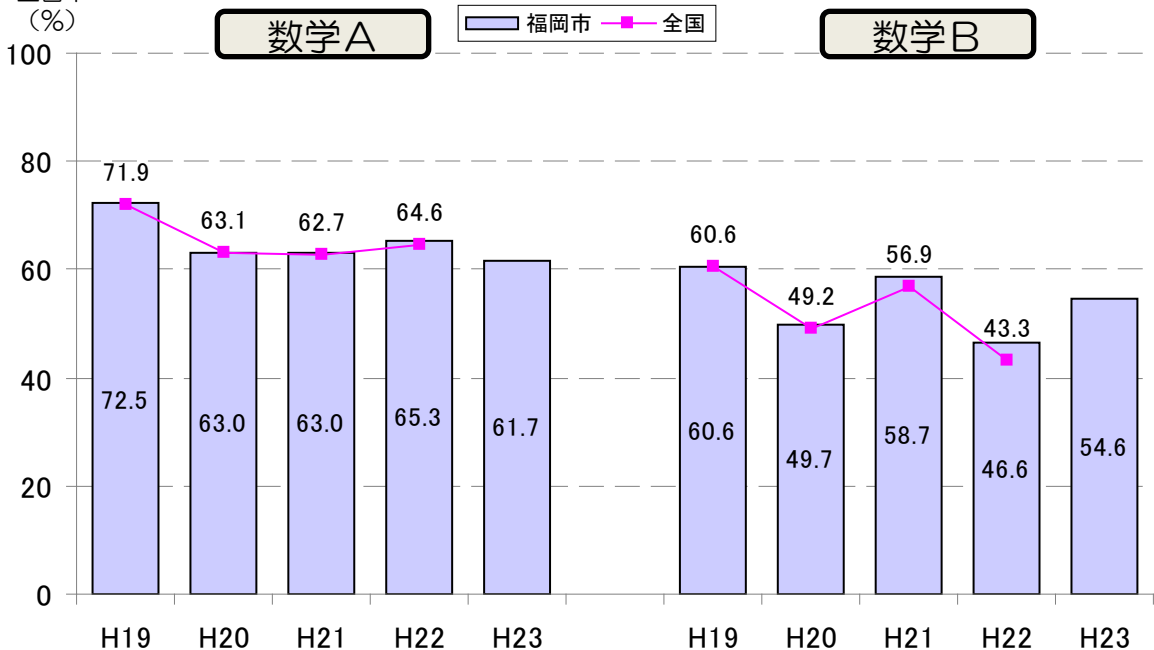
文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■22年度までは 国語 A・Bの正答率ともに全国平均を上回っている。特に、国語Bの正答率は、全国平均を大きく上回っている。

I-2-2 数学A・Bにおける平均正答率の推移（中学校3年）

正答率
(%)

23年度全国調査（悉皆）は実施されていない



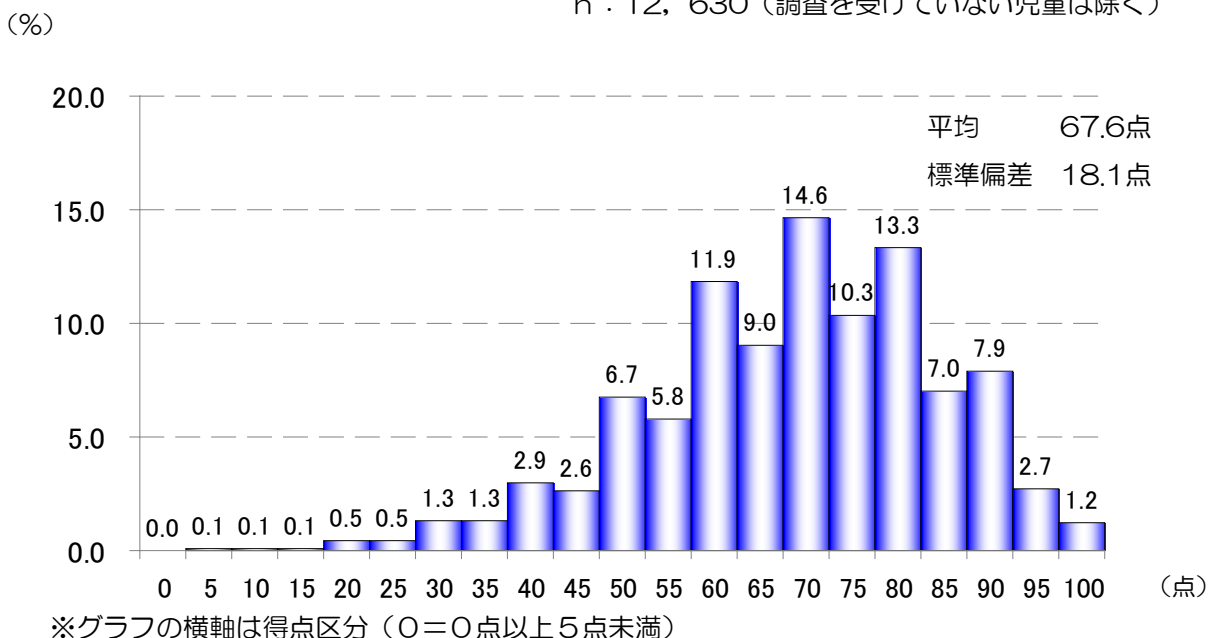
文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■22年度までは 数学A・Bの正答率とも全国平均を上回っている。特に、数学Bの正答率は、全国平均を大きく上回っている。

I-2-3 定着度調査集計結果（小学校4年 国語）

n : 12, 630（調査を受けていない児童は除く）

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



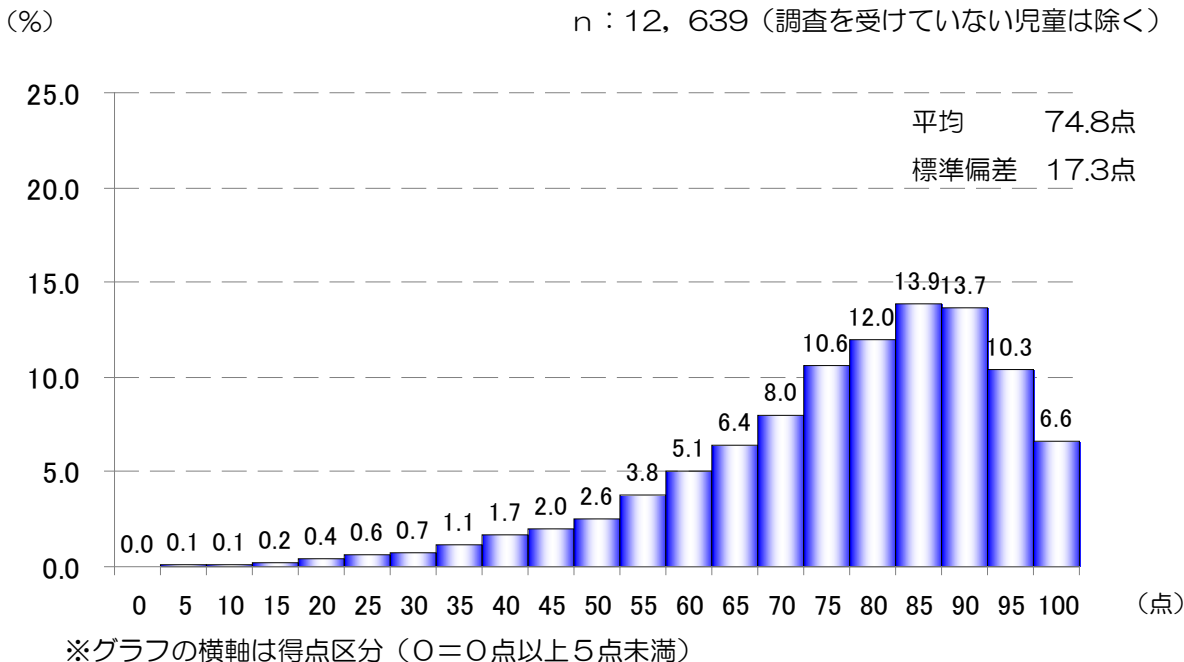
23年度「生活習慣・学習定着度調査」

■国語は、70点前後の児童の割合が最も多い。

I-2-3 定着度調査集計結果（小学校4年 社会）

n : 12, 639（調査を受けていない児童は除く）

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



23年度「生活習慣・学習定着度調査」

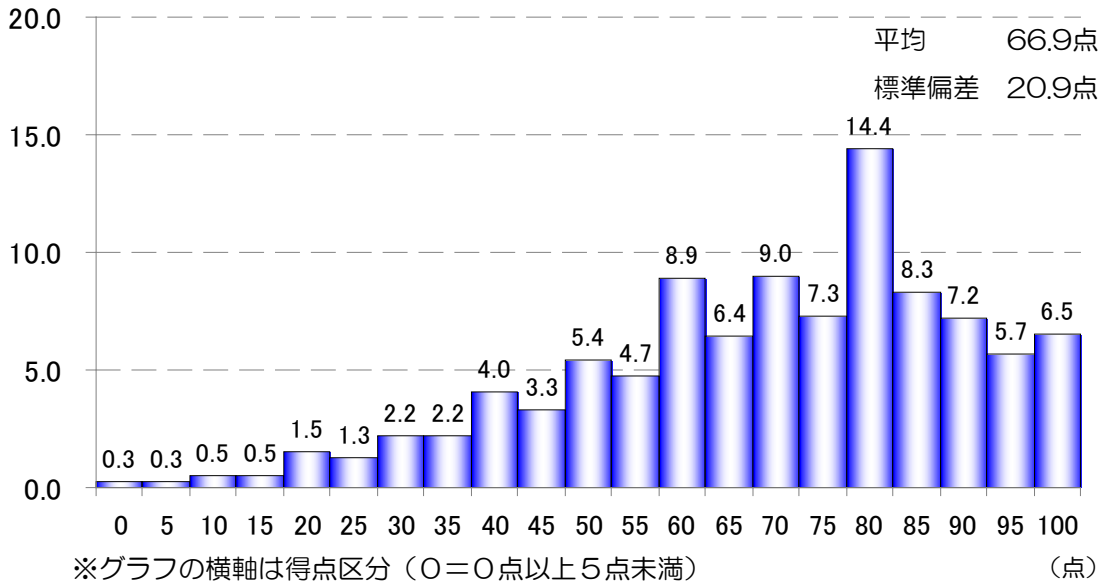
■社会では、85点前後の児童の割合が最も多い。

I-2-3 定着度調査集計結果（小学校4年 算数）

(%)

n : 12, 637（調査を受けていない児童は除く）

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



23年度「生活習慣・学習定着度調査」

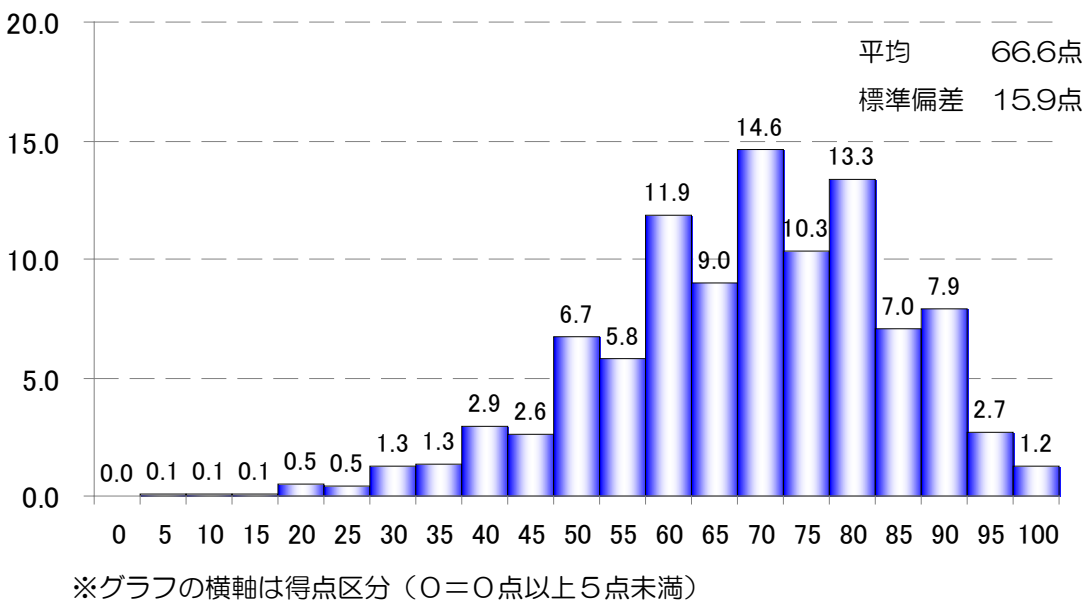
■算数は、80点前後の児童の割合が最も多く、バラツキが大きい。

I-2-3 定着度調査集計結果（小学校4年 理科）

(%)

n : 12, 641（調査を受けていない児童は除く）

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



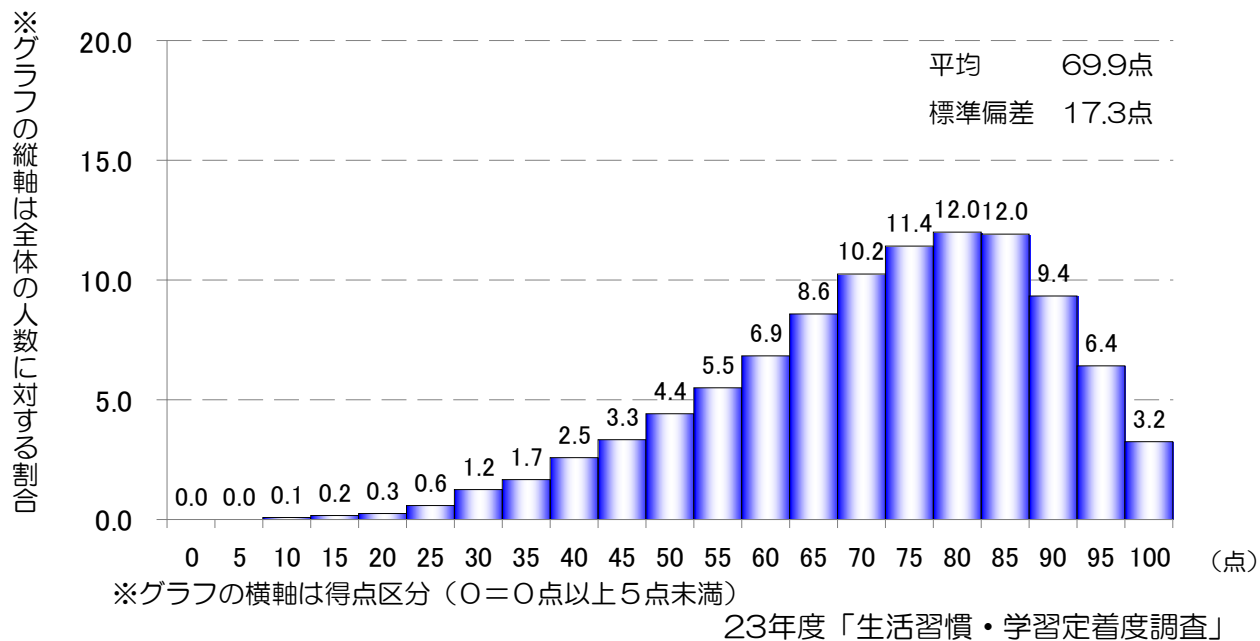
23年度「生活習慣・学習定着度調査」

■理科は、70点前後の児童の割合が最も多い。

I-2-4 定着度調査集計結果（小学校6年 国語）

(%)

n : 12,297（調査を受けていない児童は除く）

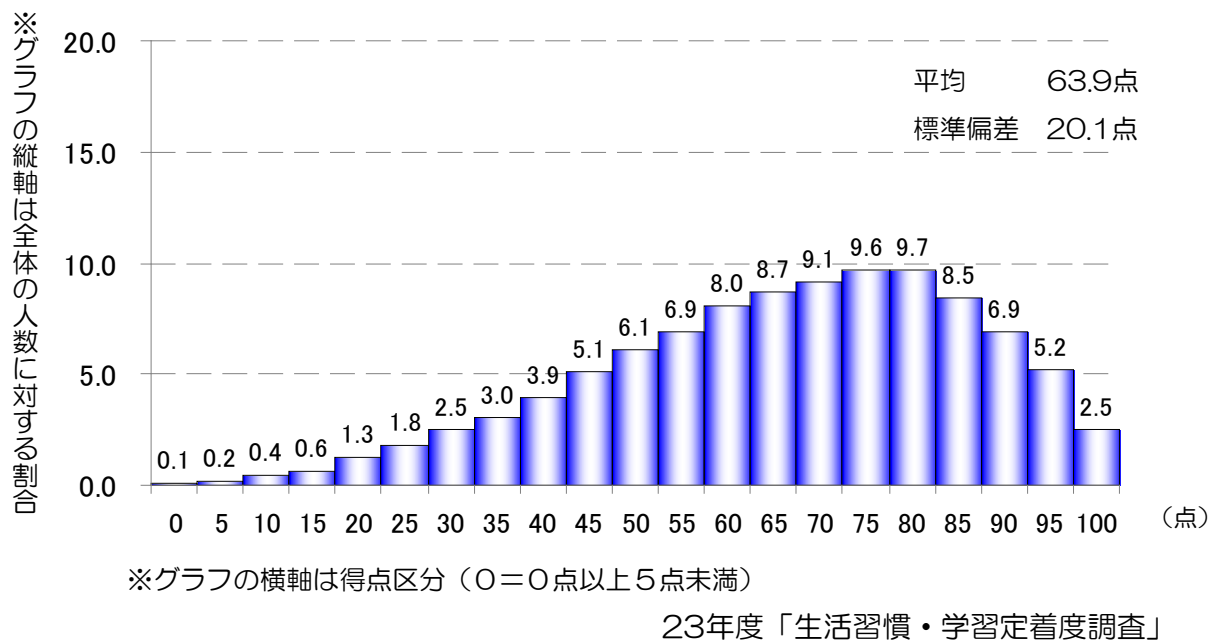


■国語は、80点前後の生徒の割合が最も多い。

I-2-4 定着度調査集計結果（小学校6年 社会）

(%)

n : 12,300（調査を受けていない児童は除く）

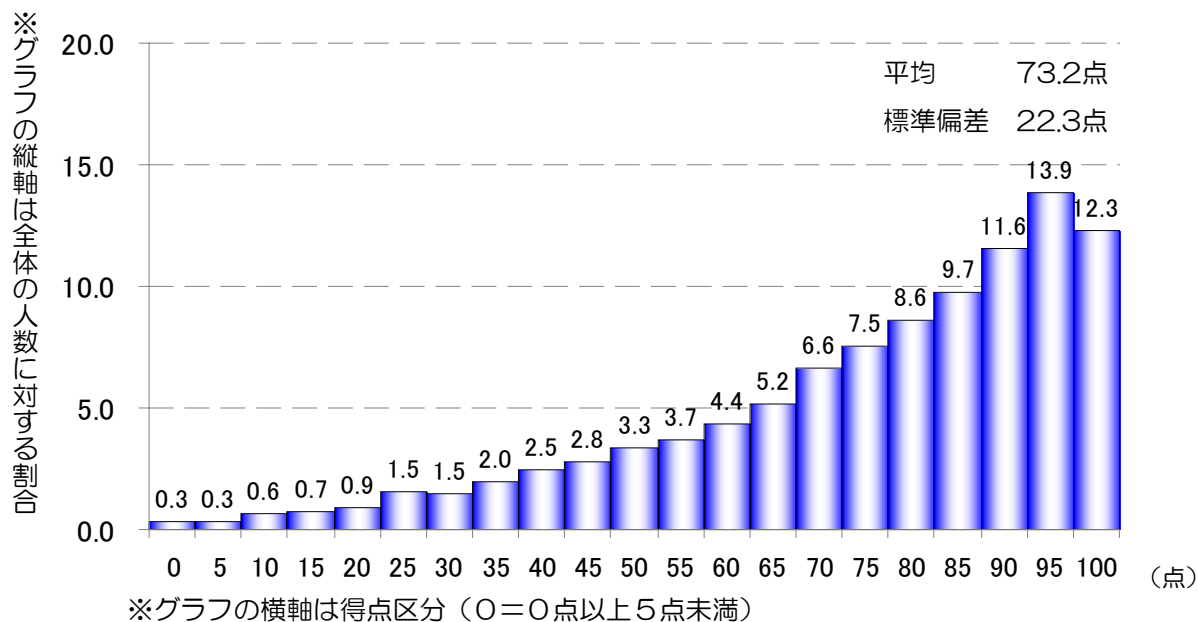


■社会は、80点前後の生徒の割合が最も多い。

I-2-4 定着度調査集計結果（小学校6年 算数）

(%)

n : 12,300（調査を受けていない児童は除く）



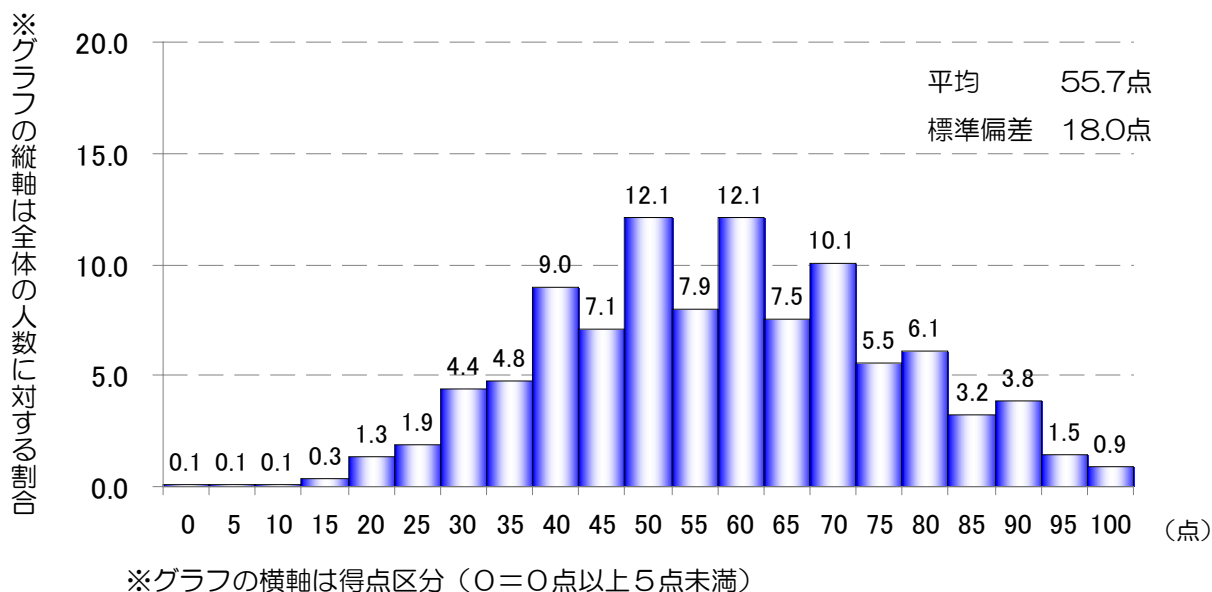
23年度「生活習慣・学習定着度調査」

■算数は、95点前後の生徒の割合が多く、点数のバラツキが大きい。

I-2-4 定着度調査集計結果（小学校6年 理科）

(%)

n : 12,300（調査を受けていない児童は除く）



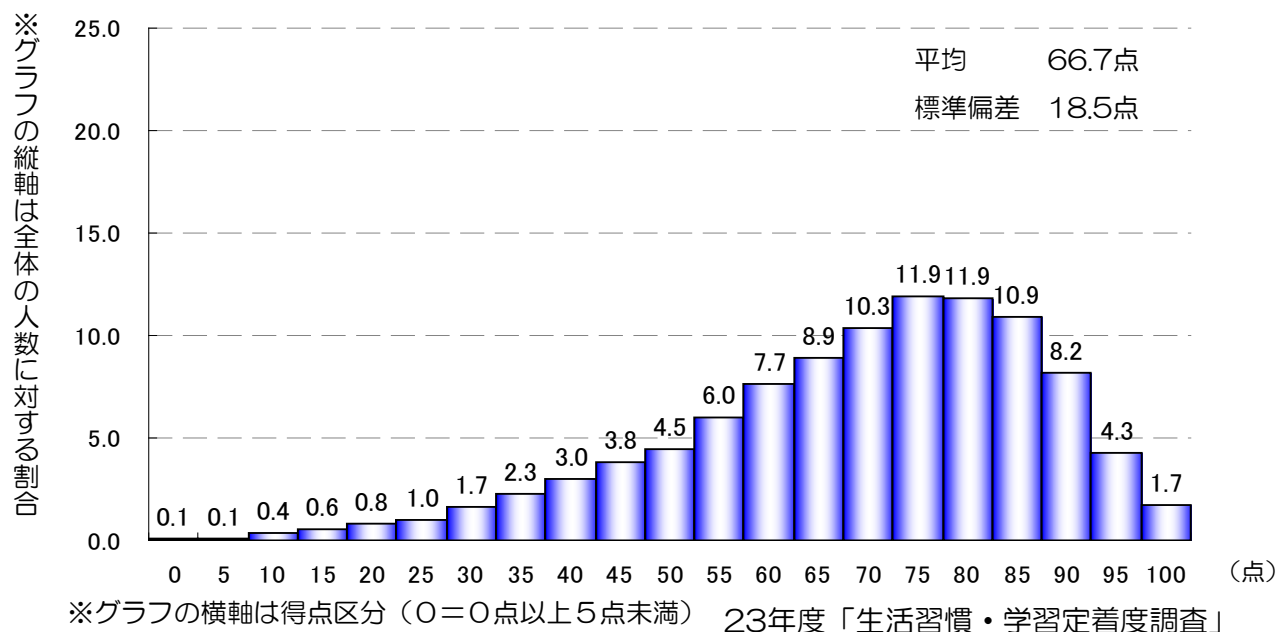
23年度「生活習慣・学習定着度調査」

■理科は、50～60点の生徒の割合が多い。

I-2-5 定着度調査集計結果（中学校1年 国語）

(%)

n : 11,281（調査を受けていない生徒は除く）

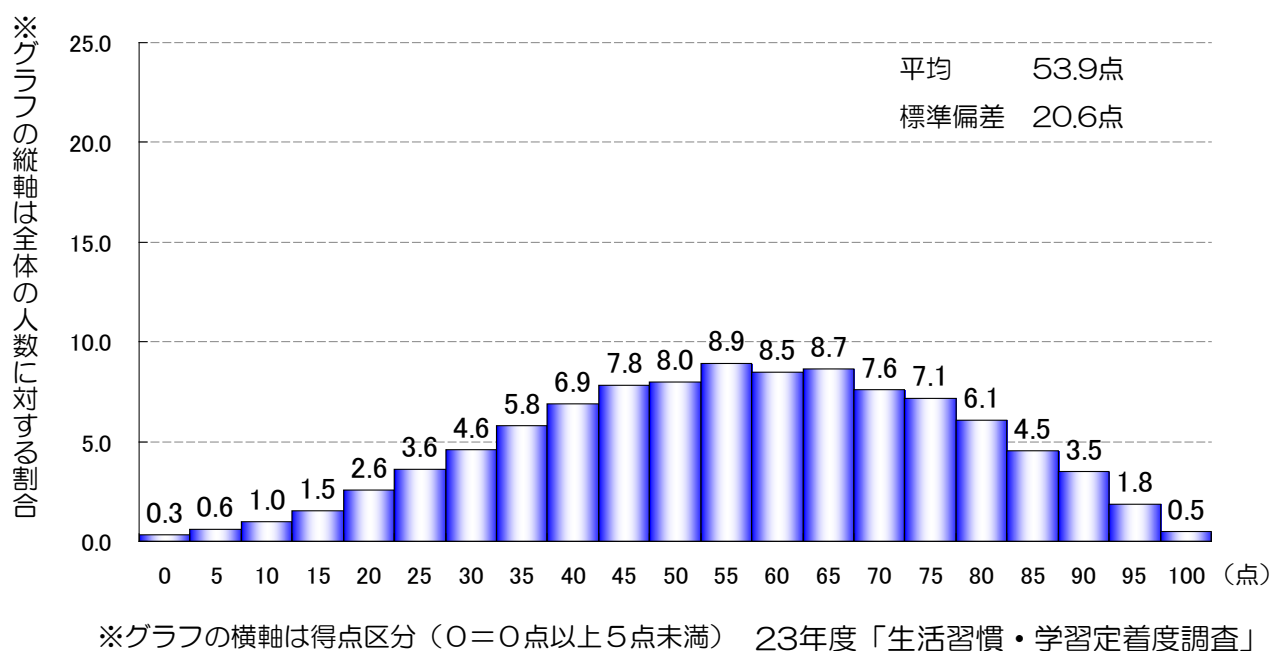


■国語は、75点前後の生徒の割合が多く、点数のバラツキが大きい。

I-2-5 定着度調査集計結果（中学校1年 社会）

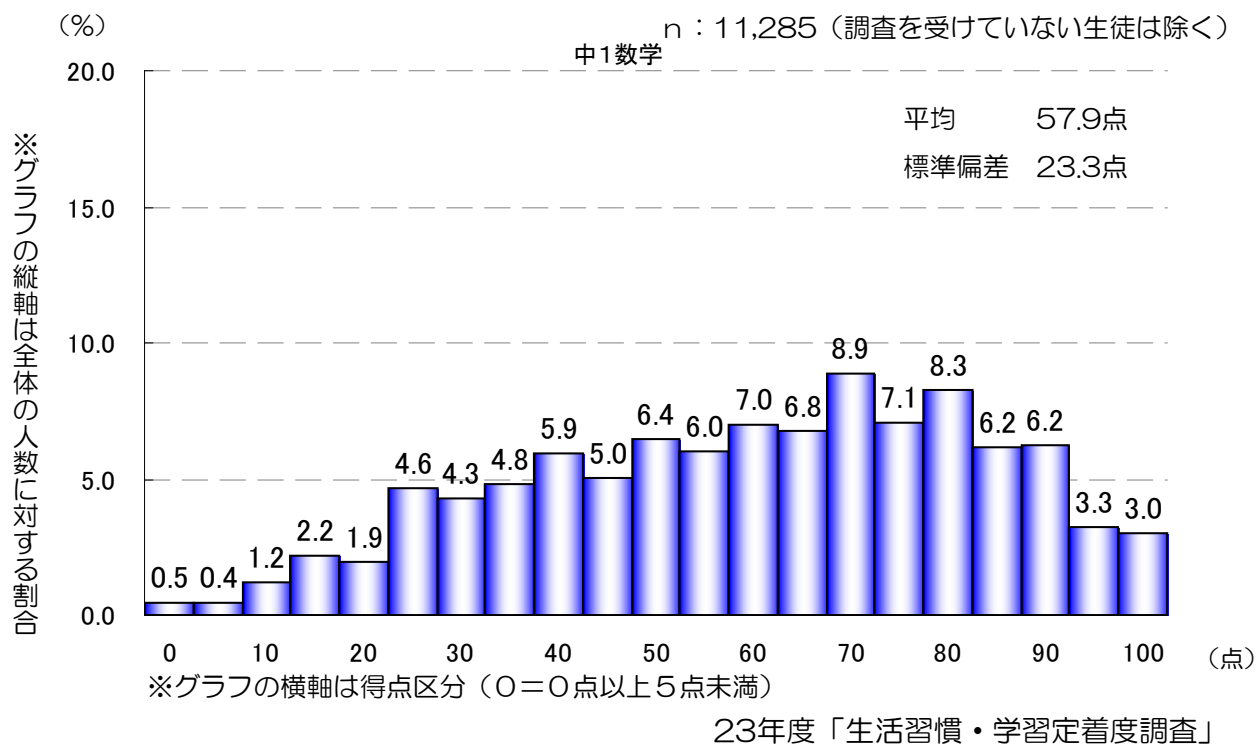
(%)

n : 11,283（調査を受けていない生徒は除く）



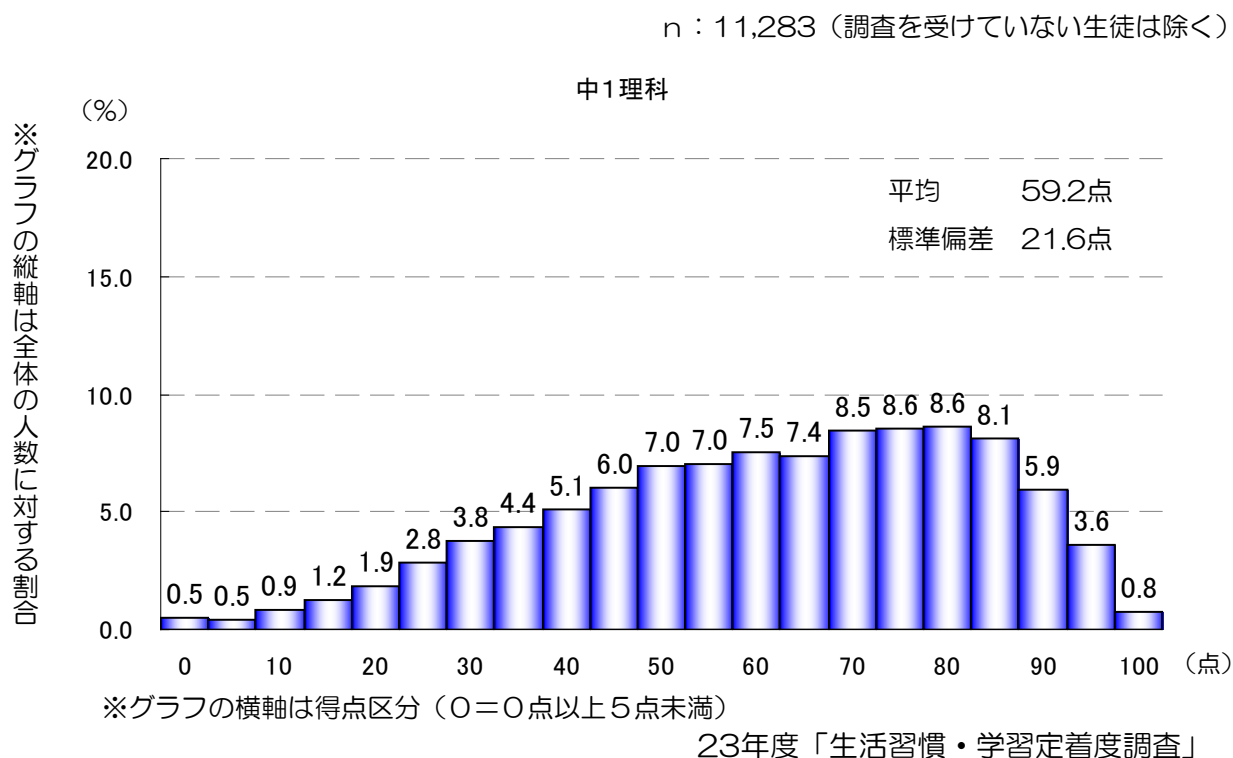
■社会は、55点前後の生徒の割合が多く、点数のバラツキが大きい。

I-2-5 定着度調査集計結果（中学校1年 数学）



■数学は、70点前後の生徒の割合が多く、点数のバラツキが大きい。

I-2-5 定着度調査集計結果（中学校1年 理科）

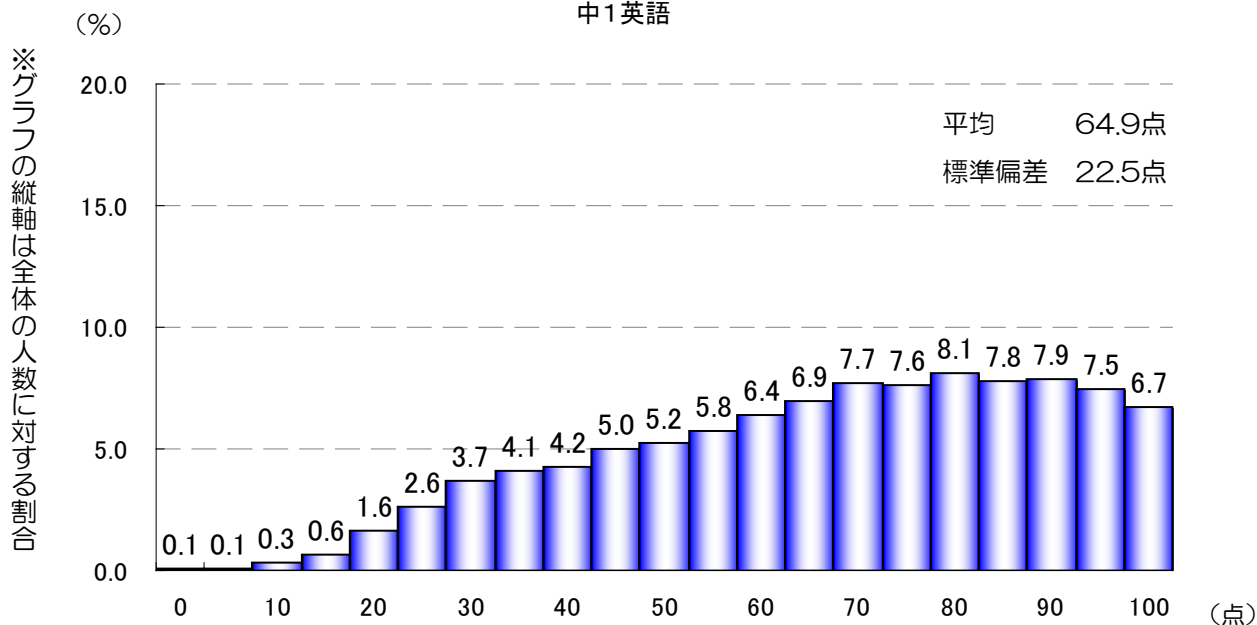


■理科は、75点前後の生徒の割合が多く、点数のバラツキが大きい。

I-2-5 定着度調査集計結果（中学校1年 英語）

n : 11,283（調査を受けていない生徒は除く）

中1英語



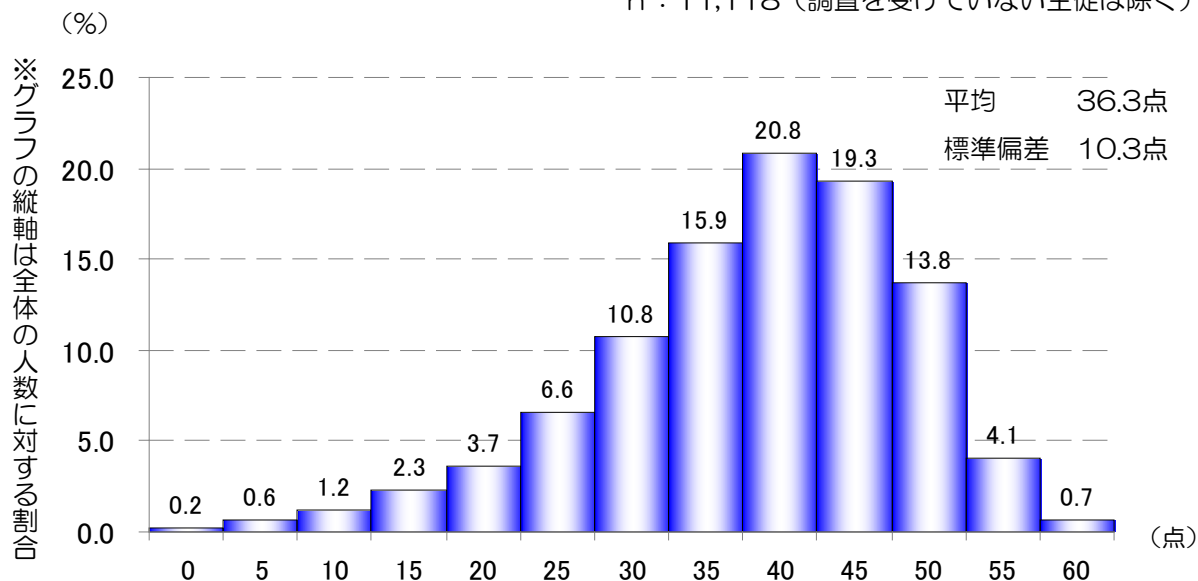
※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上5点未満）

23年度「生活習慣・学習定着度調査」

■英語は、80点前後の生徒の割合が多く、点数が低い生徒の割合も多い傾向にある。

I-2-6 定着度調査集計結果（中学校3年 国語）

n : 11,118（調査を受けていない生徒は除く）



※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上5点未満）※中3は60点満点

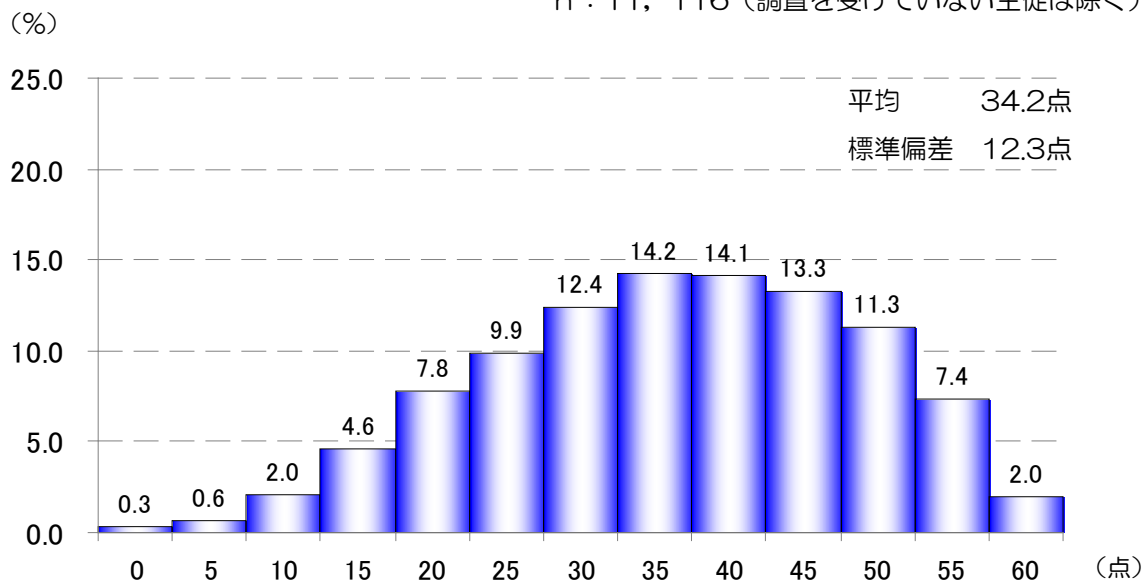
23年度「生活習慣・学習定着度調査」

■国語は、40点前後の生徒の割合が多い。

I-2-6 定着度調査集計結果（中学校3年 社会）

n : 11, 116（調査を受けていない生徒は除く）

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上5点未満）※中3は60点満点

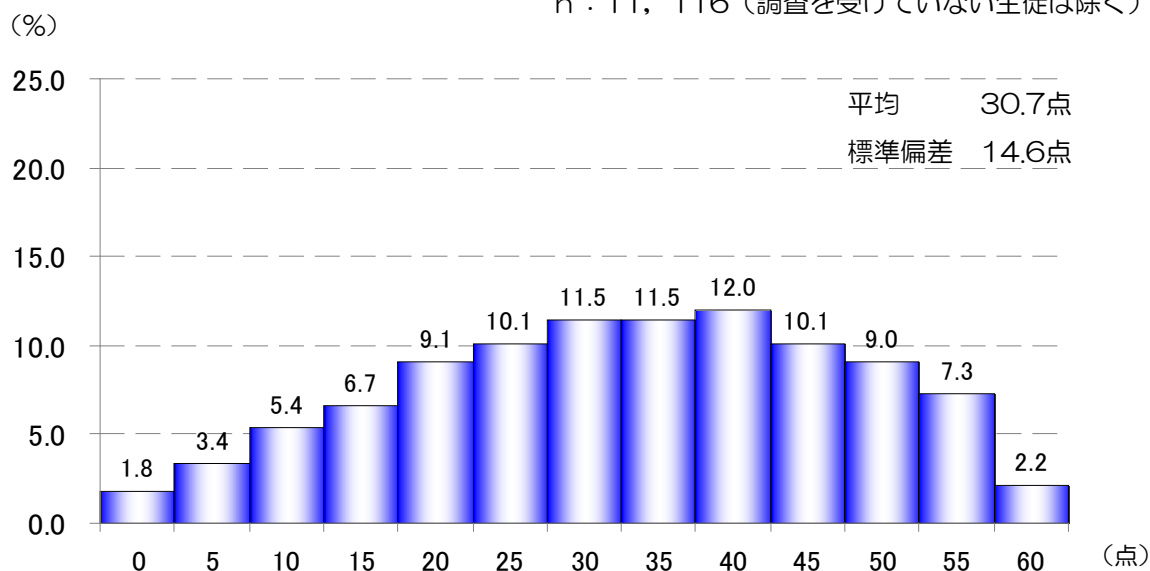
23年度「生活習慣・学習定着度調査」

■社会は、35点前後の生徒の割合が多い。

I-2-6 定着度調査集計結果（中学校3年 数学）

n : 11, 116（調査を受けていない生徒は除く）

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



※グラフの横軸は得点区分（0＝0点以上5点未満）※中3は60点満点

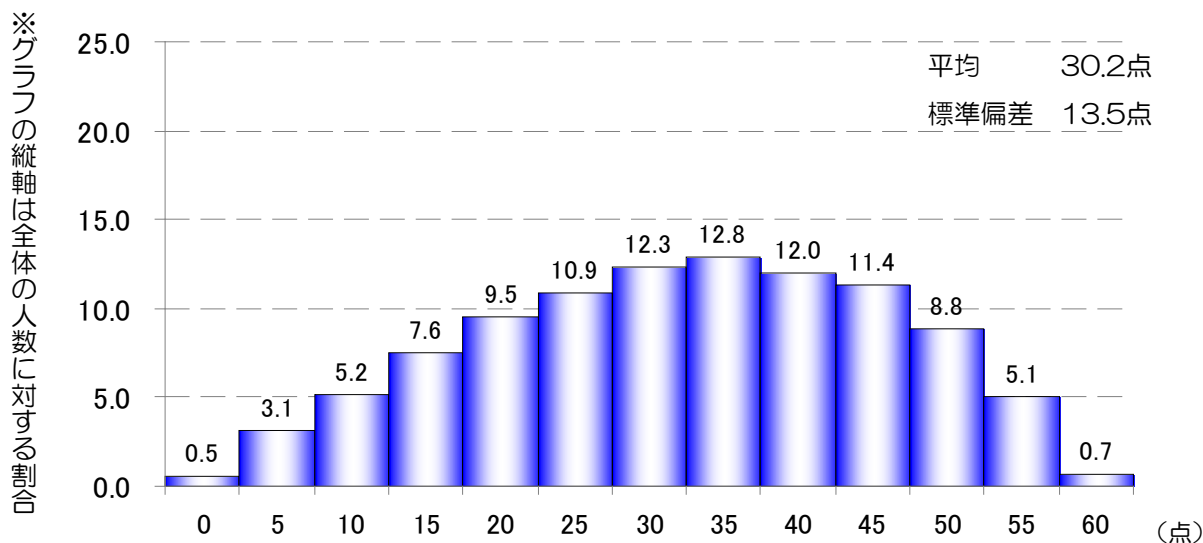
23年度「生活習慣・学習定着度調査」

■数学は、40点前後の生徒の割合が多く、低い得点の生徒の割合も多い。

I-2-6 定着度調査集計結果（中学校3年 理科）

(%)

n : 11, 116（調査を受けていない生徒は除く）



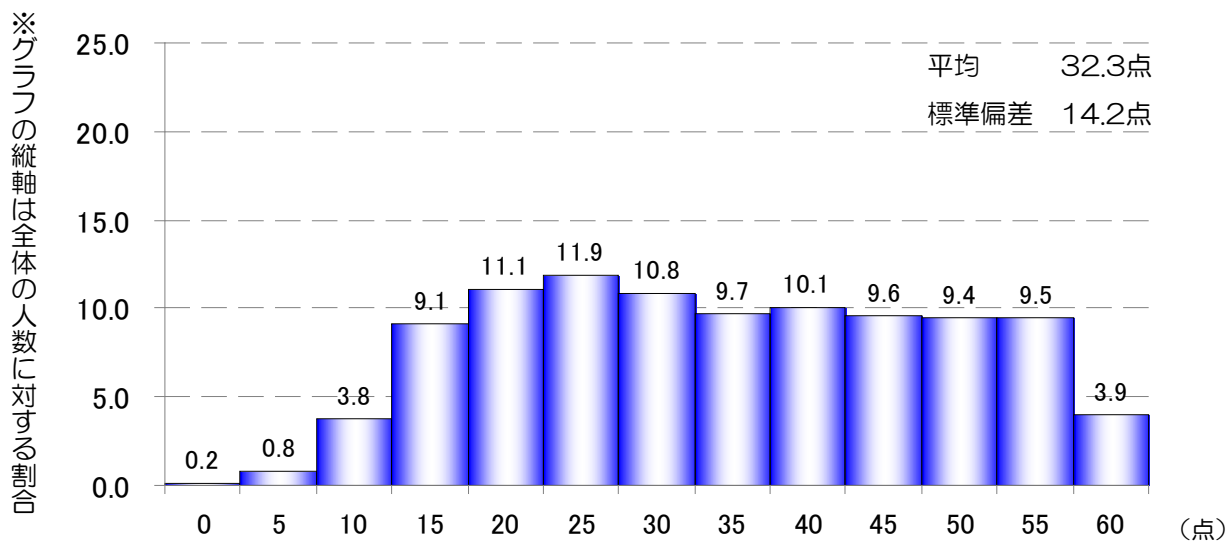
23年度「生活習慣・学習定着度調査」

■理科は、35点前後の生徒の割合が多く、点数のバラツキが大きい。

I-2-6 定着度調査集計結果（中学校3年 英語）

(%)

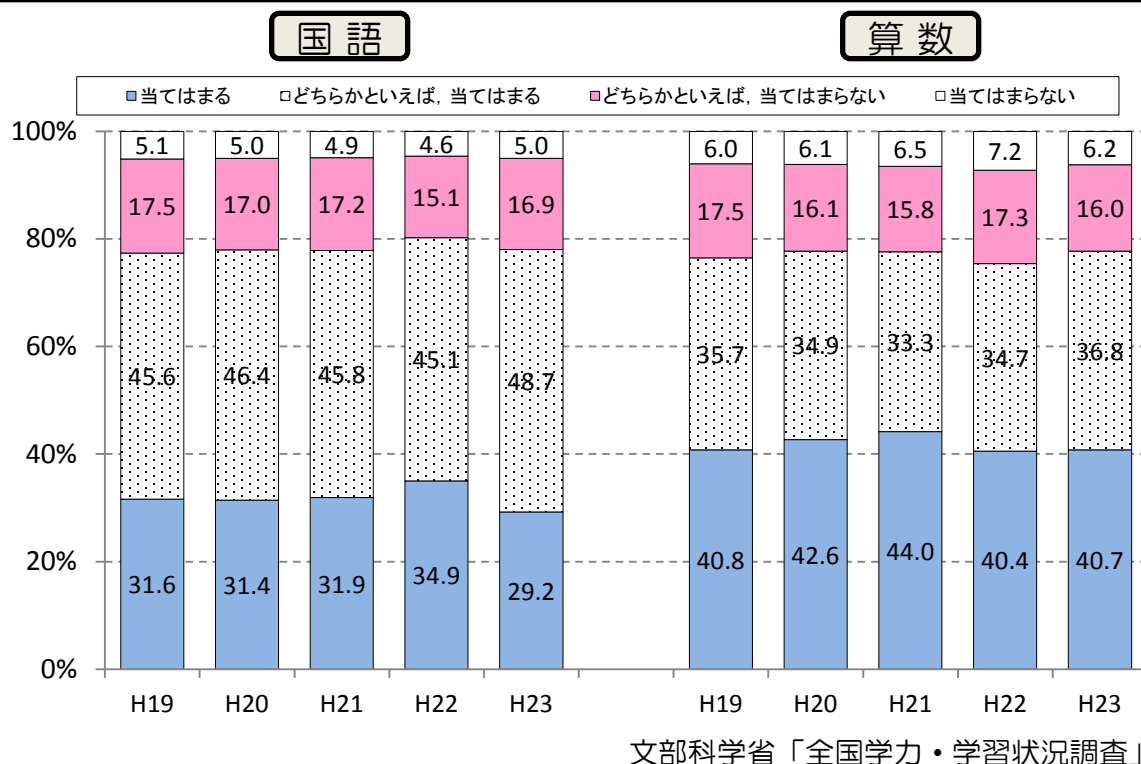
n : 11, 116（調査を受けていない生徒は除く）



23年度「生活習慣・学習定着度調査」

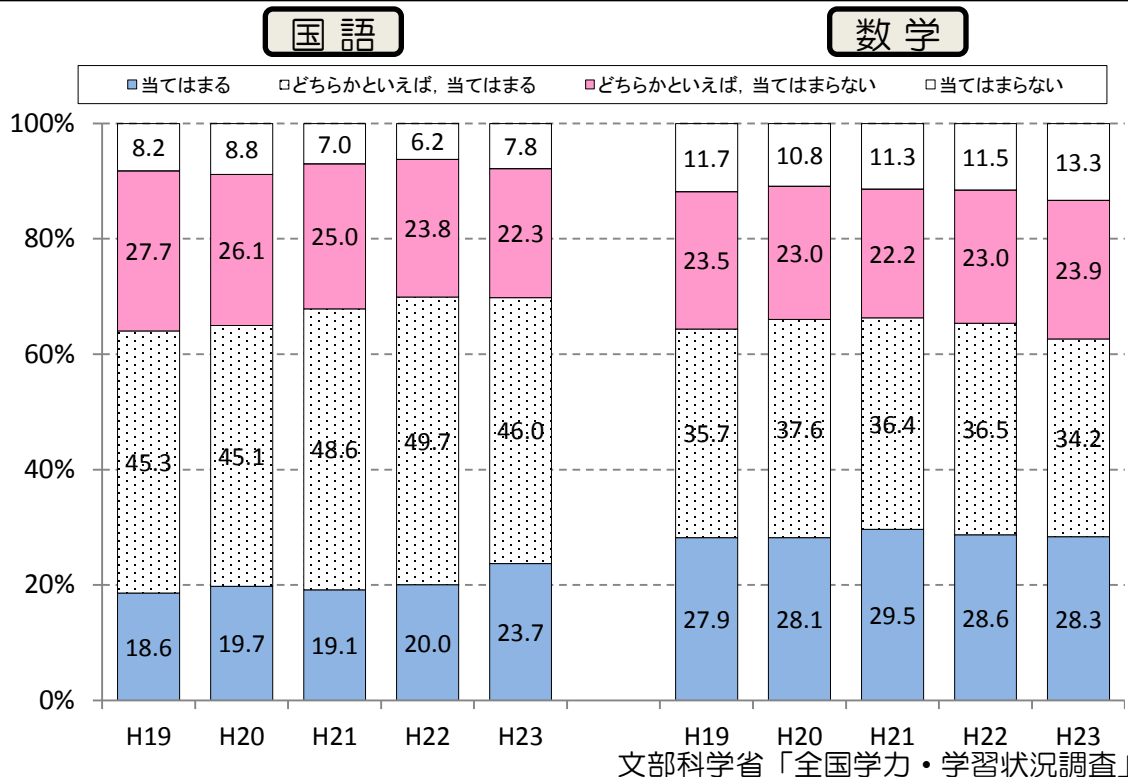
■英語は、25点前後の生徒の割合が多く、点数のバラツキが大きい。

I-2-7 授業内容の理解（小学校6年）



■19年度と比較すると、国語の授業内容が、「よく分かる」児童の割合は、わずかに減少している。算数の割合に大きな変化は見られない。

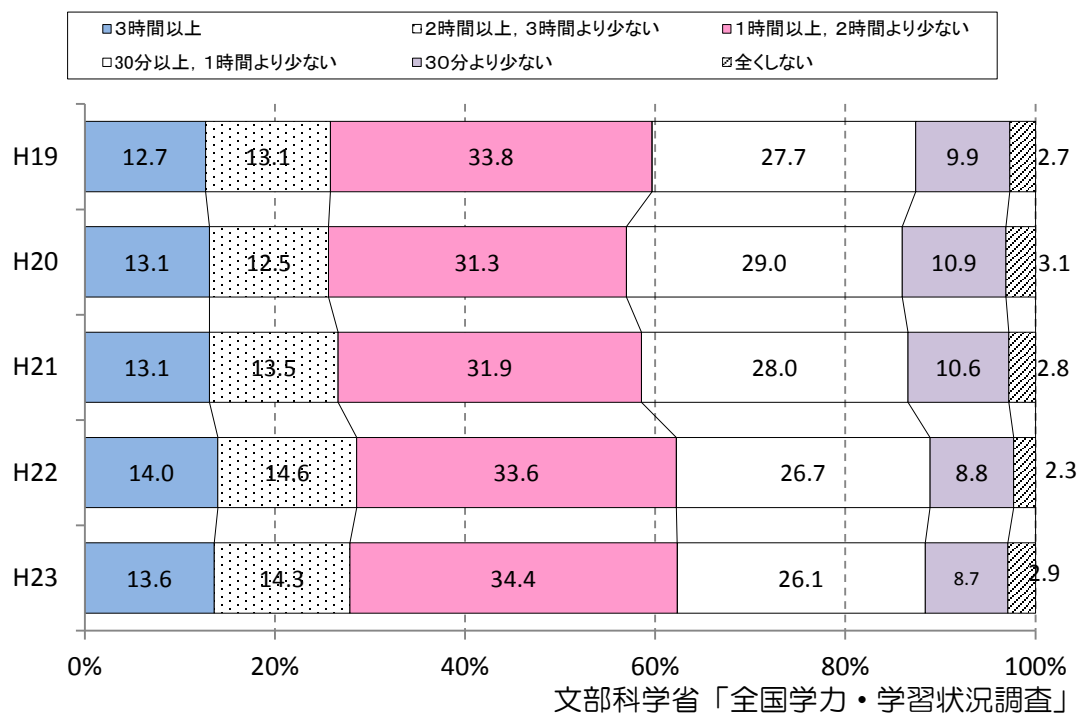
I-2-7 授業内容の理解（中学校3年）



■19年度と比較すると、国語、数学の授業内容が「よく分かる」生徒の割合が、わずかに増加している。

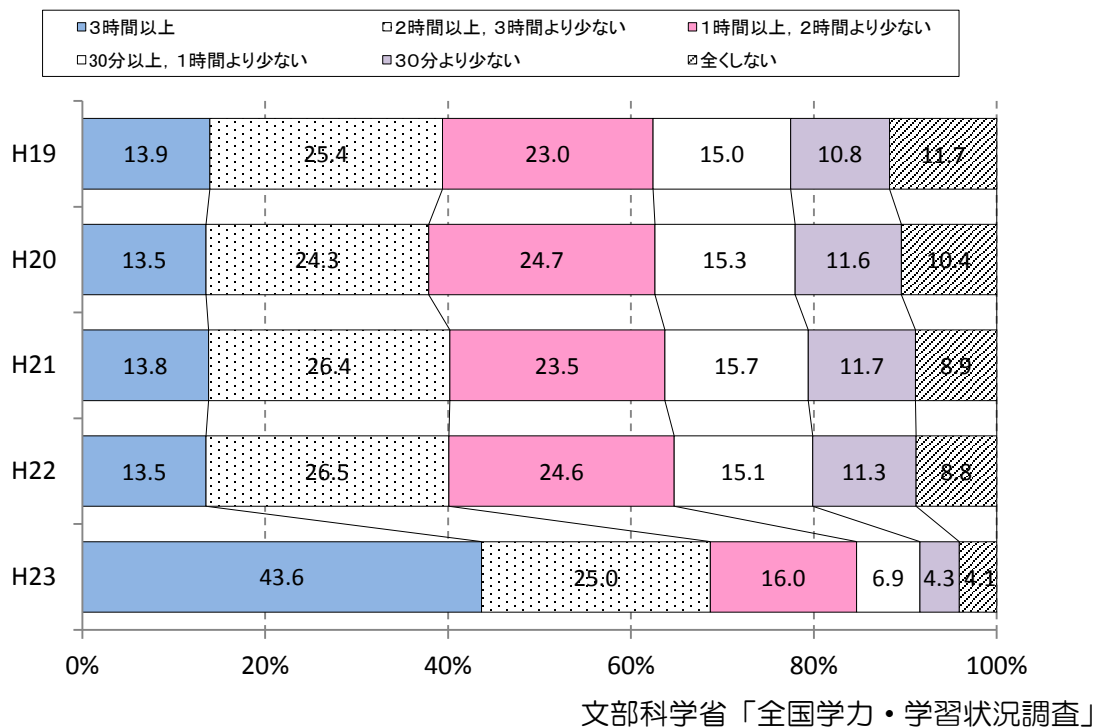
I-3 学習習慣・家庭学習

I-3-1 普段（月～金曜日）の勉強時間（小学校6年）※塾・家庭教師を含む



■ 普段の家庭での勉強時間は、22年度とほぼ同じ傾向にある。

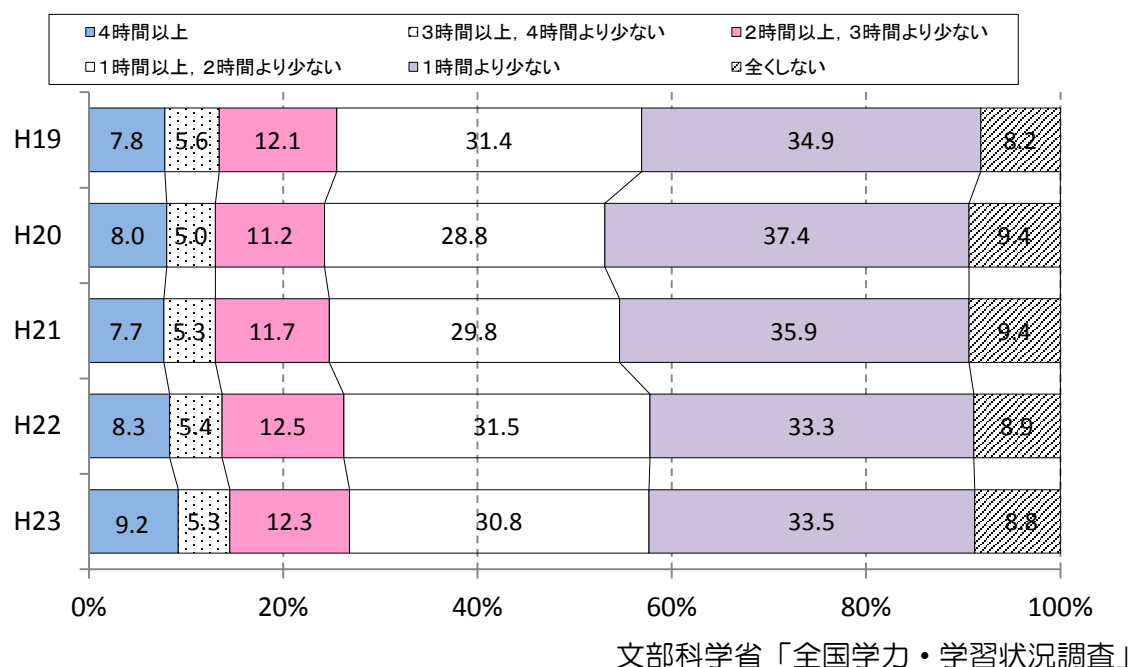
I-3-1 普段（月～金曜日）の勉強時間（中学校3年）※塾・家庭教師を含む



■ 普段の家庭での勉強時間は、調査時点が9月であったこともあり、「3時間以上」の割合が高くなっている。

I-3-2 土日など学校が休みの日の勉強時間（小学校6年）

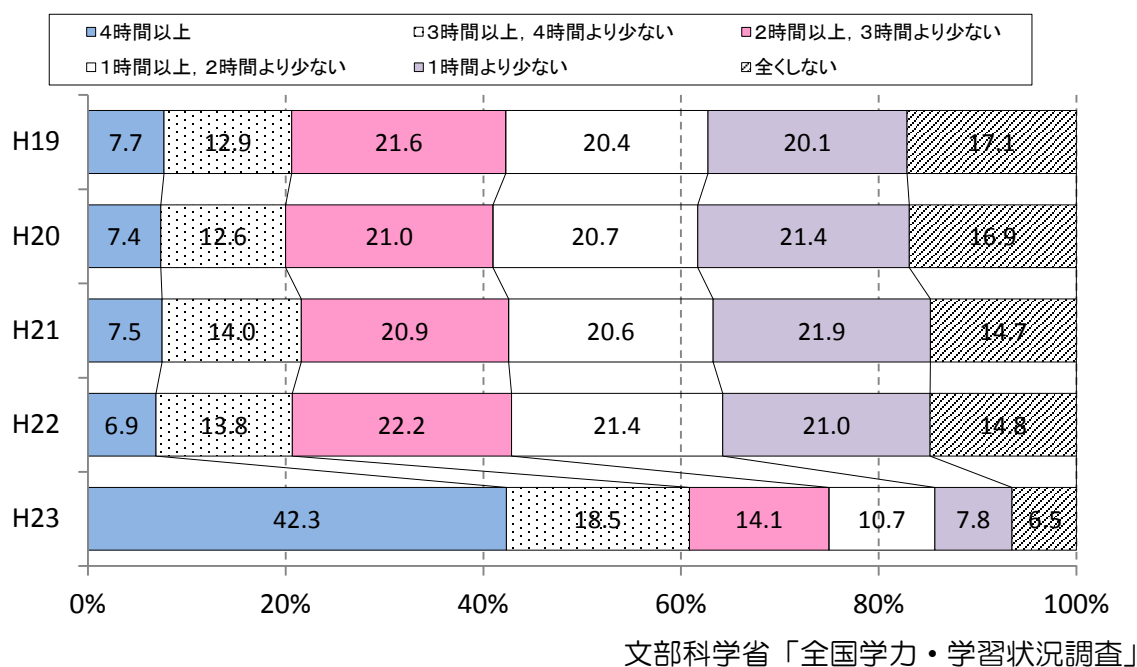
※塾・家庭教師を含む



■学校が休みの日の家庭での勉強時間に、大きな変化は見られない。

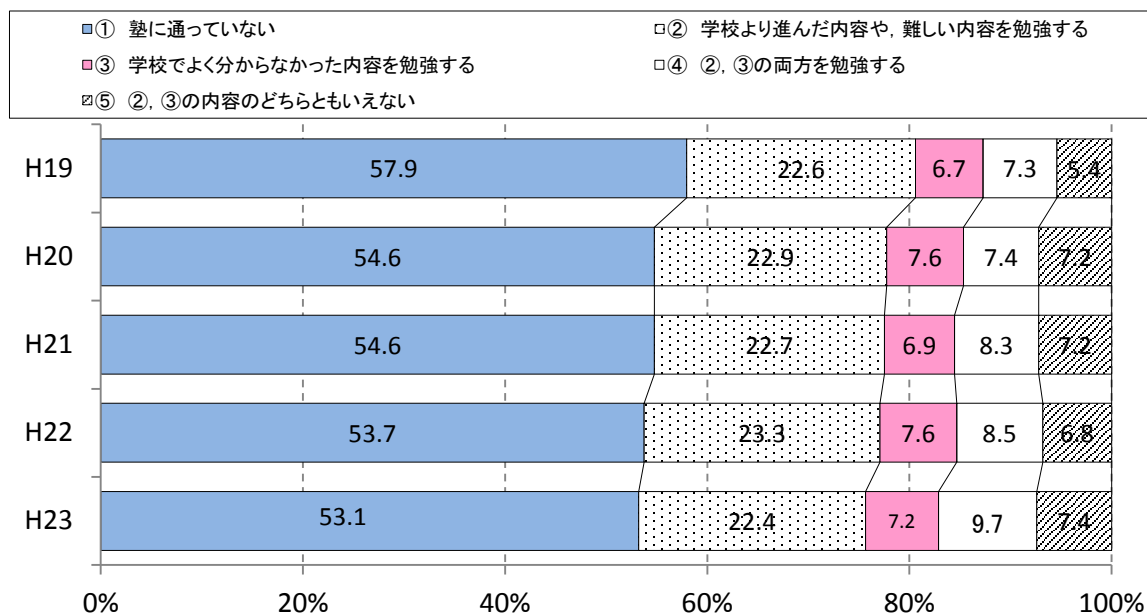
I-3-2 土日など学校が休みの日の勉強時間（中学校3年）

※塾・家庭教師を含む



■学校が休みの日の家庭での勉強時間は、調査時点が9月であったこともあり、「4時間以上」の割合が高くなっている。

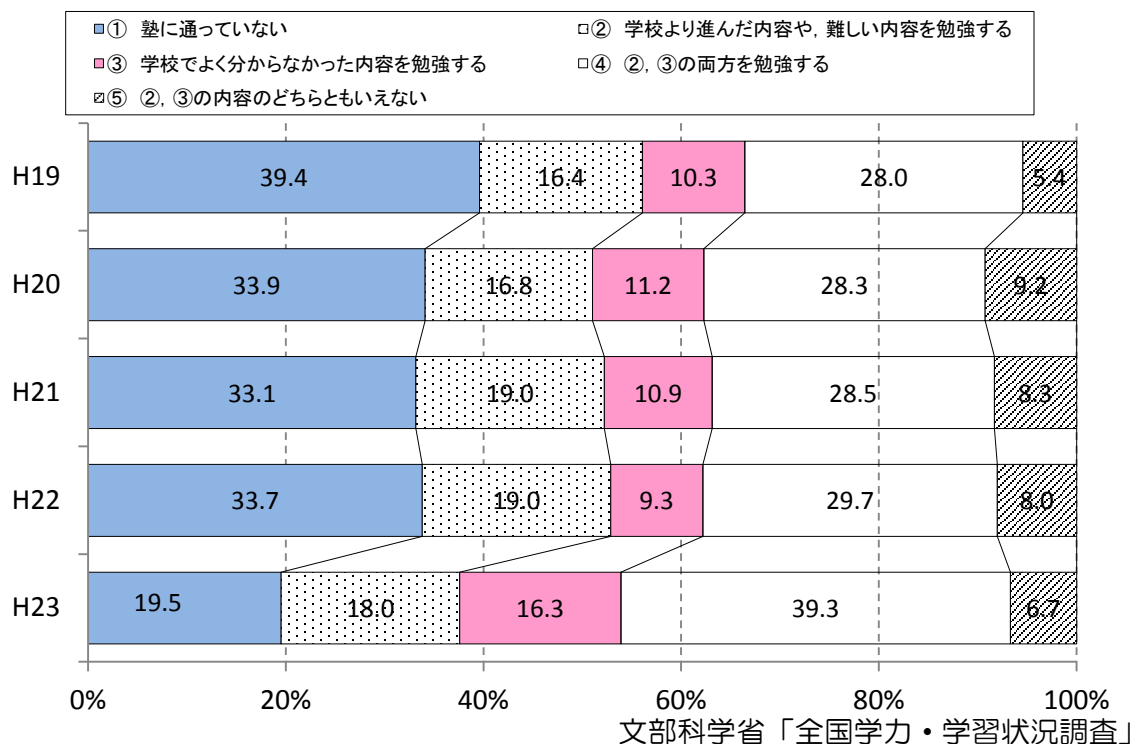
I-3-3 学習塾（家庭教師を含む）での勉強（小学校6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■「塾に通っていない」児童の割合は、減少している傾向にある。

I-3-3 学習塾（家庭教師を含む）での勉強（中学校3年）

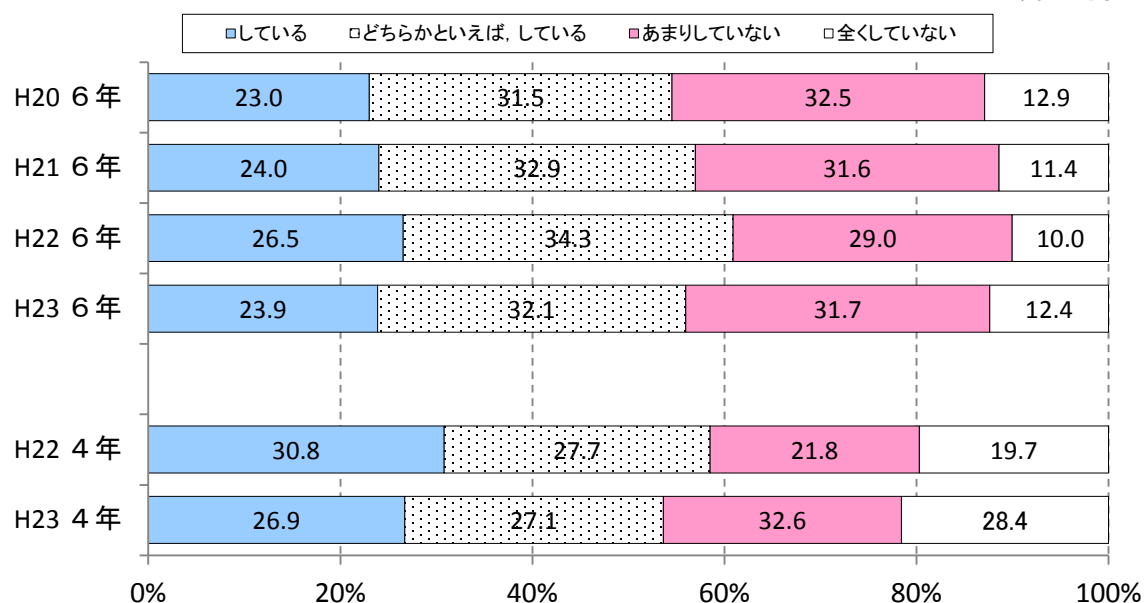


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■「塾に通っていない」生徒の割合は、23年度で急激に減少している。

I-3-4 計画的な家庭学習（小学校4・6年）

※19年度は調査なし

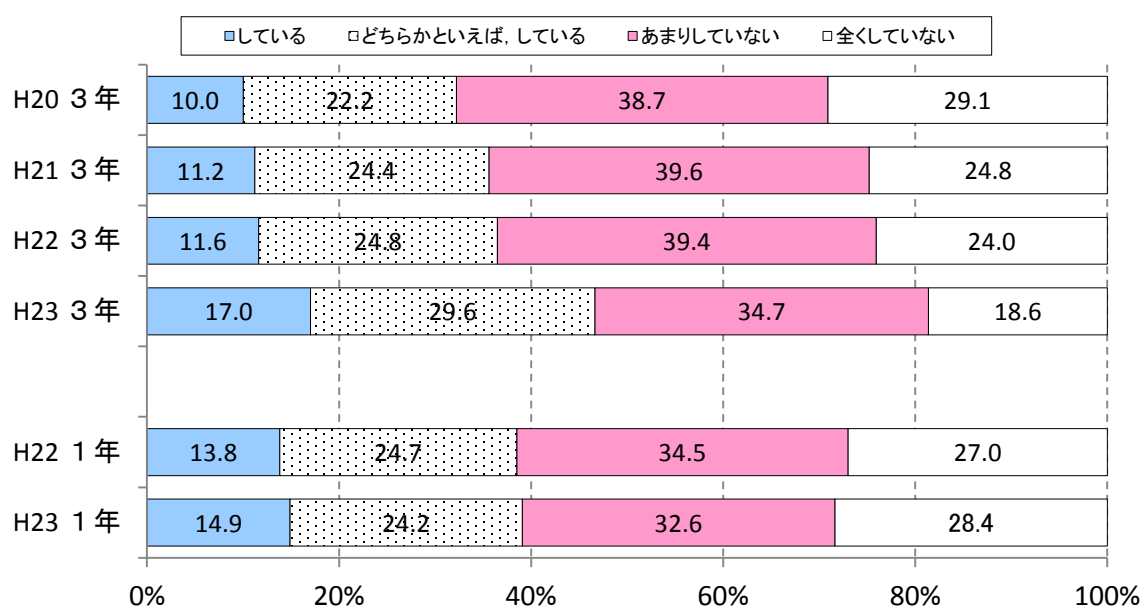


文部科学省「全国学力・学習状況調査（小6）」・「生活習慣・学習定着度調査（小4）」

■20年度と比較すると、「自分で計画を立てて、家庭で勉強している」「どちらかといえばしている」小学校6年の割合には、大きな変化がない。

I-3-4 計画的な家庭学習（中学校1・3年）

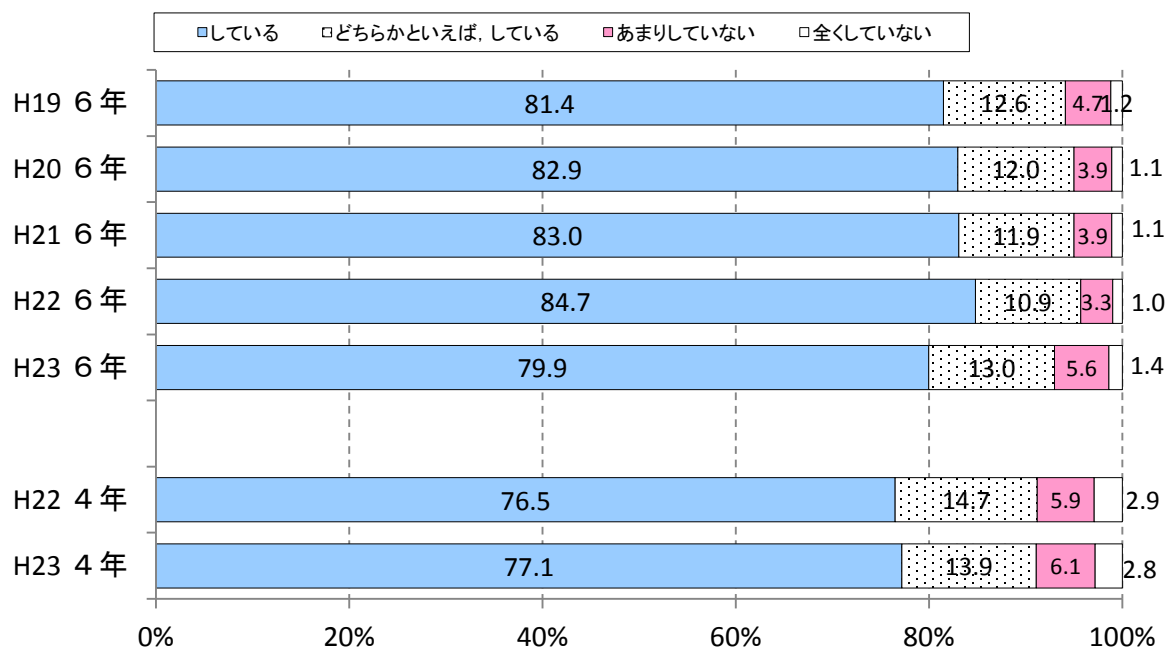
※19年度は調査なし



文部科学省「全国学力・学習状況調査（中3）」・「生活習慣・学習定着度調査（中1）」

■「自分で計画を立てて、家庭で勉強している」「どちらかといえばしている」中学1，3年の割合は、年々増加している傾向にある。

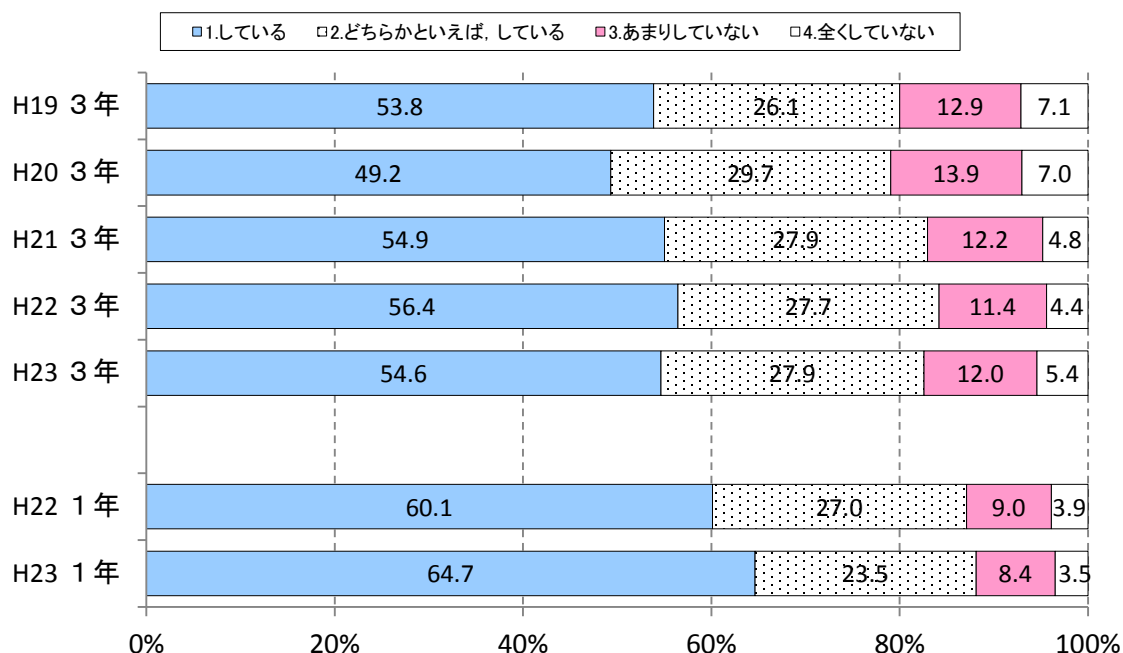
I-3-5 宿題（小学校4・6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査（小6）」・「生活習慣・学習定着度調査（小4）」

■家庭で学校の宿題をしている小学校6年の児童の割合は、23年度で減少している傾向にある。

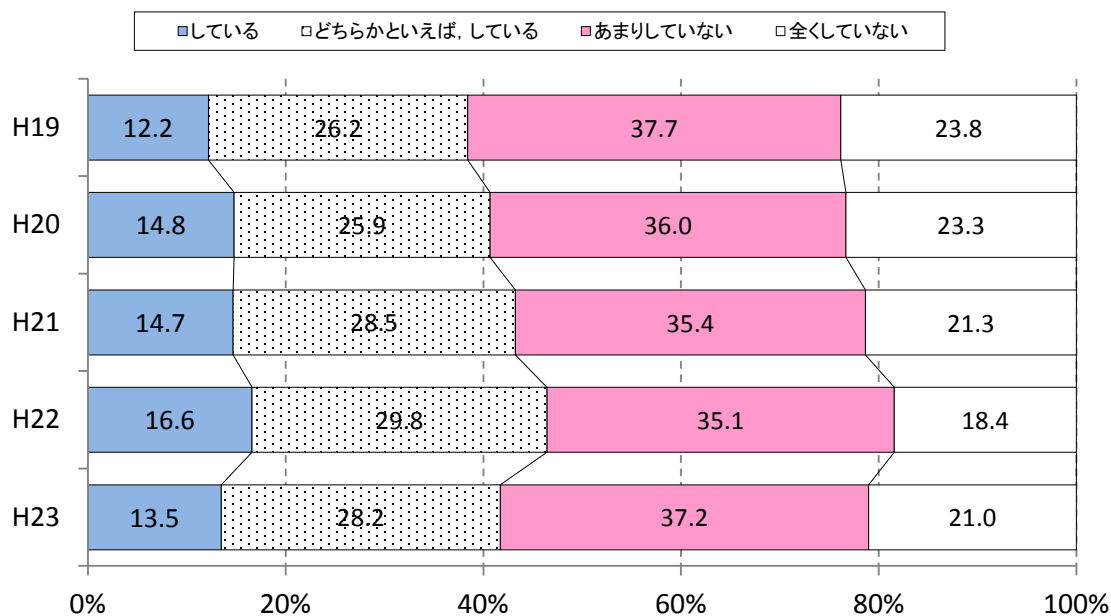
I-3-5 宿題（中学校1・3年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査（中3）」・「生活習慣・学習定着度調査（中1）」

■家庭で学校の宿題をしている中学校1年の生徒の割合が、増加している傾向にある。

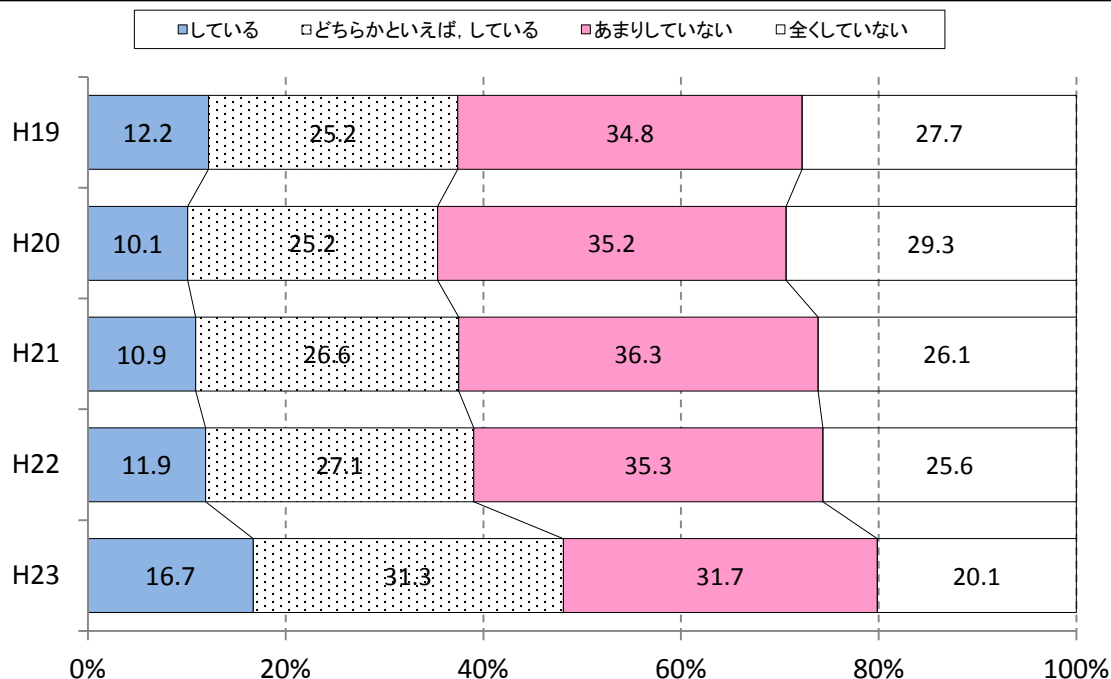
I-3-6 授業の復習（小学校6年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■23年度で、家庭で学校の授業の復習を「している」「どちらかといえば、している」の割合が、減少している傾向にある。

I-3-6 授業の復習（中学校3年）



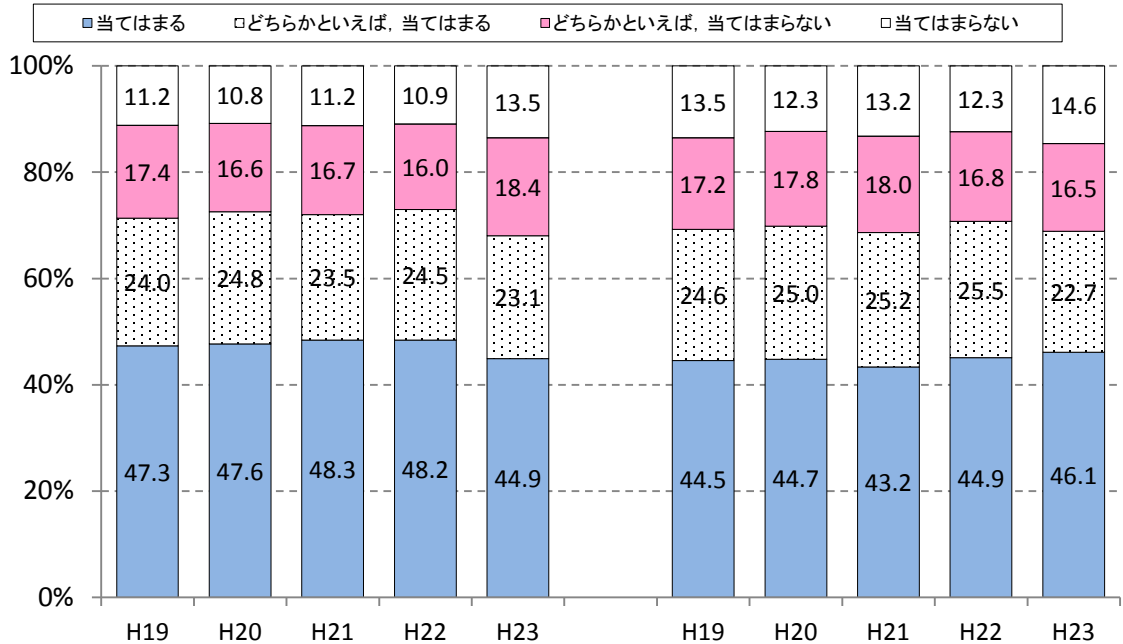
文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■家庭で学校の授業の復習を「している」「どちらかといえば、している」割合が、増加している傾向にある。

I-3-7 読書

小 6

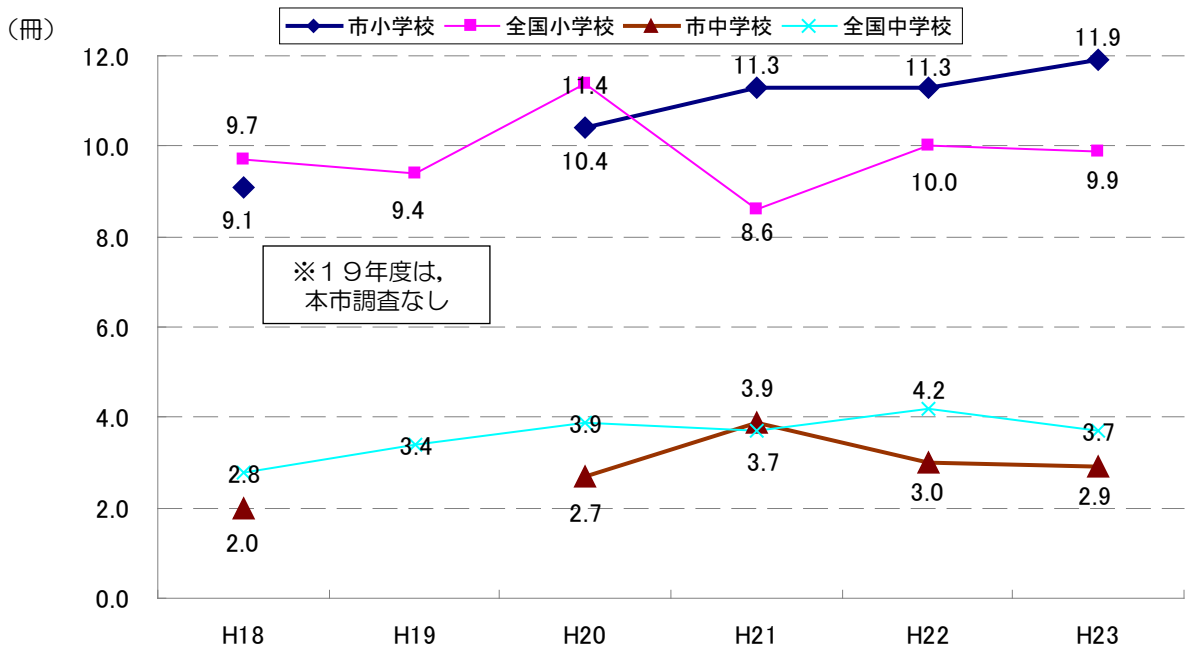
中 3



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■「読書が好き」と回答している小学校6年の割合がわずかに減少しているが、中学校3年は、わずかに増加している。

I-3-8 1か月の平均読書冊数（小・中学校）

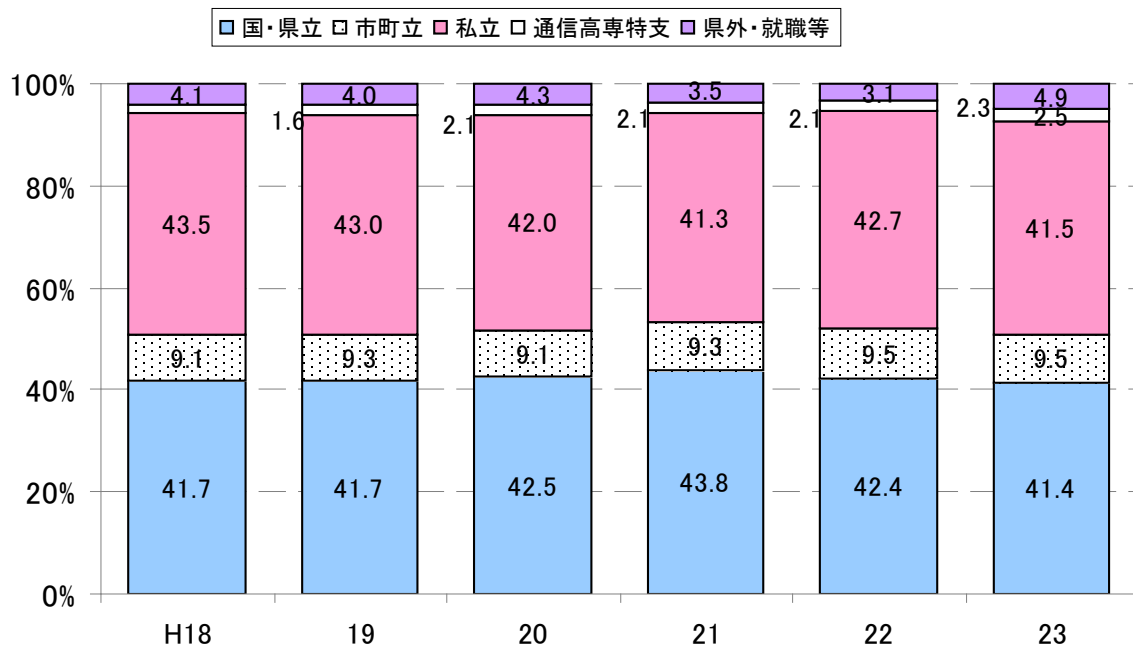


福岡市教育委員会調査

■23年度の本市小学校では全国小学校の1ヶ月平均読書冊数を上回っている。

I－4 進路状況

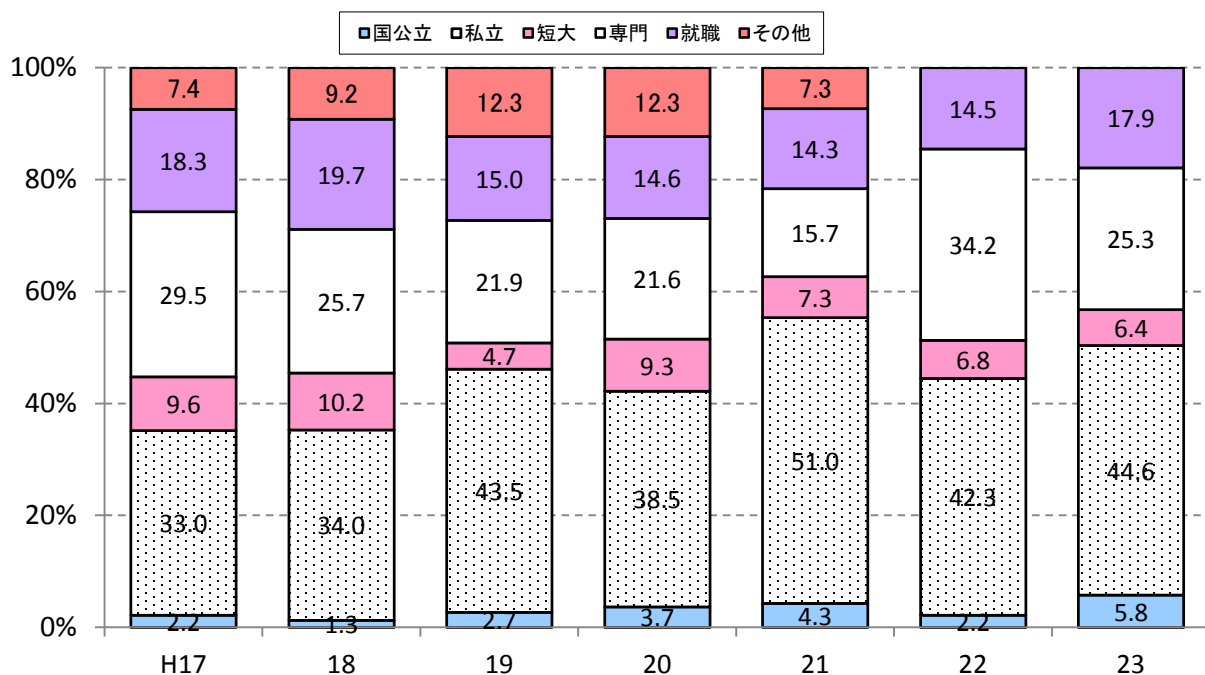
I－4－1 中学校卒業者の進路状況



文部科学省「学校基本調査」

■中学校卒業者の進路状況に、ほとんど大きな変化は見られない。

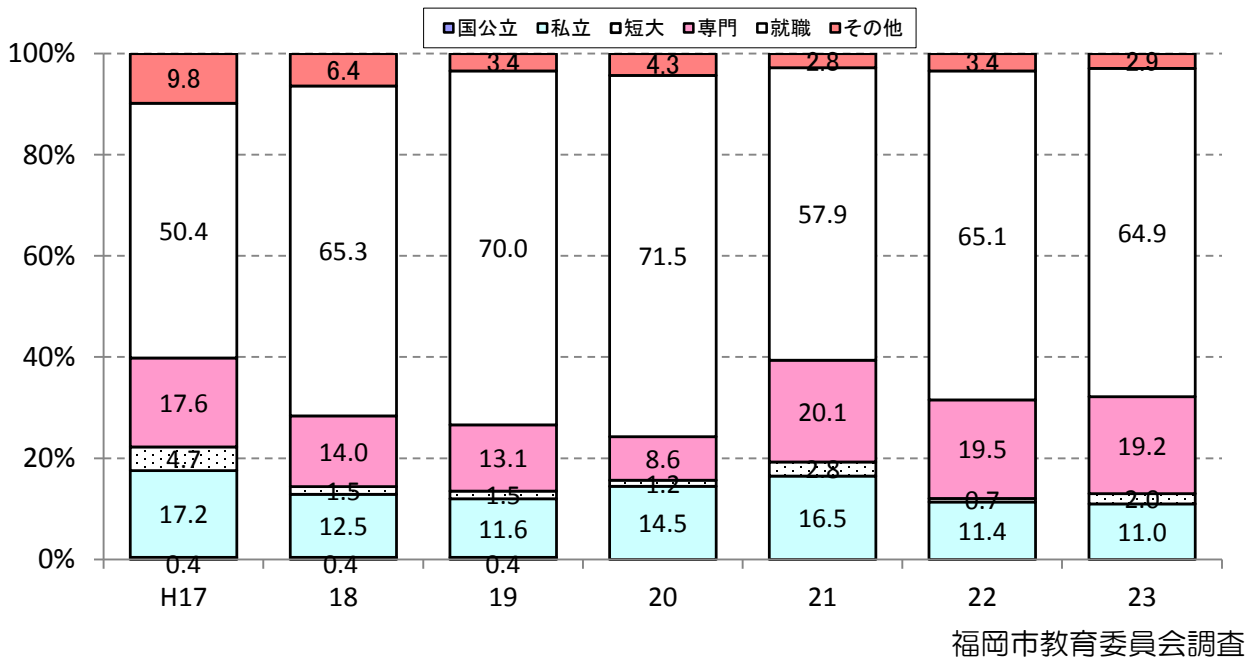
I－4－2 福岡市立福翔高等学校卒業者の進路状況



福岡市教育委員会調査

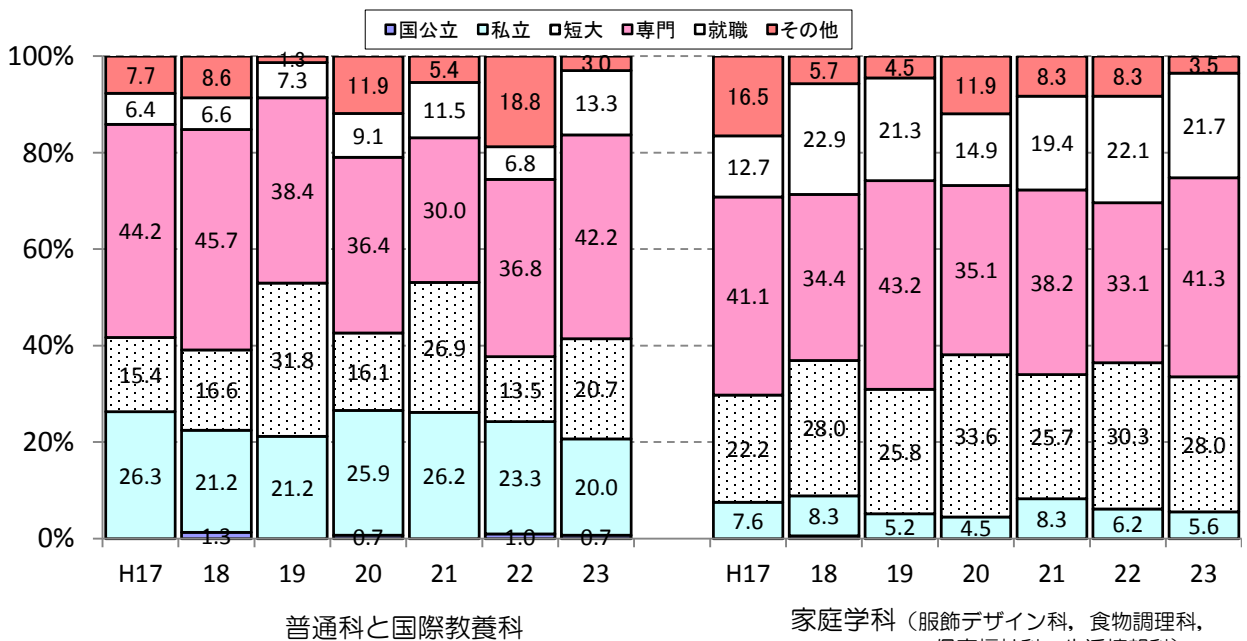
■福翔高等学校の進路状況は、四年制大学（国公立＋私立）への進学割合が昨年度より増加している。

I-4-3 福岡市立博多工業高等学校卒業者の進路状況



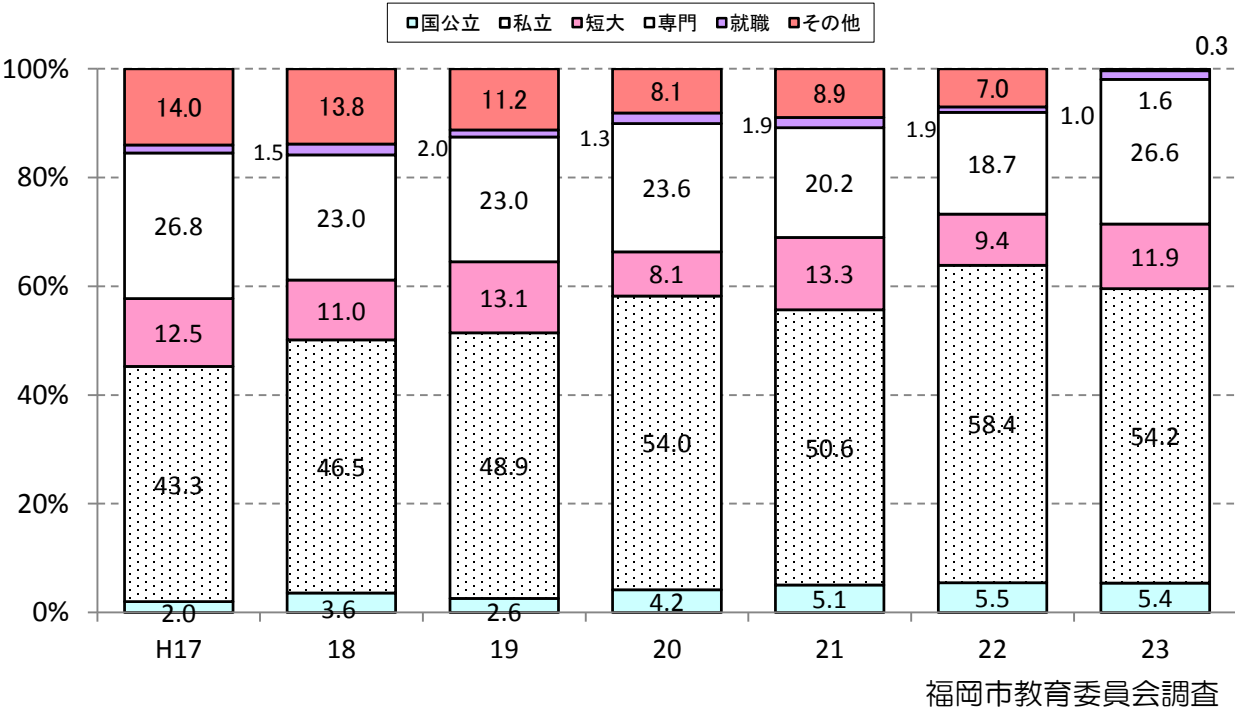
■博多工業高等学校の進路状況は、年度により異なるが、就職する生徒が多数を占めている。

I-4-4 福岡市立福岡女子高等学校卒業者の進路状況

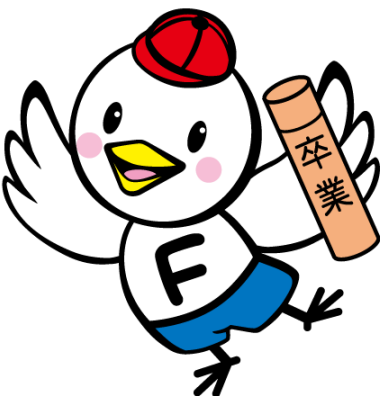


■福岡女子高等学校の進路状況は、年度・学科によって異なるが進学する生徒が多数を占める。

I－4－5 福岡市立福岡西陵高等学校卒業者の進路状況

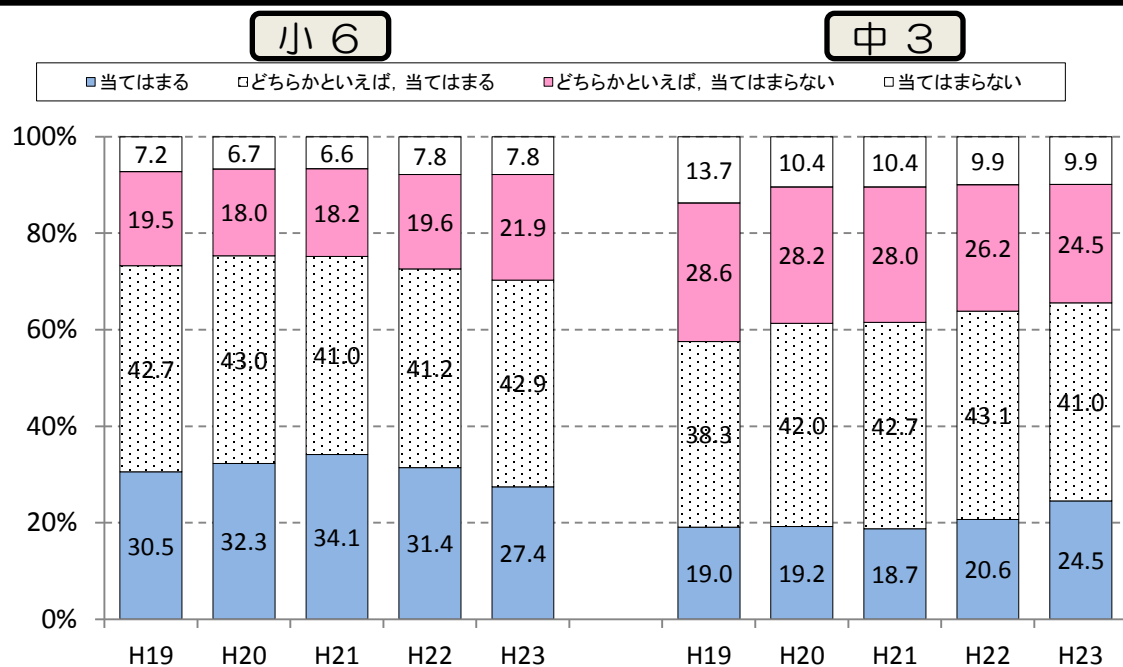


■ 福岡西陵高等学校の進路状況は、四年制大学（国公立＋私立）への進学割合が約60%となっている。



I-5 自尊意識・規範意識

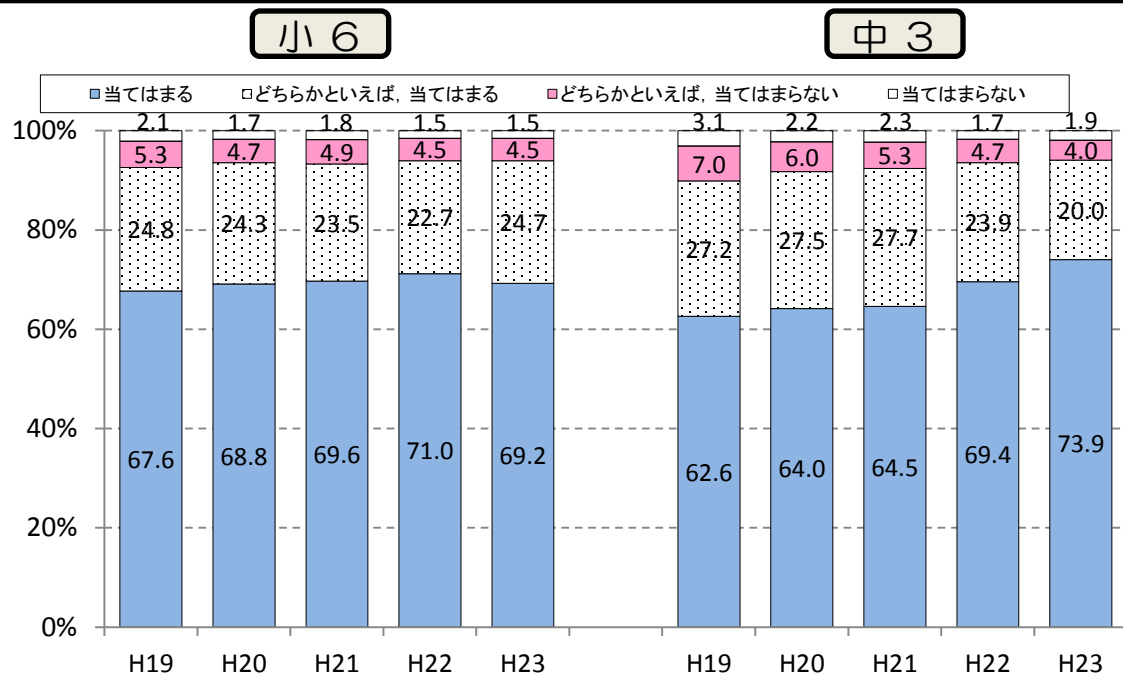
I-5-1 自分のよさ



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■ 「自分にはよいところがある」と回答している児童生徒の割合は、小学校6年は減少しているが、中学校3年では増加している。

I-5-2 人の役に立つ人間への志向



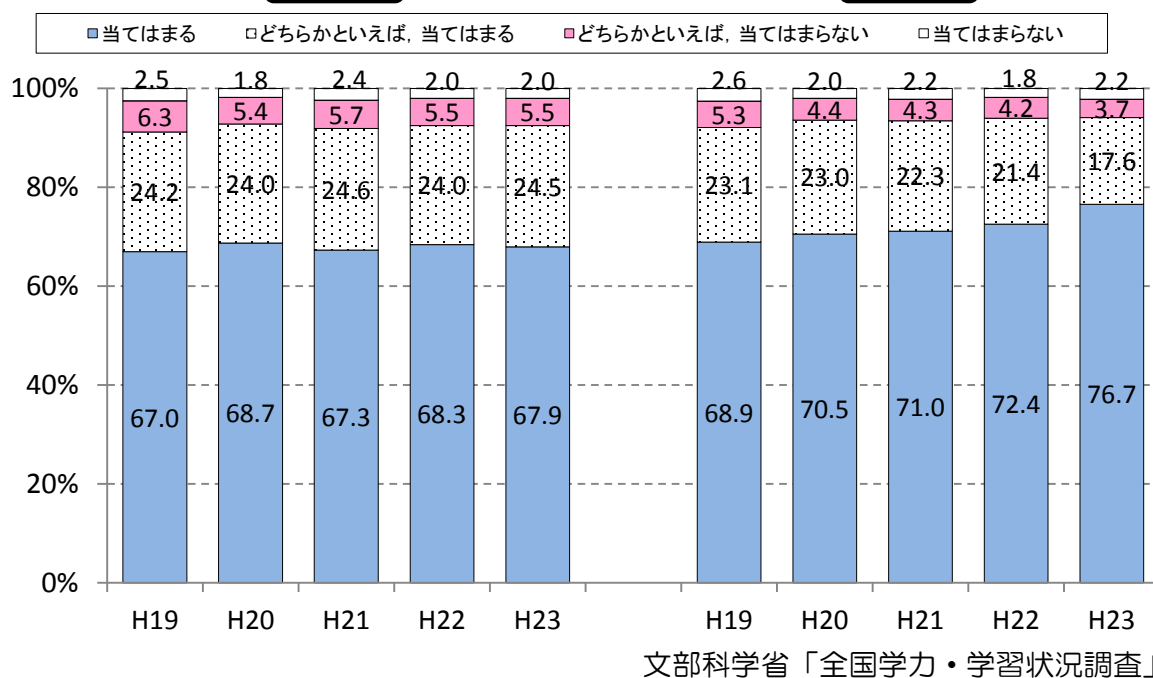
文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■ 「人の役に立つ人間になりたい」と回答している児童生徒の割合は、小学校6年は、大きな変化はないが、中学校3年は増加傾向にある。

I-5-3 人の気持ちがわかる人間への志向

小 6

中 3

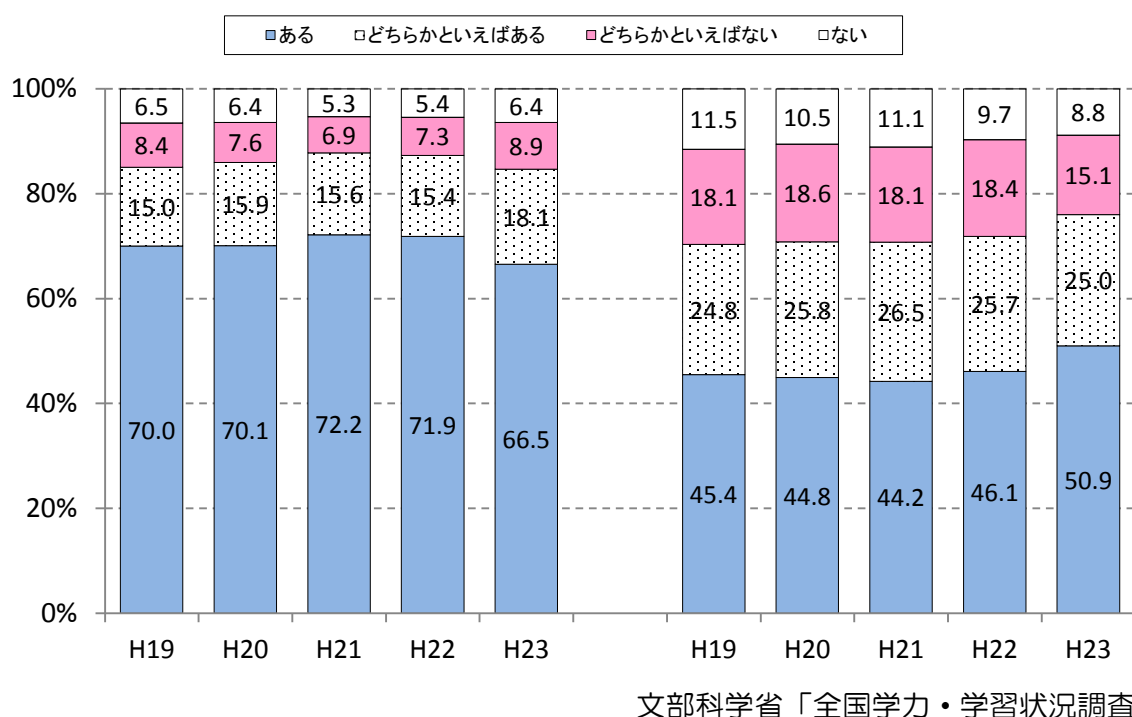


■「人の気持ちがわかる人間になりたい」と回答している児童生徒の割合は、小学校6年はほとんど変化は見られないが、中学校3年は増加傾向にある。

I-5-4 将来の夢や目標

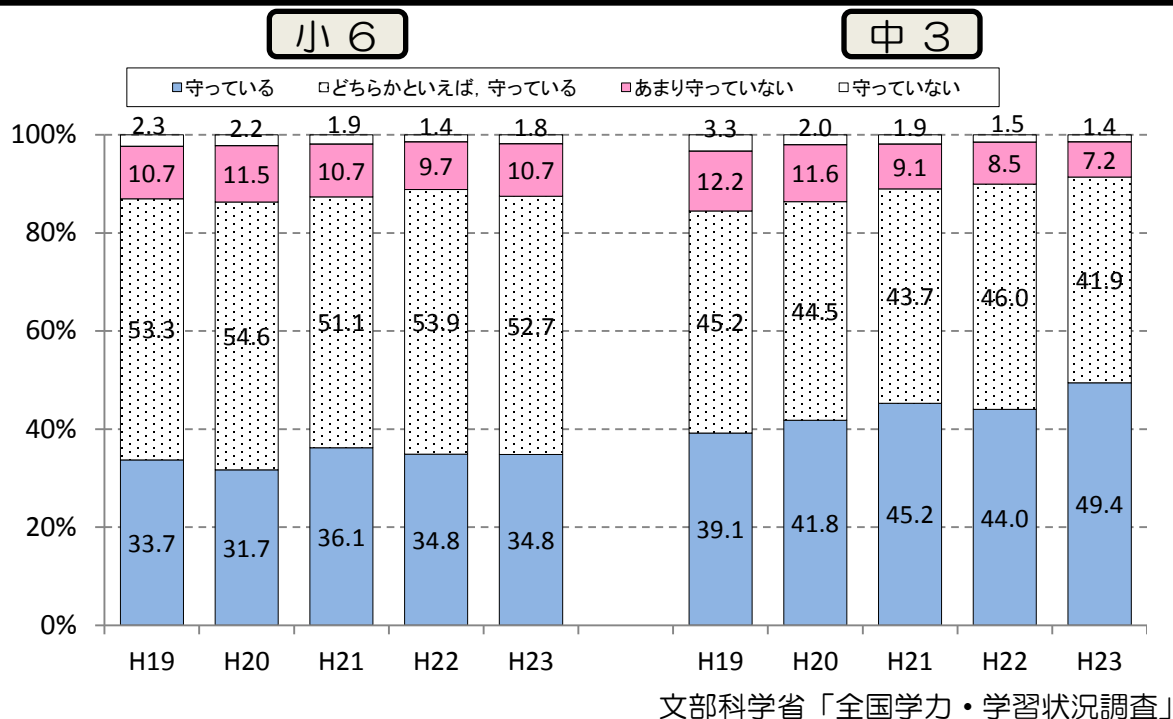
小 6

中 3



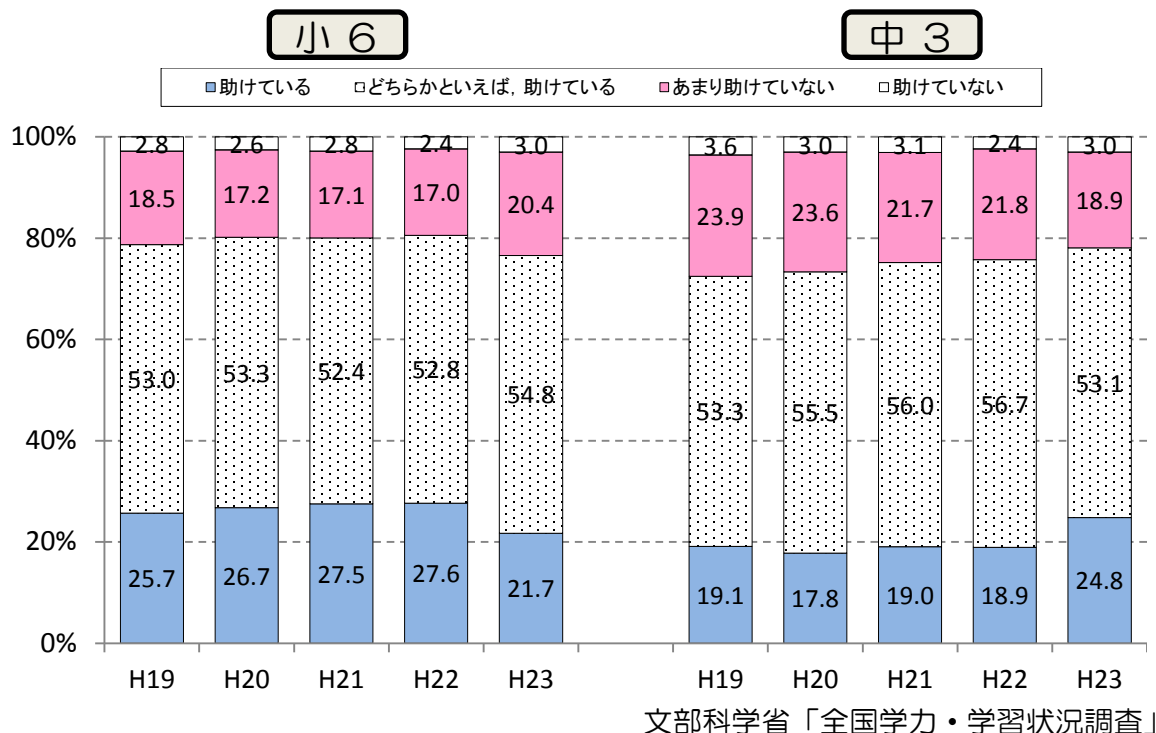
■「将来の夢や目標を持っている」と回答している児童生徒の割合は、小学校6年は減少しているが、中学校3年では増加傾向にある。

I-5-5 学校のきまりの順守



■「学校のきまりを守っている」と回答している児童生徒の割合は、中学校3年では増加傾向となっている。

I-5-6 困っている人への援助

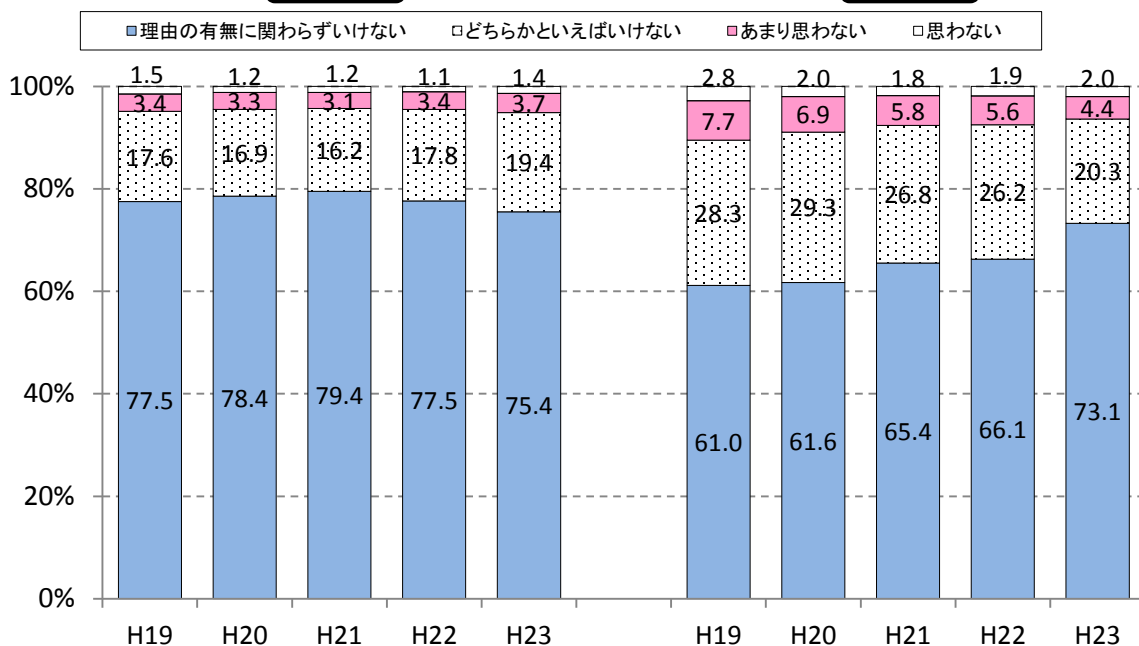


■「人が困っているときは進んで助けている」と回答している児童生徒の割合は、小学校6年は減少しているが、中学校3年は、増加傾向にある。

I-5-7 いじめの認識

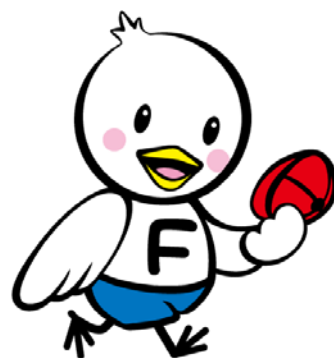
小 6

中 3



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

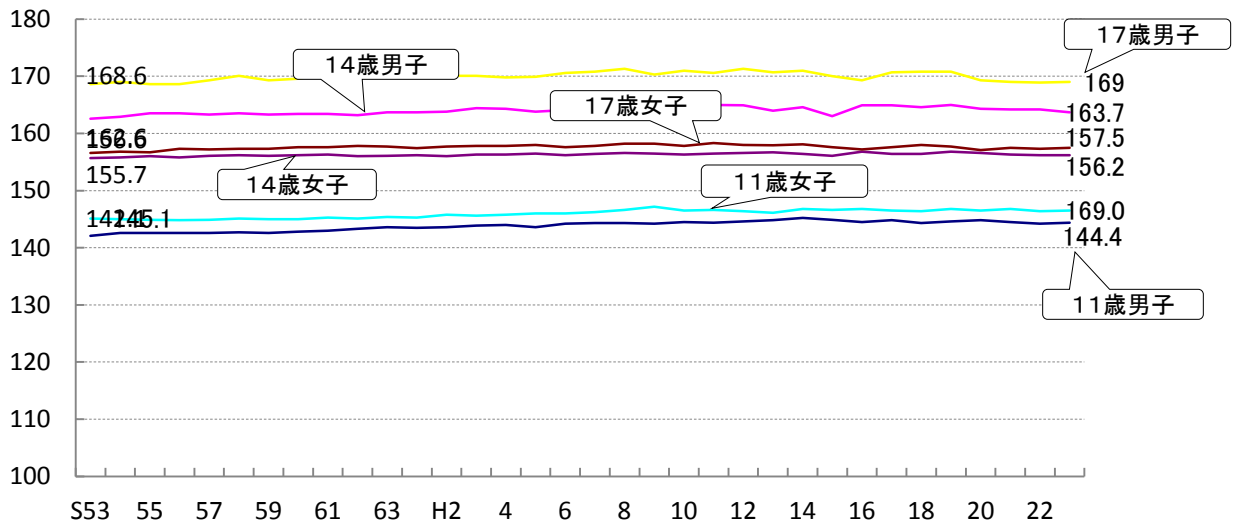
■「いじめは理由の有無にかかわらずいけない」と回答している中学校3年の割合は、年々増加傾向にある。



I-6 体格・疾病

I-6-1 平均身長の推移

(cm)

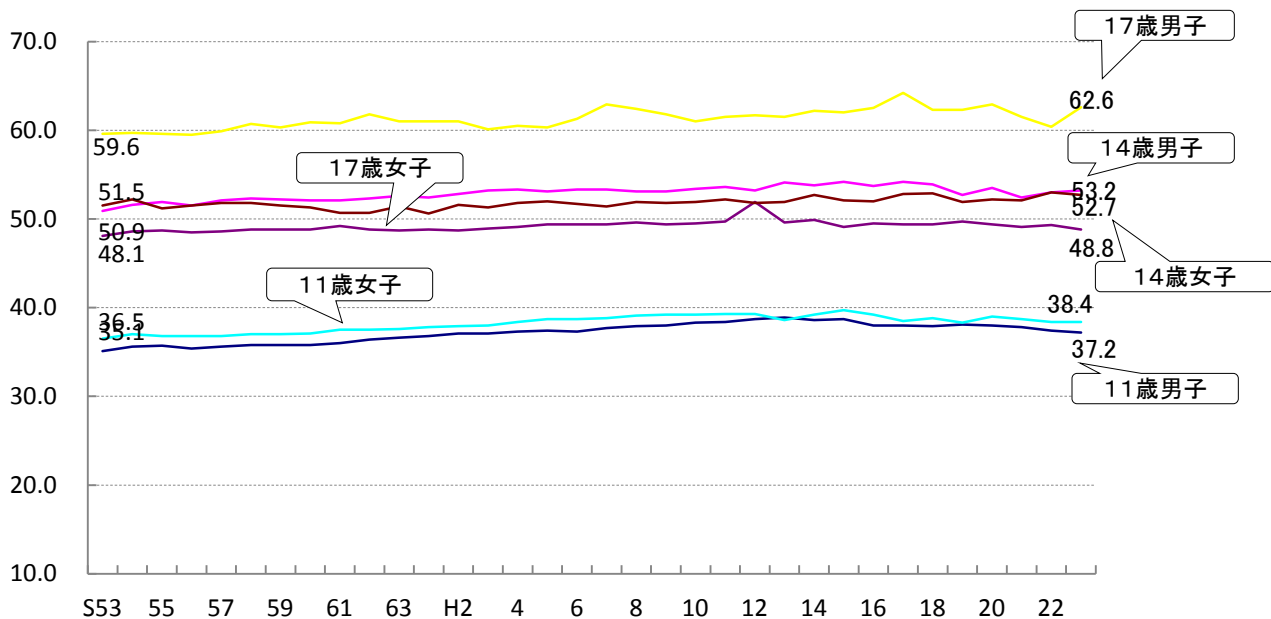


福岡市学校保健統計調査

■どのグループも、ほとんど変化なく推移している。

I-6-2 平均体重の推移

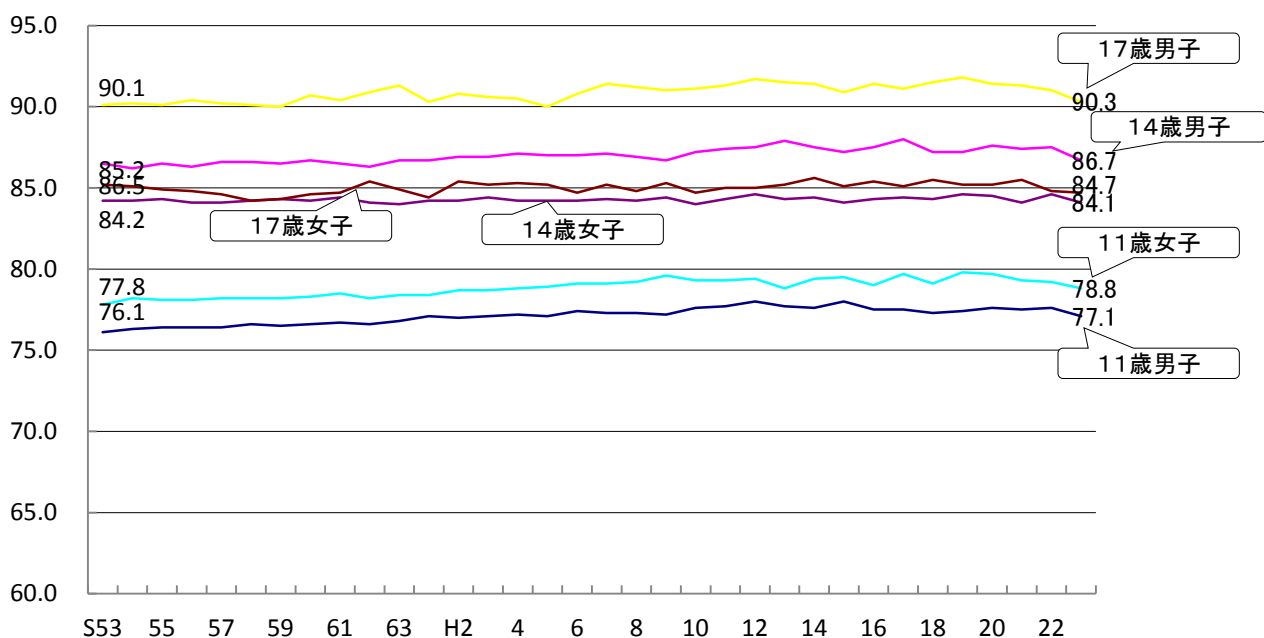
(kg)



福岡市学校保健統計調査

■平均体重は、わずかに17歳男子で増加傾向となっている。その他のグループは、ほとんど変化なく推移している。

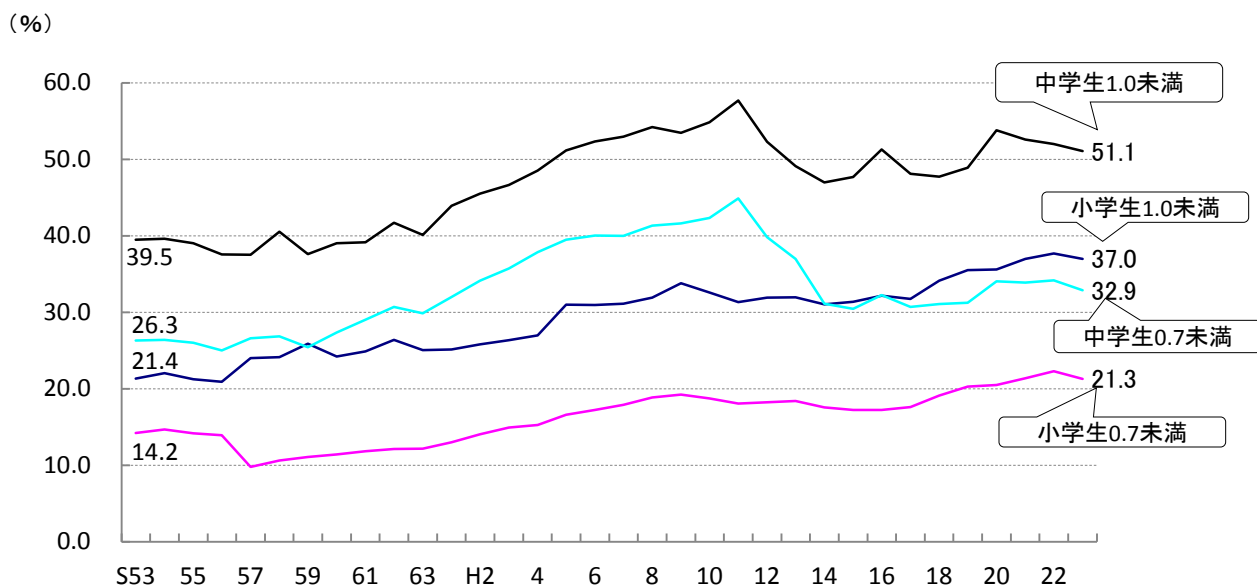
I-6-3 平均座高の推移



福岡市学校保健統計調査

■どのグループも、ほとんど変化なく推移している。

I-6-4 裸眼視力(小・中学生)

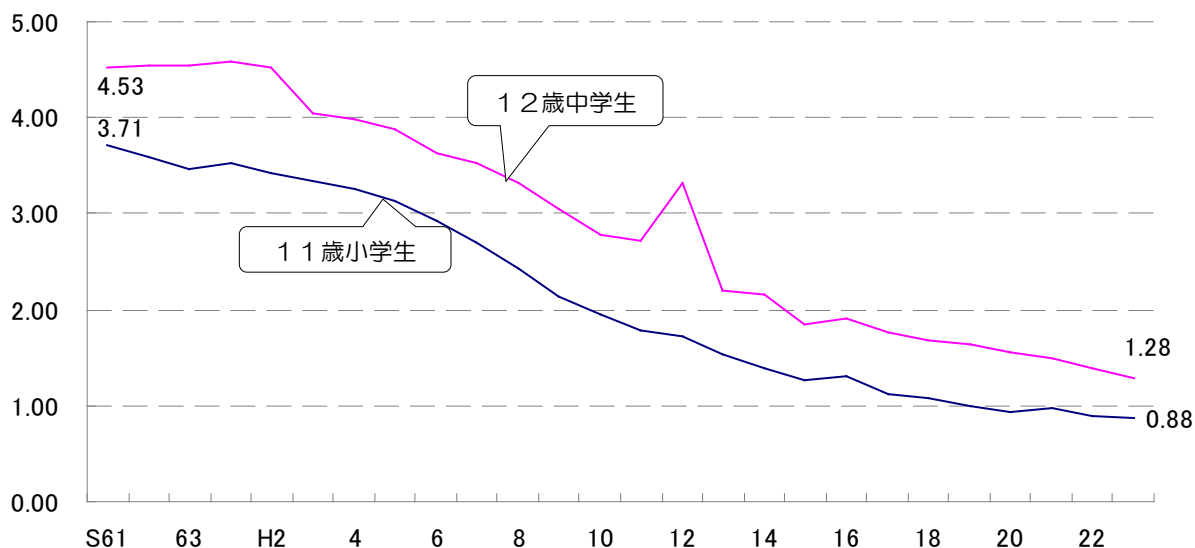


福岡市学校保健統計調査

■裸眼視力は、小中学生「1.0未満」「0.7未満」の割合がわずかに減少傾向となっている。

I-6-5 DMF指数（小・中学生）

（本） ※DMF指数・・・子ども一人における永久歯の虫歯の本数（処置されたものも含む）

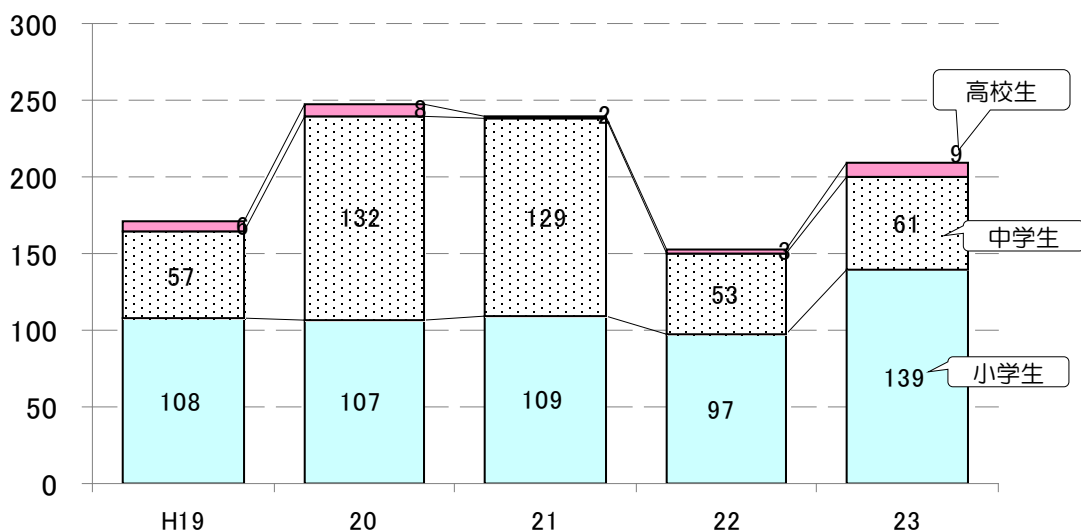


福岡市学校保健統計調査

■子ども一人における永久歯の虫歯の平均本数は1本前後であり、11歳小学生・12歳中学生とも減少傾向で推移している。

I-6-6 保健室登校の人数（小学生・中学生・高校生）

（人） ※高校生には、特別支援学校高等部を含む



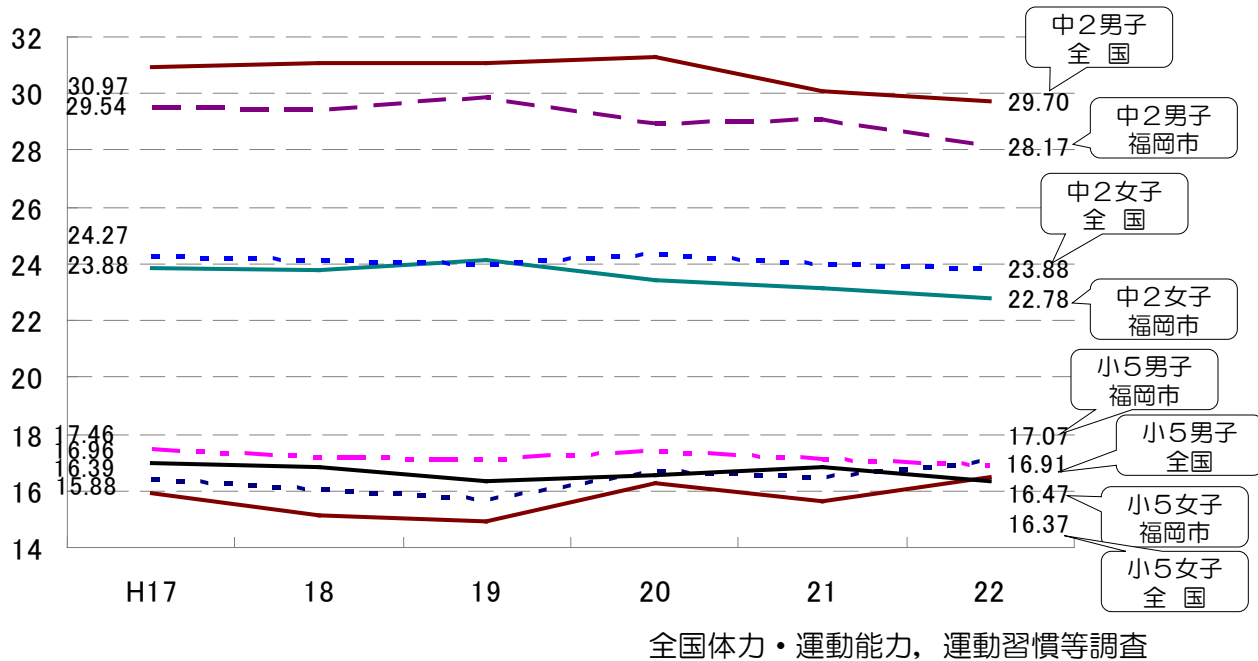
福岡市学校保健統計調査

■23年度の高校生の保健室登校の人数は、小・中・高校生ともに増加傾向となっている。

I-7 体力・運動能力

I-7-1 握力の推移（筋力）

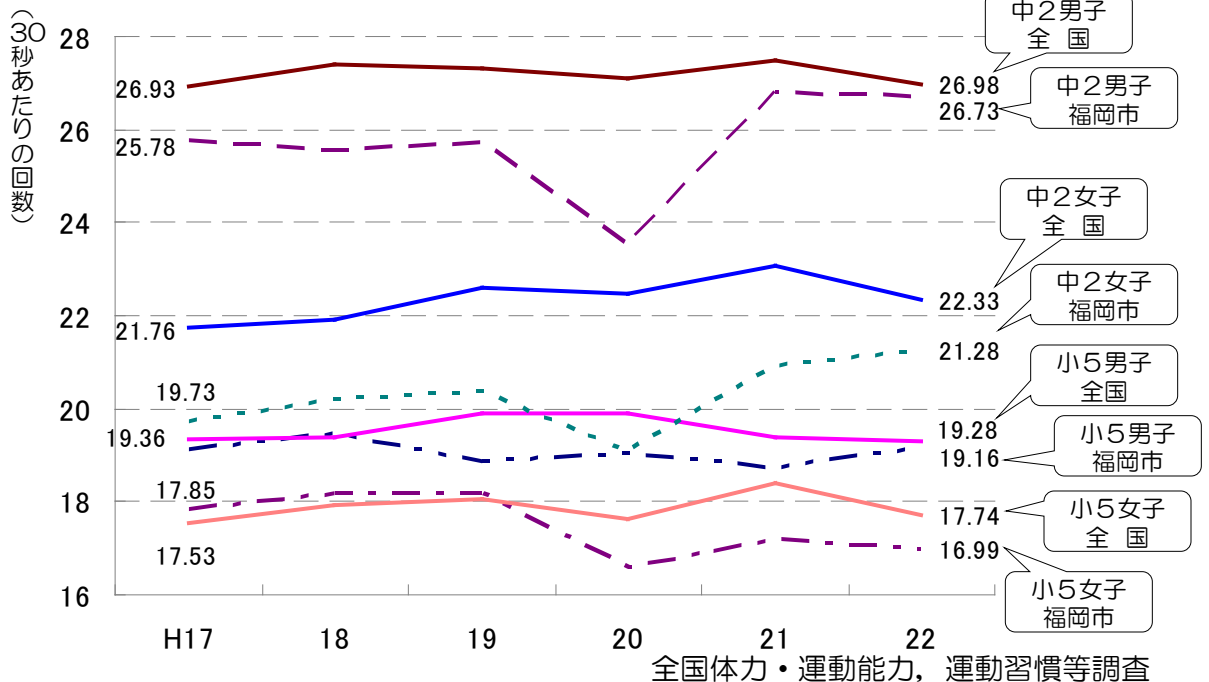
（kg） 23年度は東日本大震災のため実施されていない



■22年度まで，握力は，全体的に低下傾向となっている。小5男子・女子ともに全国平均をわずかに上回っている。

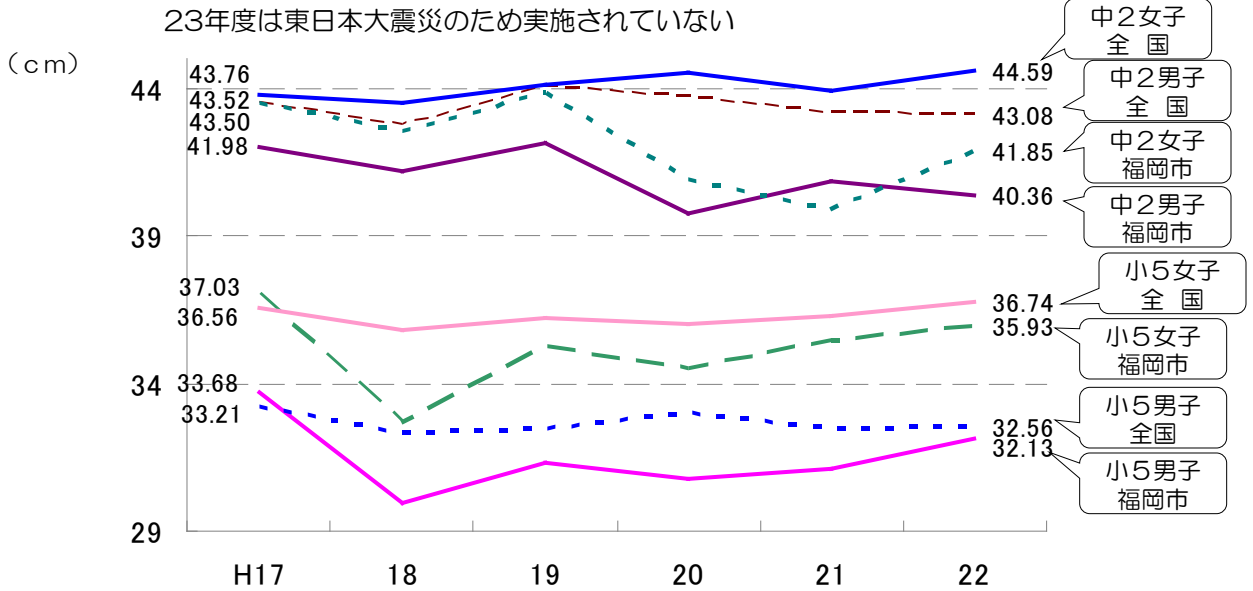
I-7-2 上体おこしの推移（筋持久力・筋力）

23年度は東日本大震災のため実施されていない



■22年度まで，上体おこしの全国平均は，低下傾向にあるが，本市の児童・生徒の平均は，ほぼ横ばい傾向である。

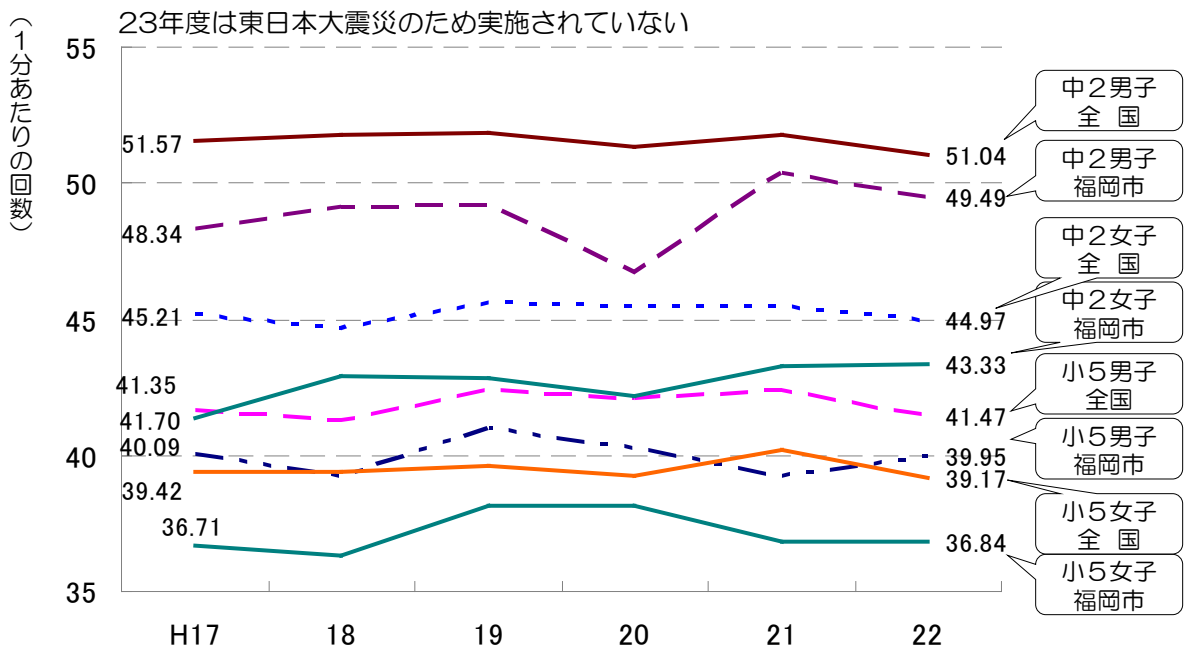
I-7-3 長座体前屈の推移（柔軟性）



全国体力・運動能力，運動習慣等調査

■22年度まで，長座体前屈は，一部改善はみられるが全体としては低下傾向となっている。どの学年も全国平均より下回っている。

I-7-4 反復横跳びの推移（敏捷性）



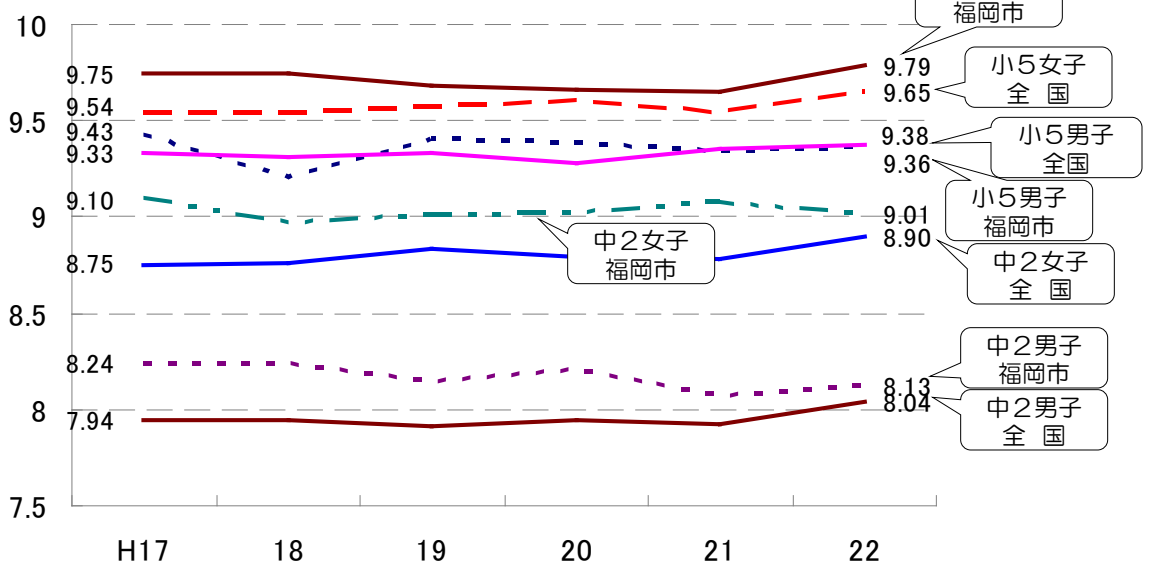
全国体力・運動能力，運動習慣等調査

■22年度まで，反復横跳びは，小5男子においてわずかに上昇傾向が見られるが，どの学年も全国平均より下回っている。

I-7-5 50メートル走の推移（スピード）

（秒）

23年度は東日本大震災のため実施されていない



全国体力・運動能力、運動習慣等調査

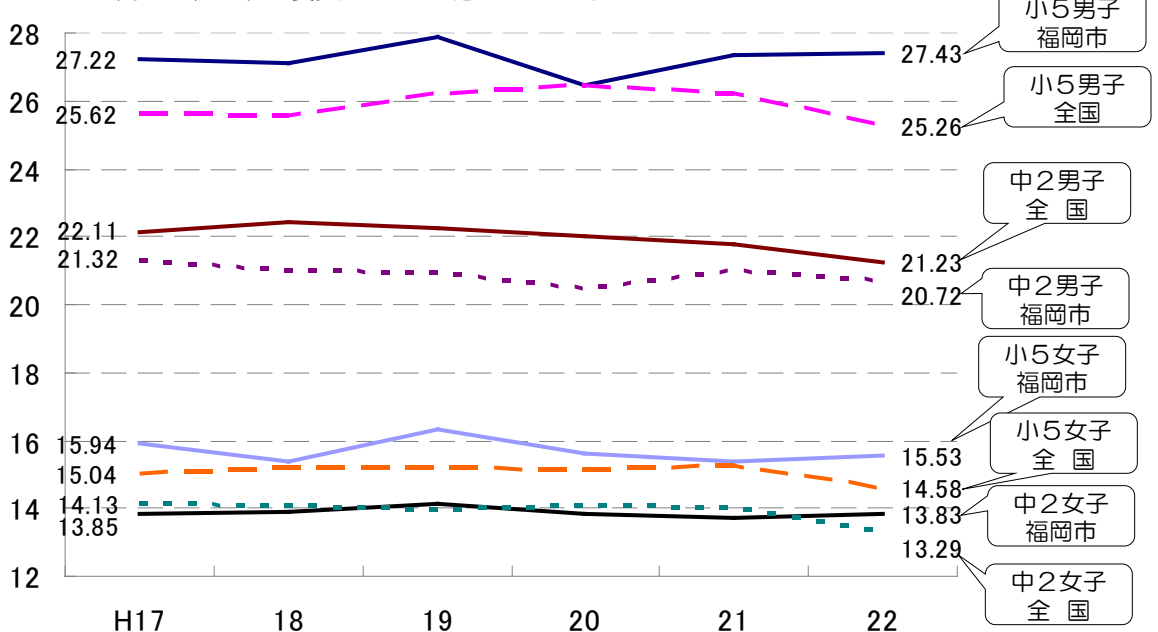
■平成22年度までは、50メートル走は、中2女子の数値がわずかに低下傾向となっている。

I-7-6 ソフトボール（小）・ハンドボール（中）投げの推移

（巧緻性・筋パワー）

23年度は東日本大震災のため実施されていない

（m）



全国体力・運動能力、運動習慣等調査

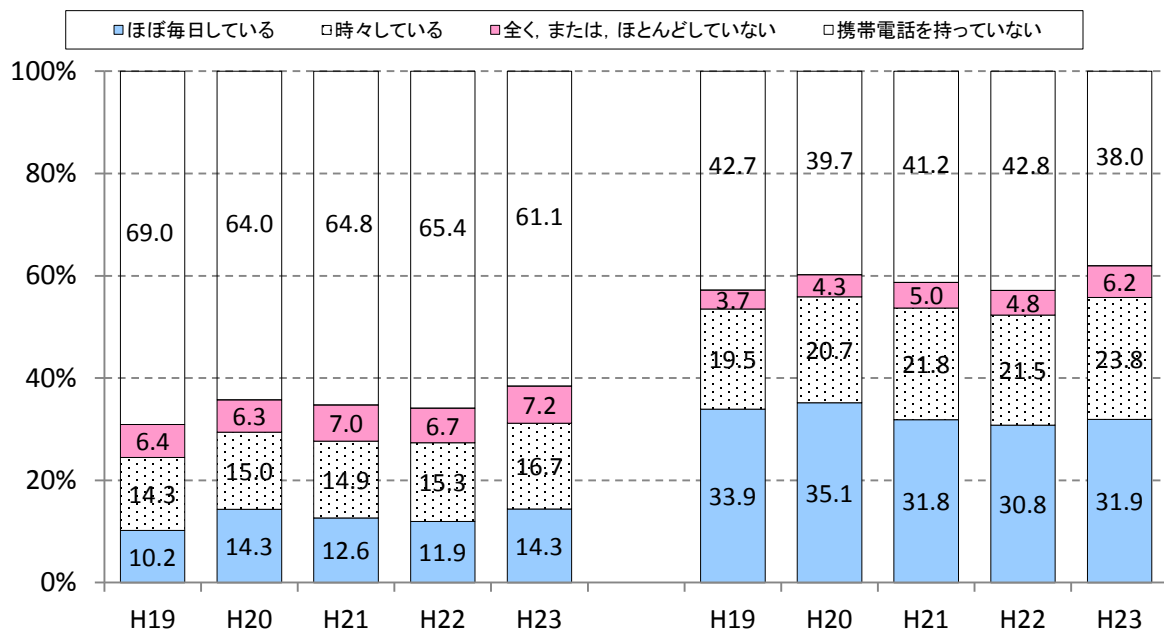
■22年度までは、ソフトボール投げ・ハンドボール投げは、横ばい傾向になっている。小5男子・女子、中2女子は、全国平均を上回っている。

I-8 メディアとの接触

I-8-1 携帯電話の使用状況（通話やメール）

小 6

中 3



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

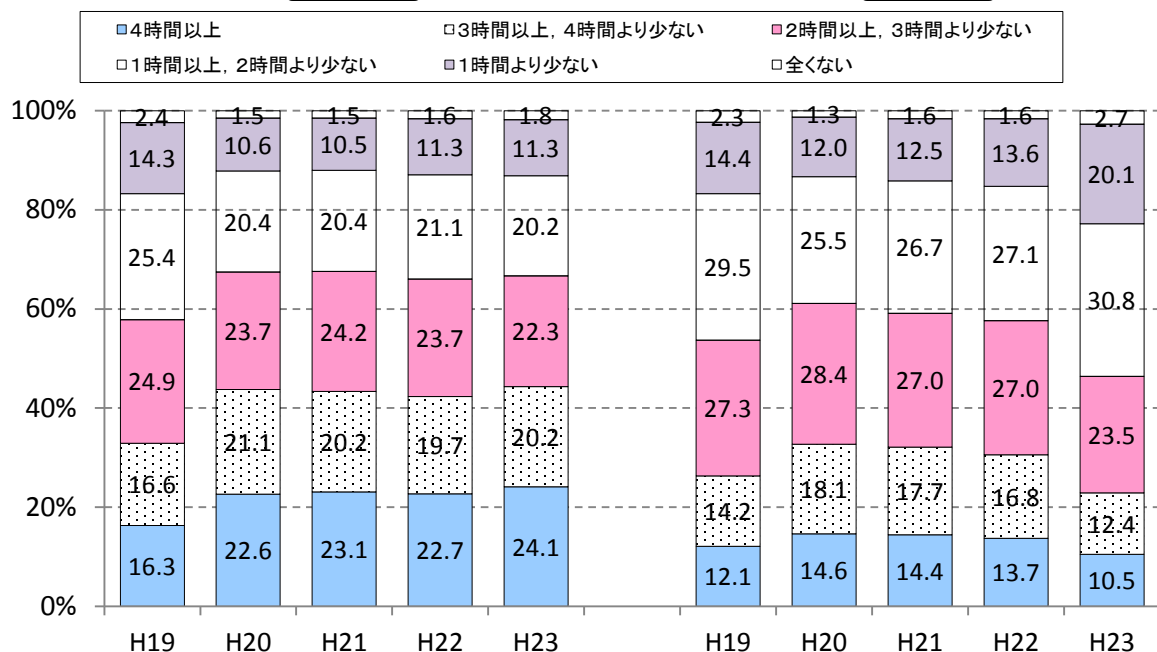
■携帯電話を「ほぼ毎日している」小学校6年の児童の割合は、わずかに増加傾向にある。

I-8-2 普段（月～金曜日）のテレビ・ビデオ等の視聴時間

小 6

※テレビゲームをする時間は除く

中 3

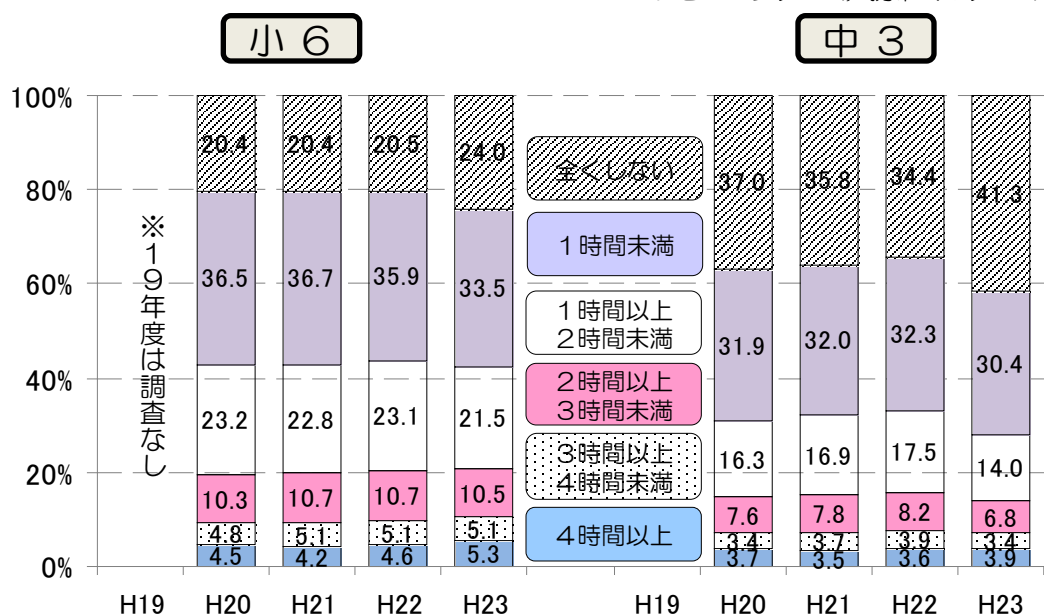


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■「4時間以上」テレビ、ビデオを視聴している小学校6年の割合が増加している。

I-8-3 普段（月～金曜日）のテレビゲーム時間

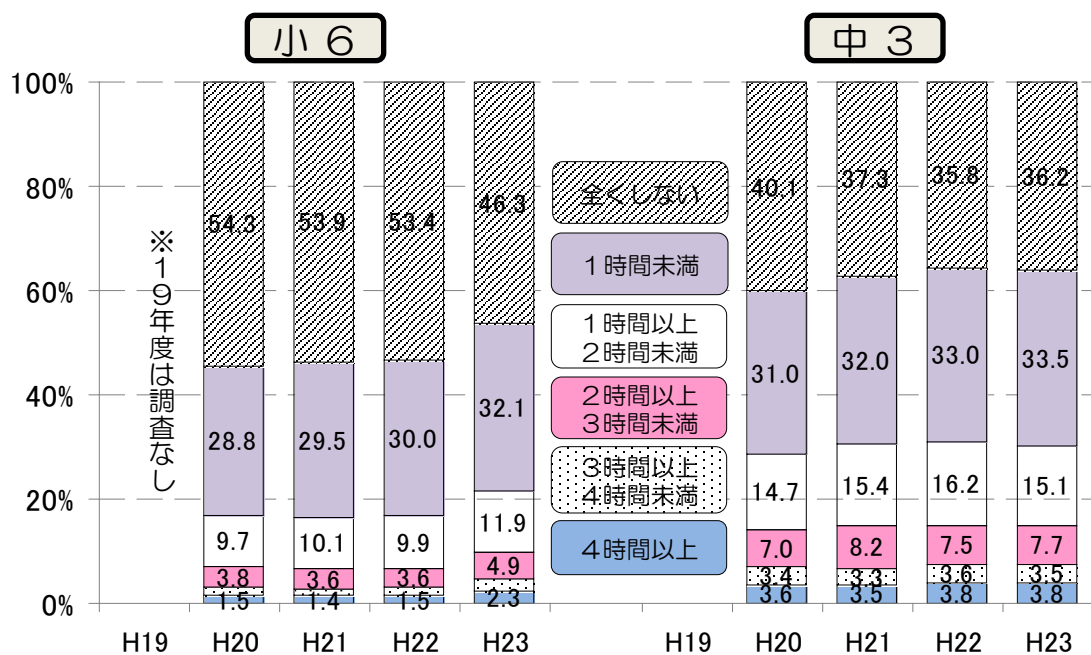
※コンピュータゲーム、携帯式のゲームを含む



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■小学校6年、中学校3年とも「全くしない」割合が、増加傾向にある。

I-8-4 普段（月～金曜日）のインターネット時間



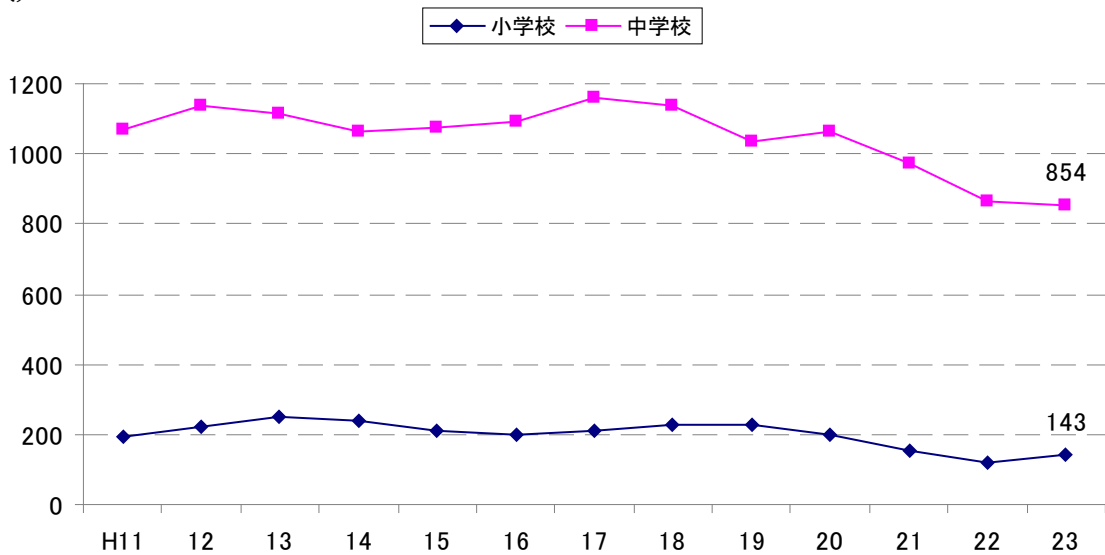
文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■小学校6年の「全くしない」割合が減少傾向にある。

I-9 不登校・いじめ・暴力行為

I-9-1 不登校児童生徒数（年間30日以上の欠席）

(人)



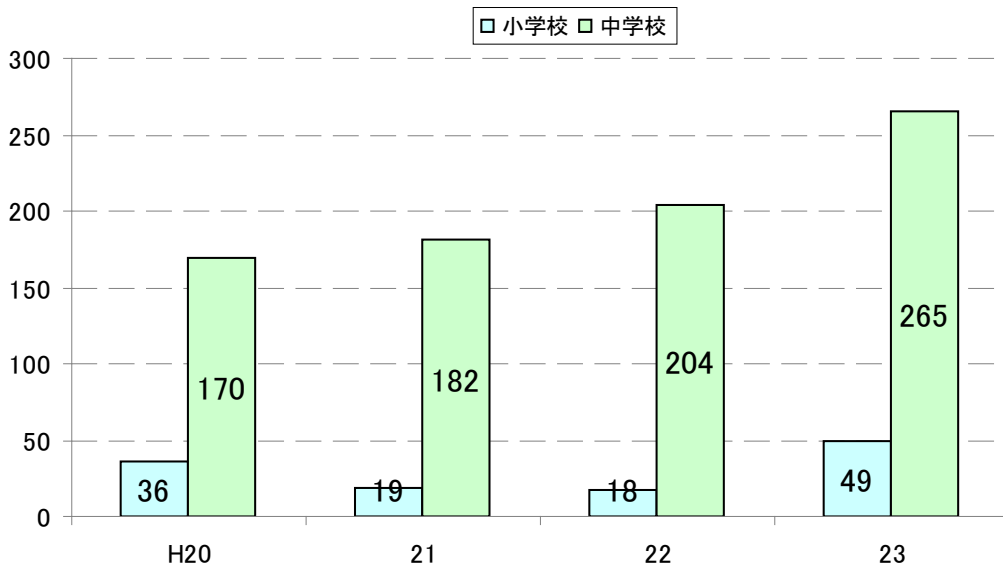
福岡市教育委員会調査

■不登校生徒数は、小学校・中学校は減少しているが、小学校は、横ばいとなっている。

I-9-2 不登校児童生徒の復帰の状況

復帰とは・・・指導の結果、登校する又は登校できるようになった児童生徒
個々の児童生徒の状況に応じて継続的に登校できるようになったと認められる者を復帰とする

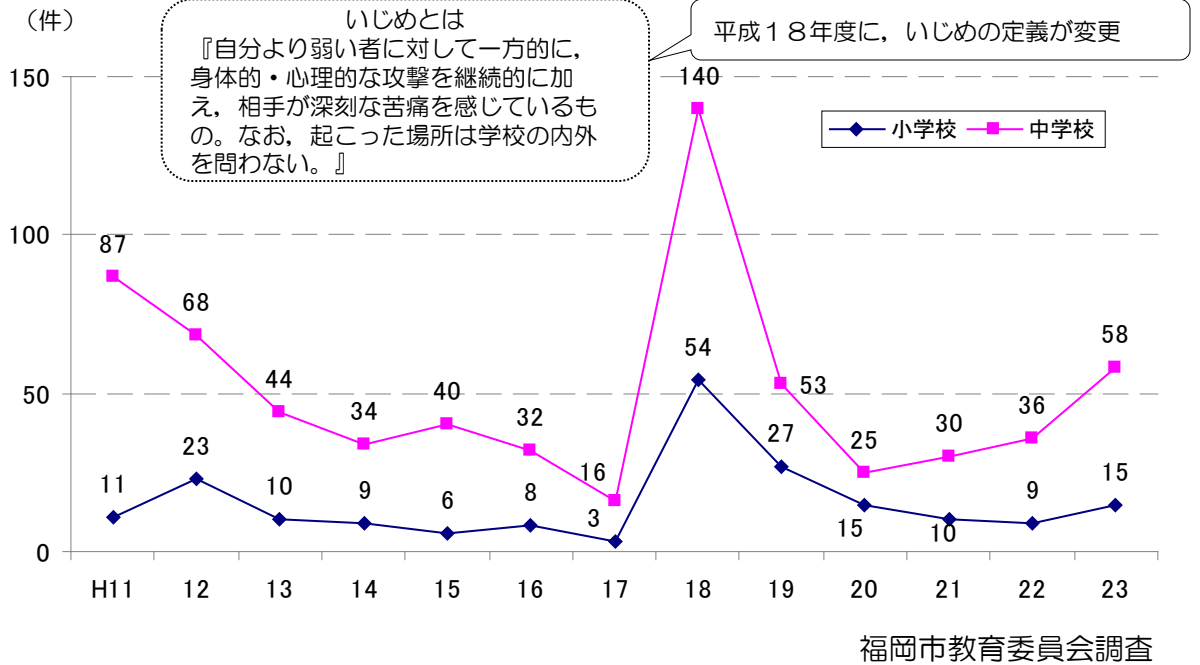
(人)



福岡市教育委員会調査

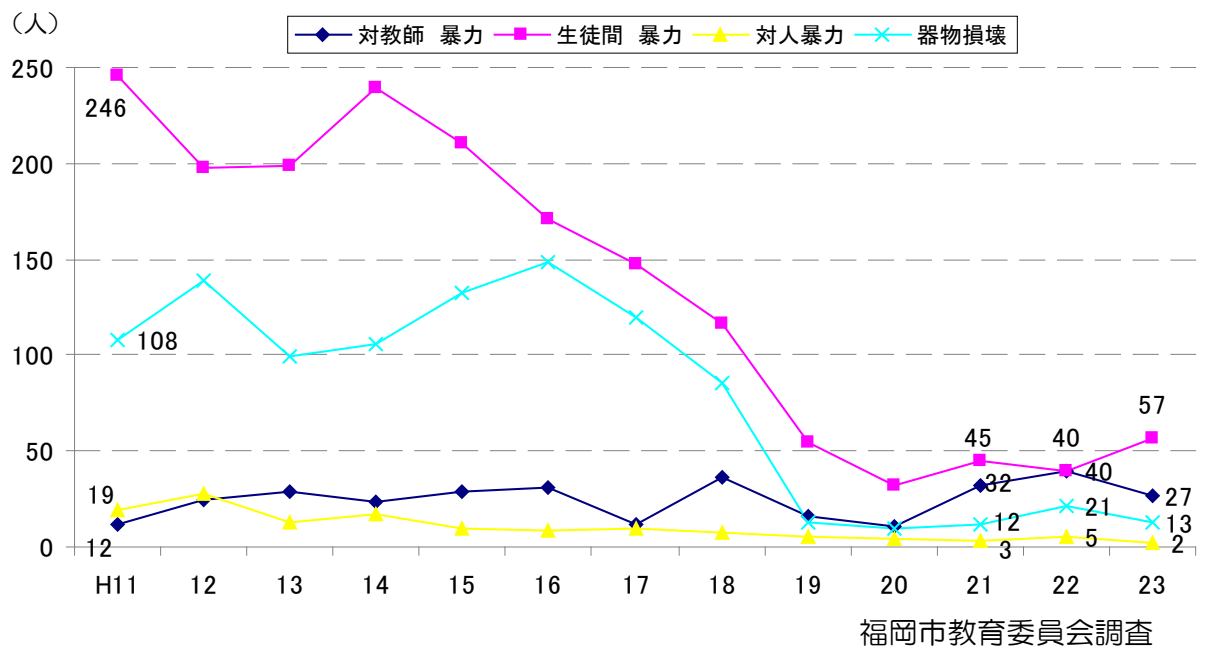
■23年度の不登校児童生徒の復帰は、小・中学校ともに増加している。

I-9-3 いじめの発生状況（認知件数）



■18年度にいじめの定義が変更された時点では増加したが、19年度には減少した。ここ数年は、小学校は低い水準を維持しているが、中学校は、増加傾向にある。

I-9-4 暴力行為の発生状況（小・中学校）

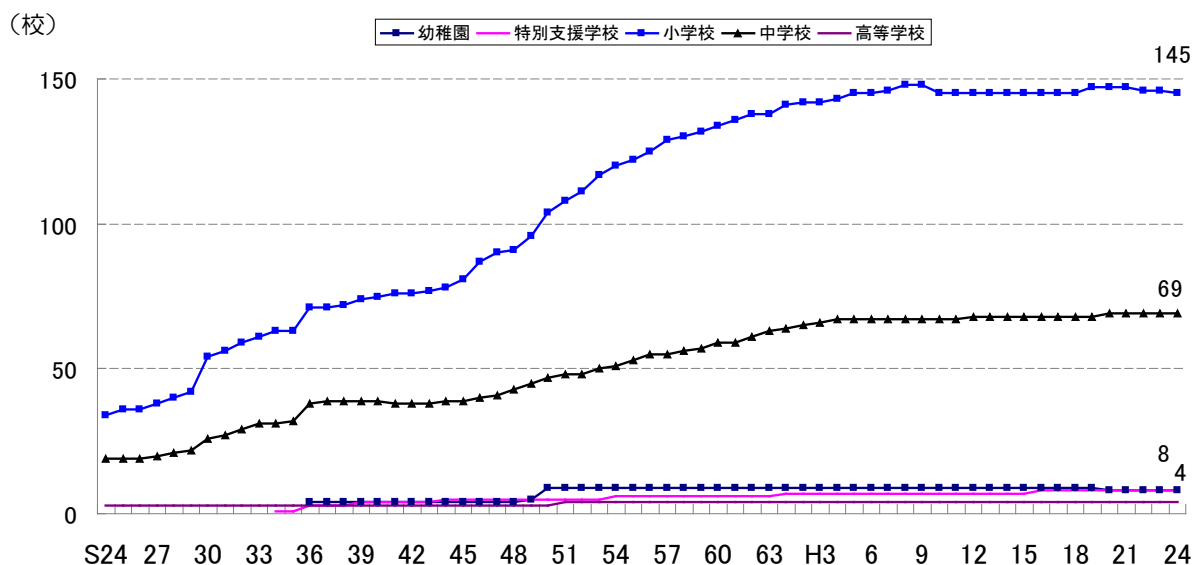


■ここ数年、暴力行為は低い水準で推移しているが、生徒間暴力は微増傾向である。

Ⅱ 学 校

Ⅱ－１ 学校数等

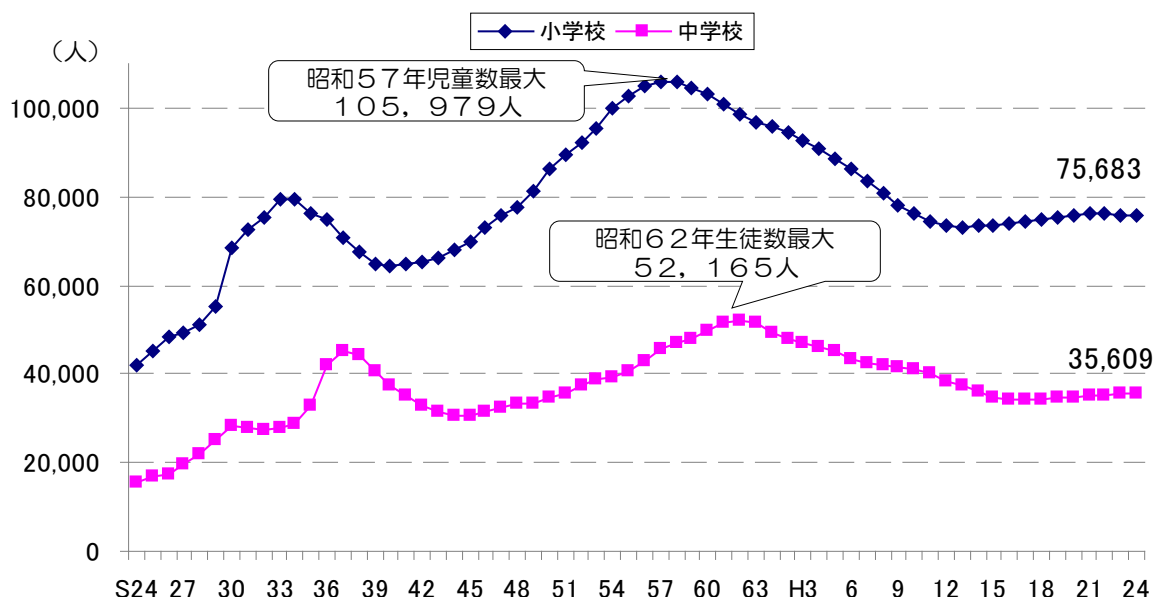
Ⅱ－１－１ 学校数の推移



福岡市教育委員会調査

■市立学校は、幼稚園8（休園を含む）、特別支援学校8、小学校145、中学校69、高等学校4となっている。

Ⅱ－１－２ 児童生徒数の推移

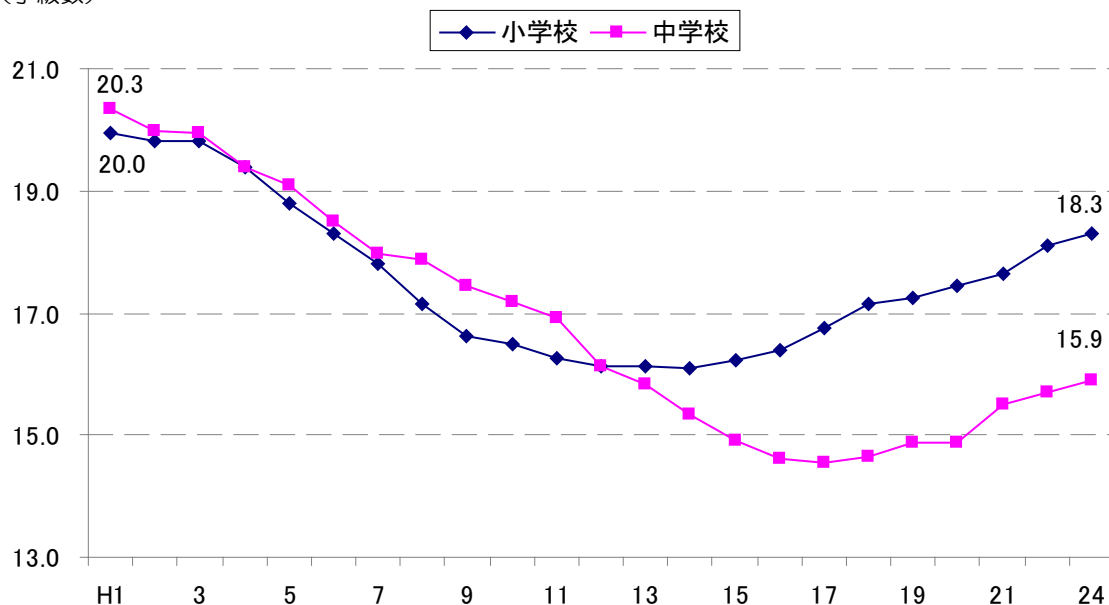


福岡市教育委員会調査

■児童生徒数は、小学校が昭和57年、中学校が昭和62年をピークに減少傾向となっていたが、近年は、ほぼ横ばいとなっている。

Ⅱ－１－３ １校あたりの学級数の推移

(学級数)

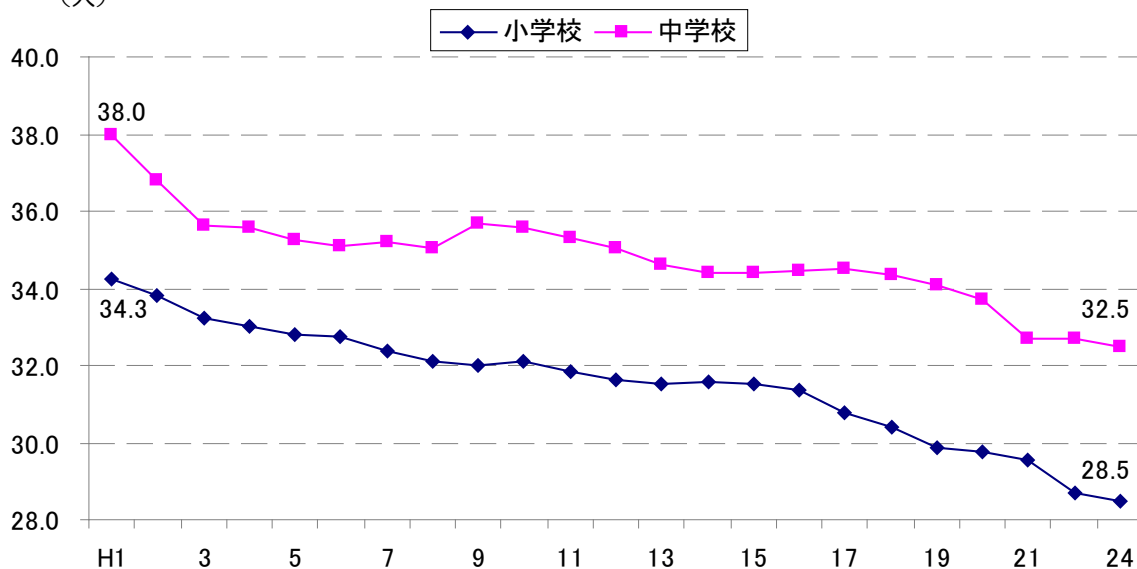


福岡市教育委員会調査

■ここ近年、１校あたりの学級数は増加傾向となっている。

Ⅱ－１－４ １学級あたりの児童生徒数の推移

(人)



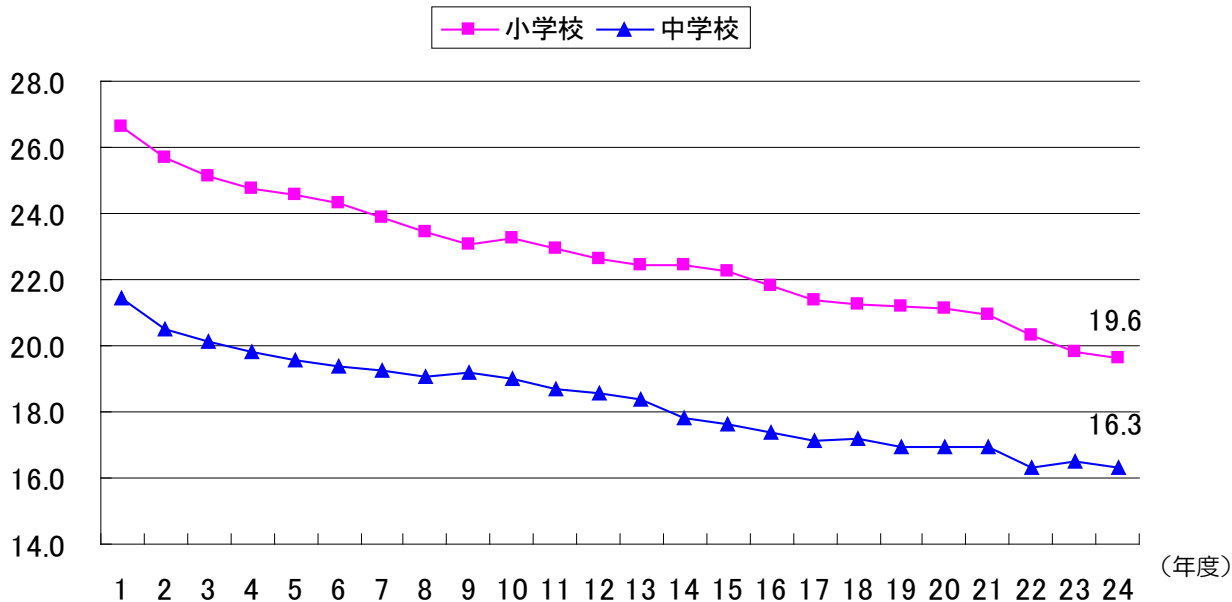
福岡市教育委員会調査

■１学級あたりの児童生徒数は、小学校・中学校とも減少傾向となっている。

Ⅱ－１－５ 教員１人あたりの児童生徒数の推移

(人)

※「教員」とは、校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師を指す



福岡市教育委員会調査

■教員１人あたりの児童生徒数は、小学校・中学校とも減少傾向のまま推移している。

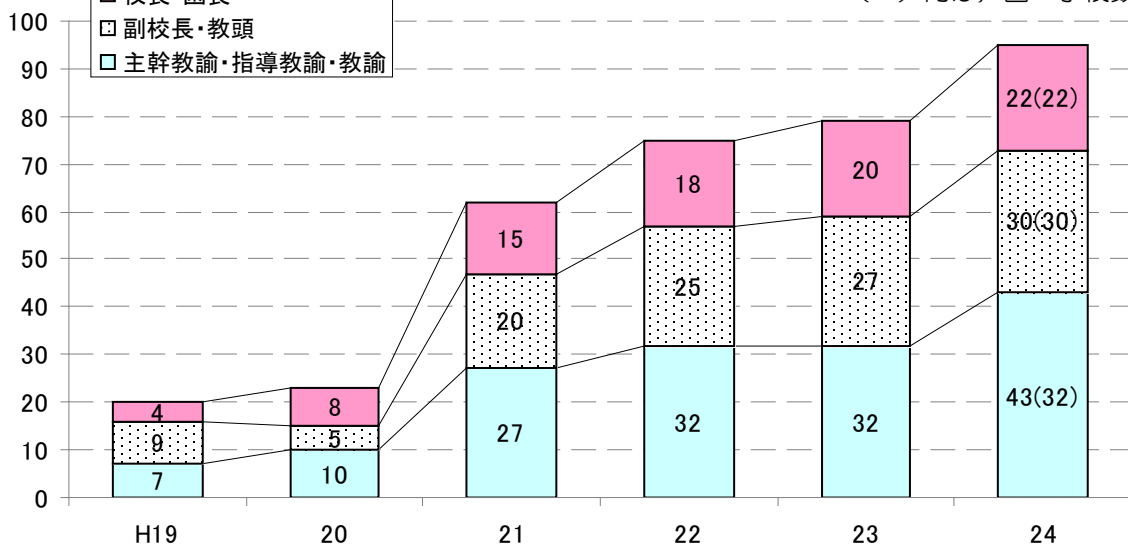
Ⅱ－１－６ 異校種間人事交流の状況

※「異校種間人事交流」とは、小学校と中学校、中学校と高等学校など、異なる学校種の間で人事異動を行うこと

(人)

■ 校長・園長
 □ 副校長・教頭
 □ 主幹教諭・指導教諭・教諭

() 内は、園・学校数

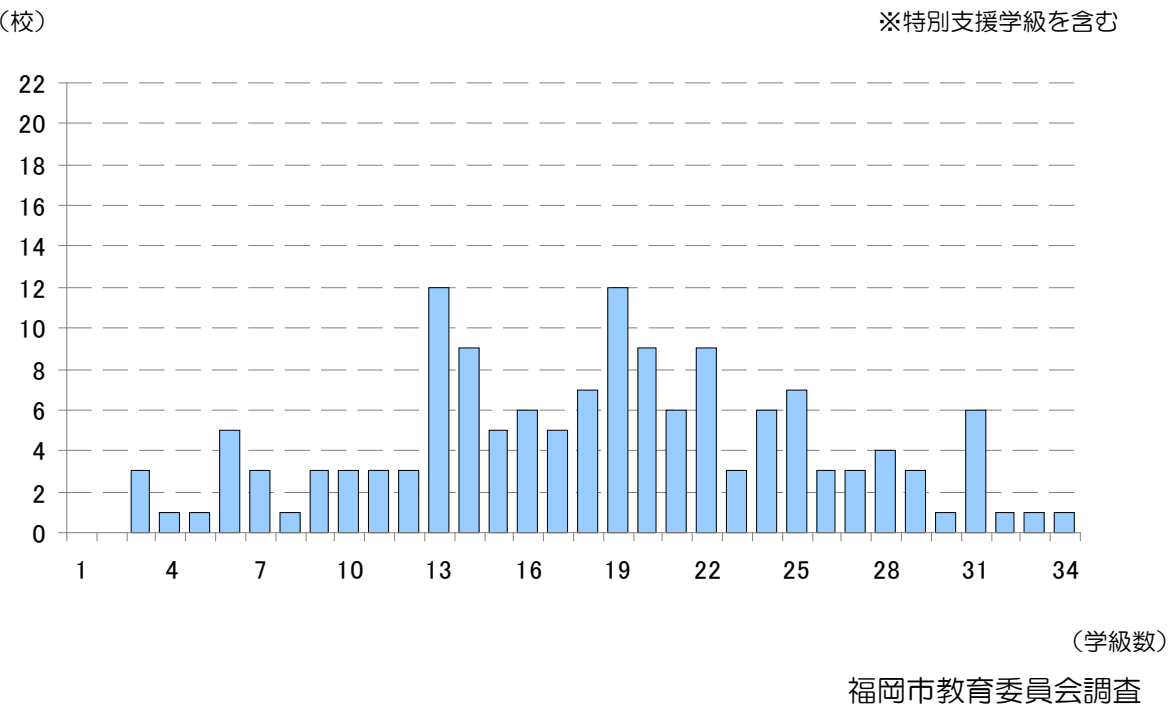


福岡市教育委員会調査

■１９年度から始まった異校種間人事交流は、校長・園長、教頭、教諭のすべての職種で増加している。

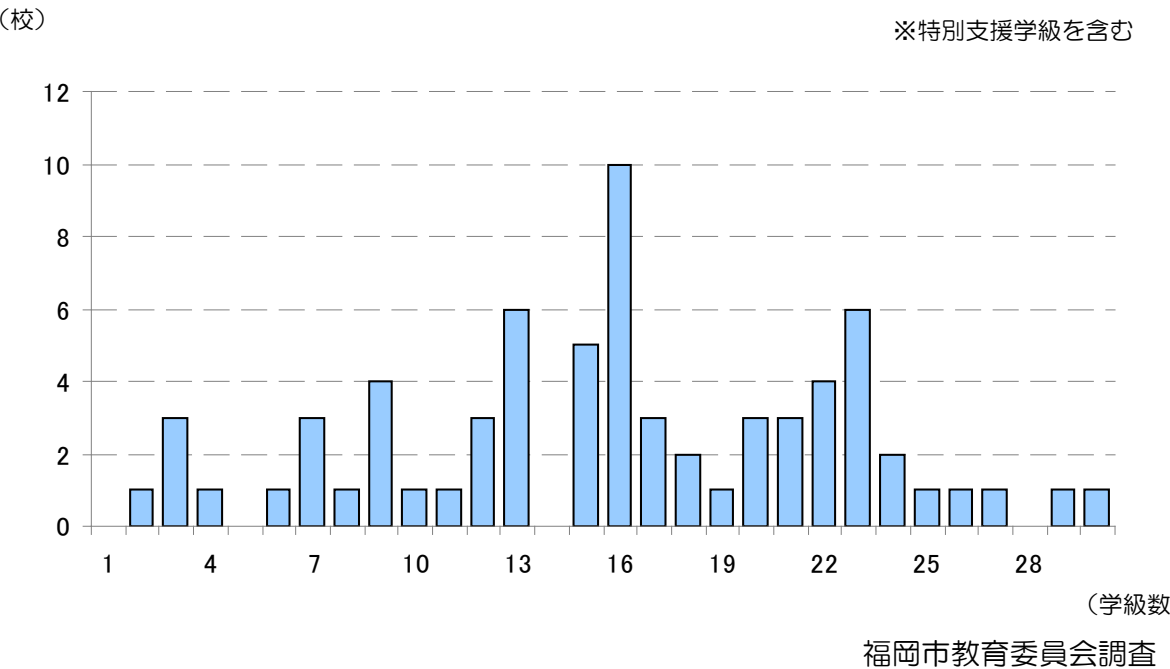
Ⅱ－２ 学校施設の状況

Ⅱ－２－１ 規模別学校数（24年度小学校） ※特別支援学校は除く



■ 小学校の学級規模は、13,19学級がもっとも多い。平均学級数は18.3クラス

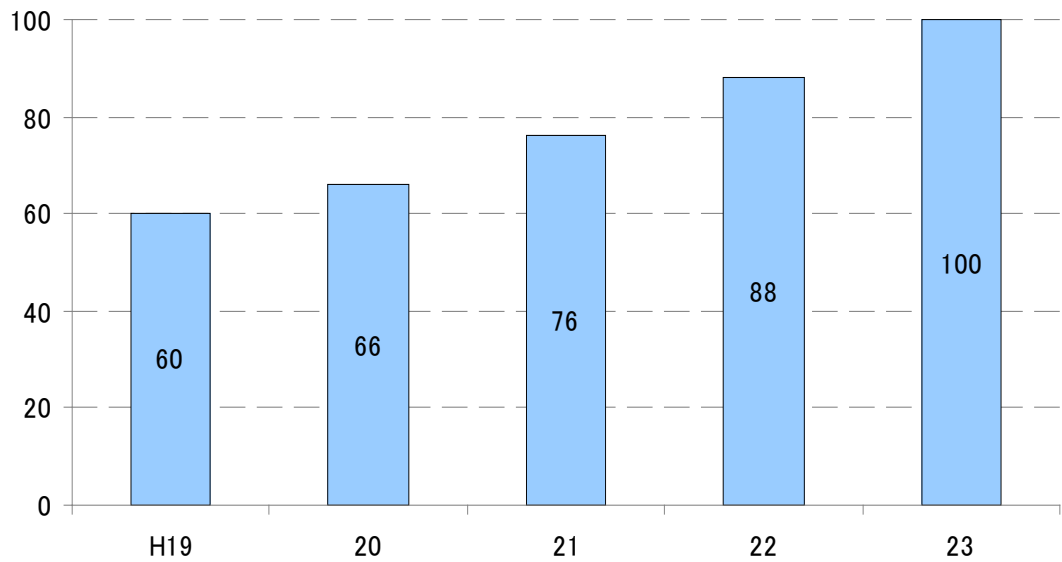
Ⅱ－２－２ 規模別学校数（24年度中学校） ※特別支援学校は除く



■ 中学校の学級規模は、16学級がもっとも多い。平均学級数は15.9クラス

Ⅱ－２－３ 学校施設の耐震化の状況

(耐震化率%)



福岡市教育委員会調査

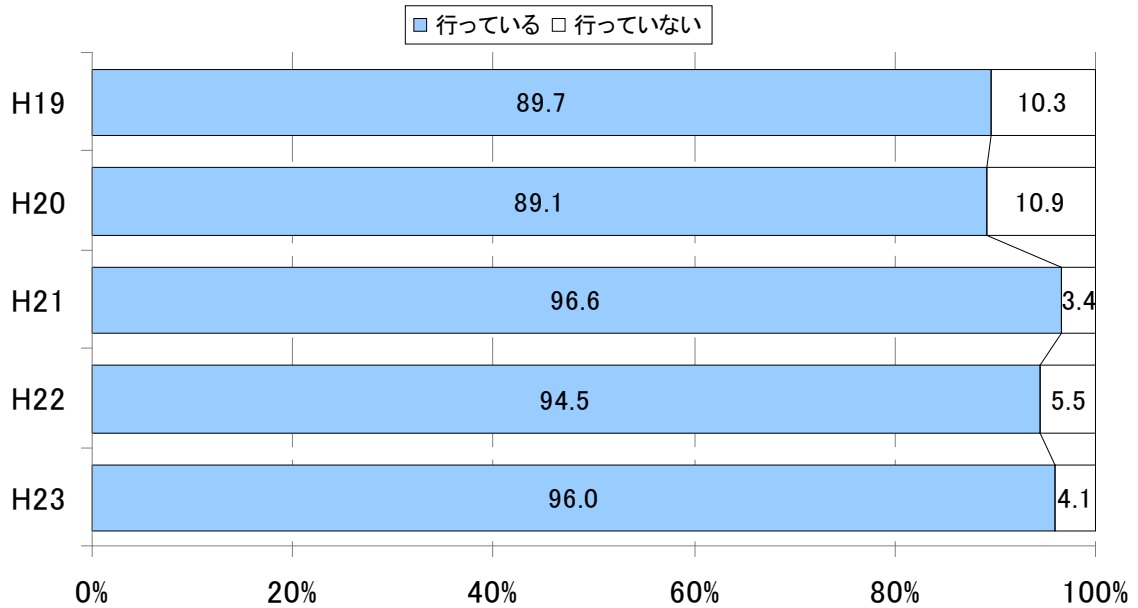
■学校施設の耐震化は、23年度で完了している。



Ⅱ－３ 特色ある教育

Ⅱ－３－１ 「朝読書」などの一斉読書の時間の設定（小学校）

「行っている」とは・・・不定期に行っている場合も含む

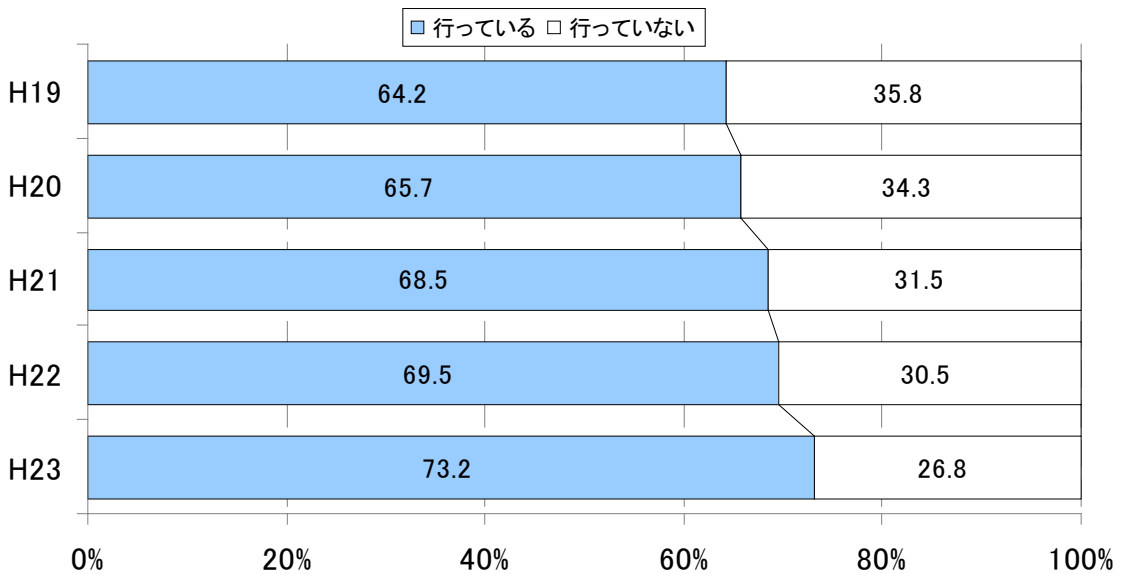


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■一斉読書の時間を設定している小学校の割合は、増加傾向にある。

Ⅱ－３－１ 「朝読書」などの一斉読書の時間の設定（中学校）

「行っている」とは・・・不定期に行っている場合も含む

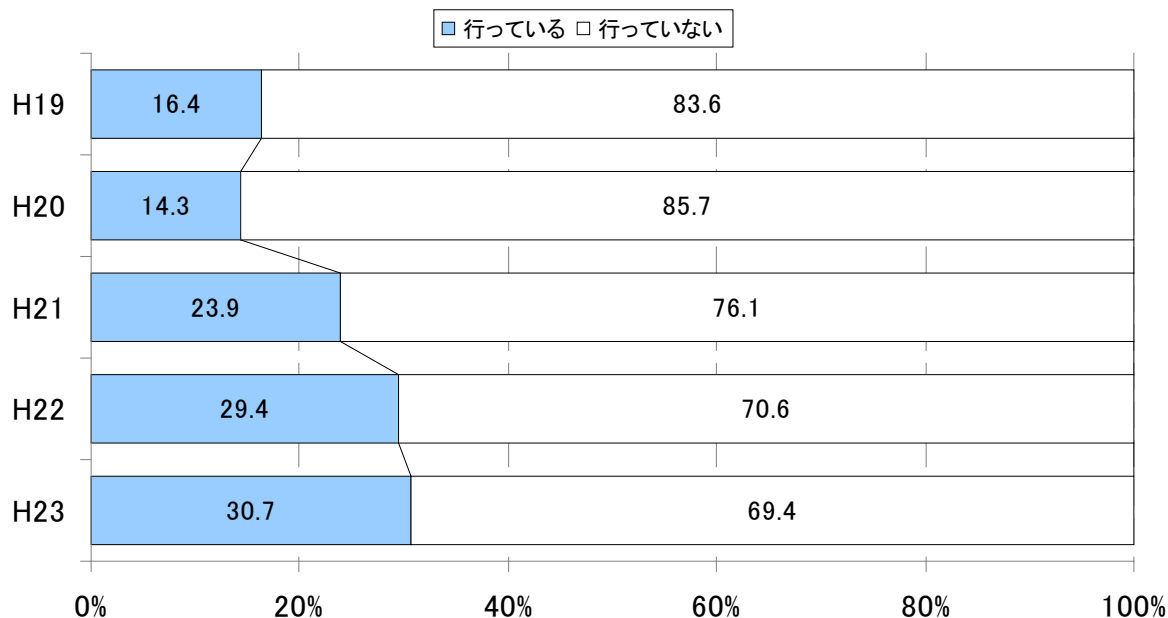


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■一斉読書の時間を設定している中学校の割合は、増加傾向にある。

Ⅱ－３－２ 放課後を利用した補足的な学習サポート（小学校）

「行っている」とは・・・年に数回程度の場合も含む

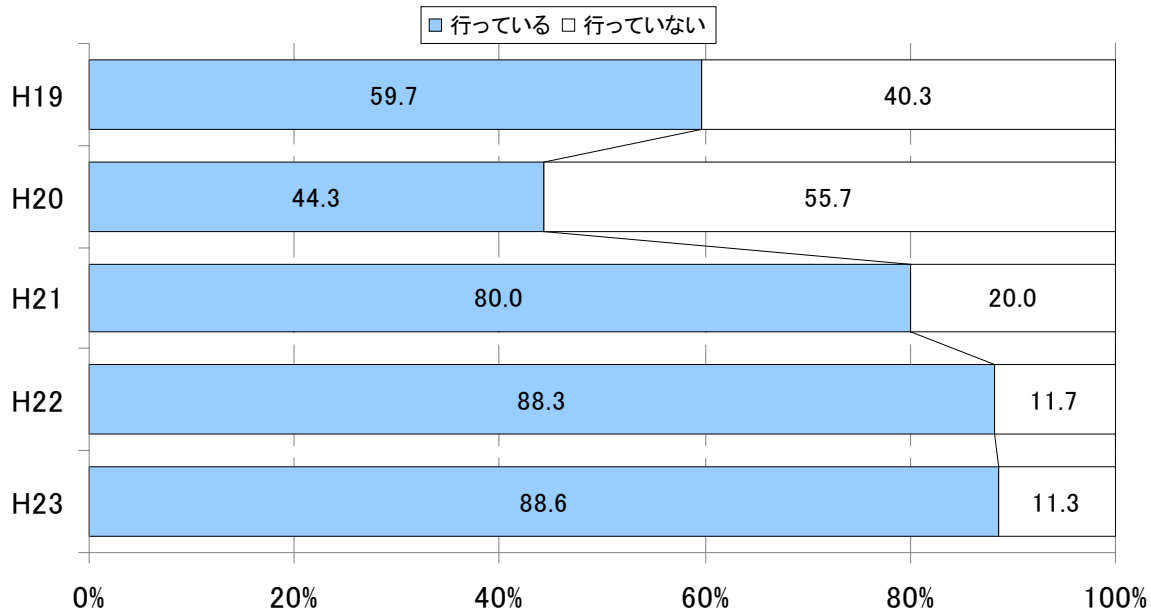


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■放課後を利用した補足的な学習サポートを行っている小学校の割合は、増加傾向にある。

Ⅱ－３－２ 放課後を利用した補足的な学習サポート（中学校）

「行っている」とは・・・年に数回程度の場合も含む

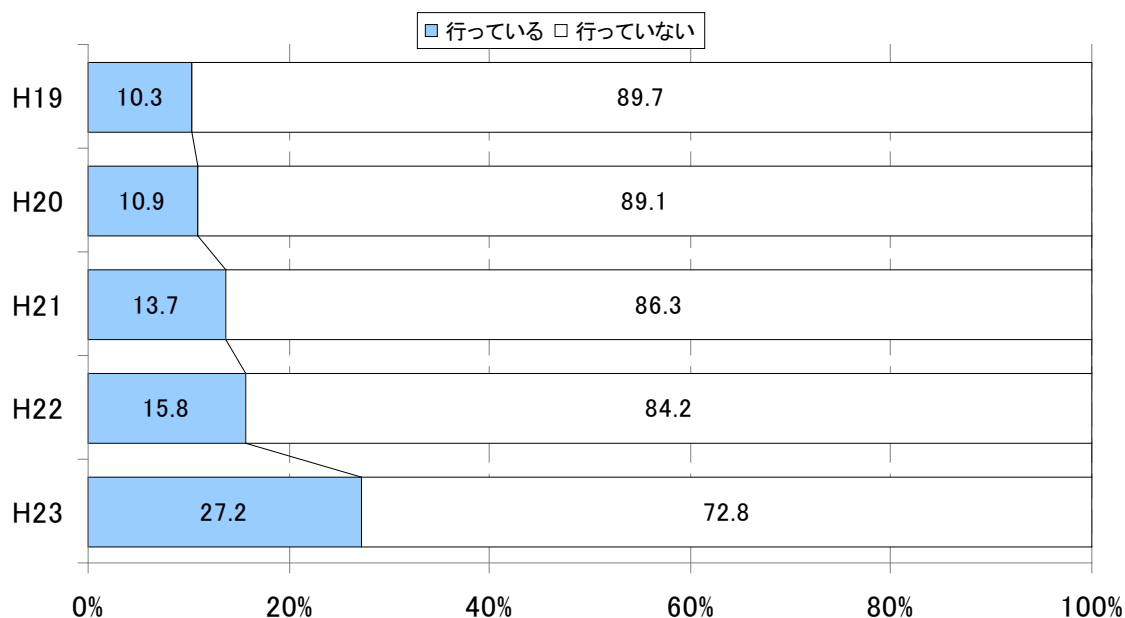


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■放課後を利用した補足的な学習サポートを行っている中学校の割合は、増加している。

Ⅱ－３－３ 長期休業日を利用した補足的な学習サポート（小学校）

「行っている」とは・・・１日以上行っている場合を指す

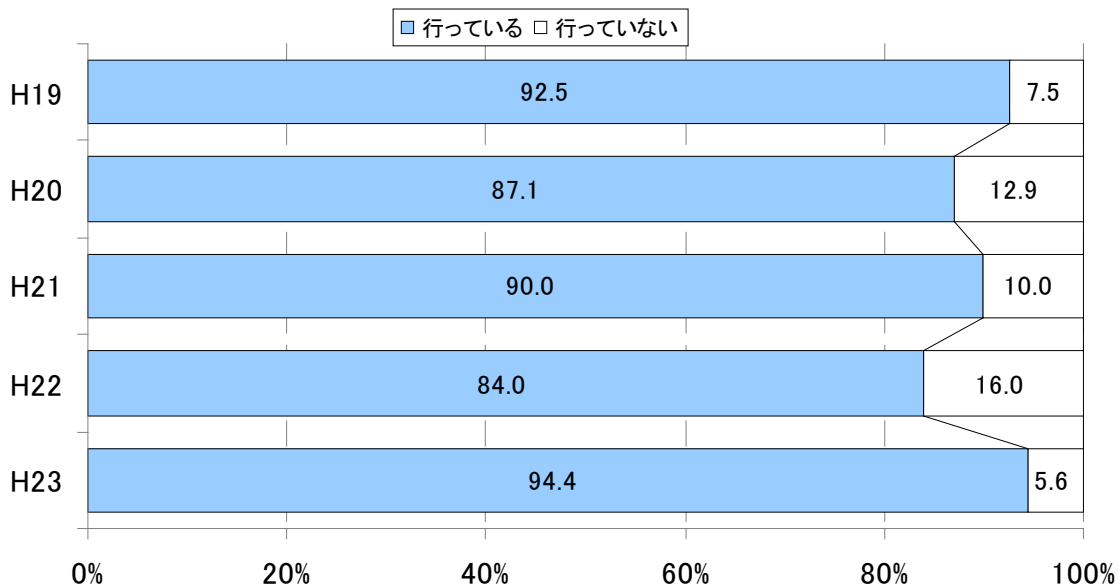


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■長期休業日を利用した補足的な学習サポートを行っている小学校の割合は、増加している傾向にある。

Ⅱ－３－３ 長期休業日を利用した補足的な学習サポート（中学校３年）

「行っている」とは・・・１日以上行っている場合を指す

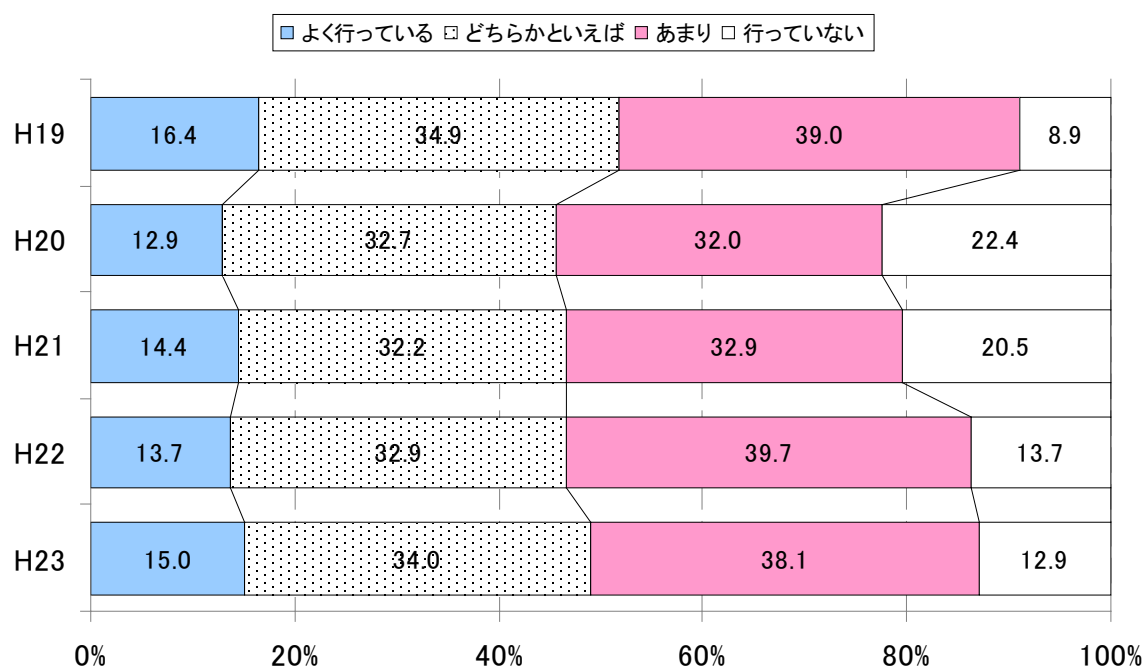


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■長期休業日を利用した補足的な学習サポートを行っている中学校の割合は、90%前後で推移している。

Ⅱ－４ 地域の人材活用状況

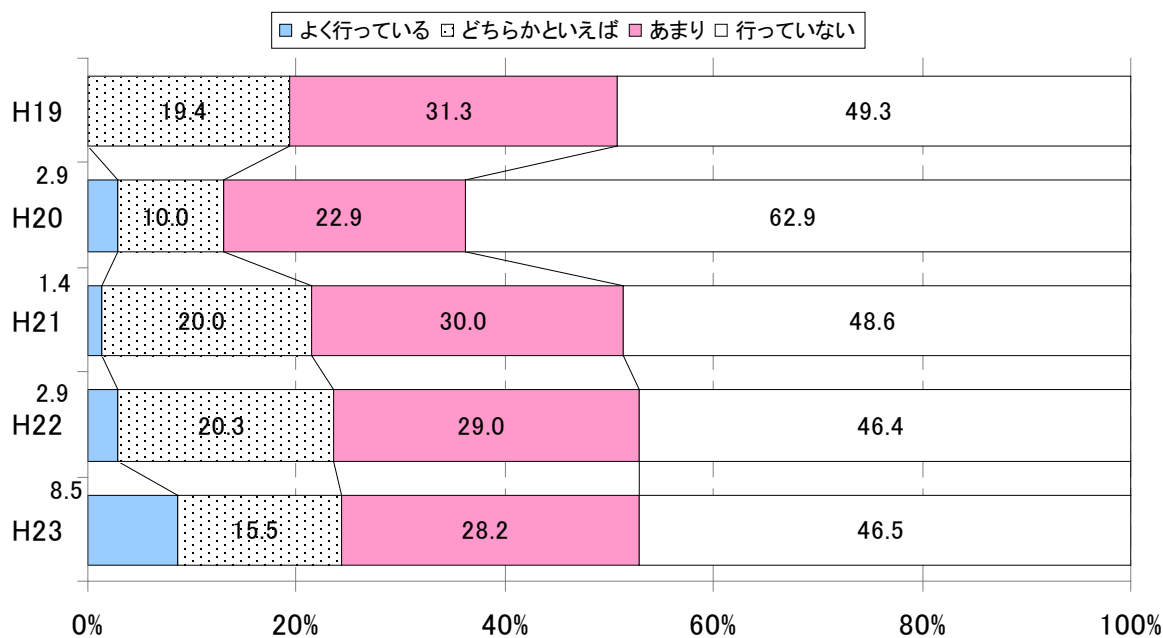
Ⅱ－４－１ ボランティア等による授業サポート補助（小学校）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■ ボランティア等による授業サポート補助を「よく行っている」「どちらかといえば」と回答している割合は、増加傾向にある。

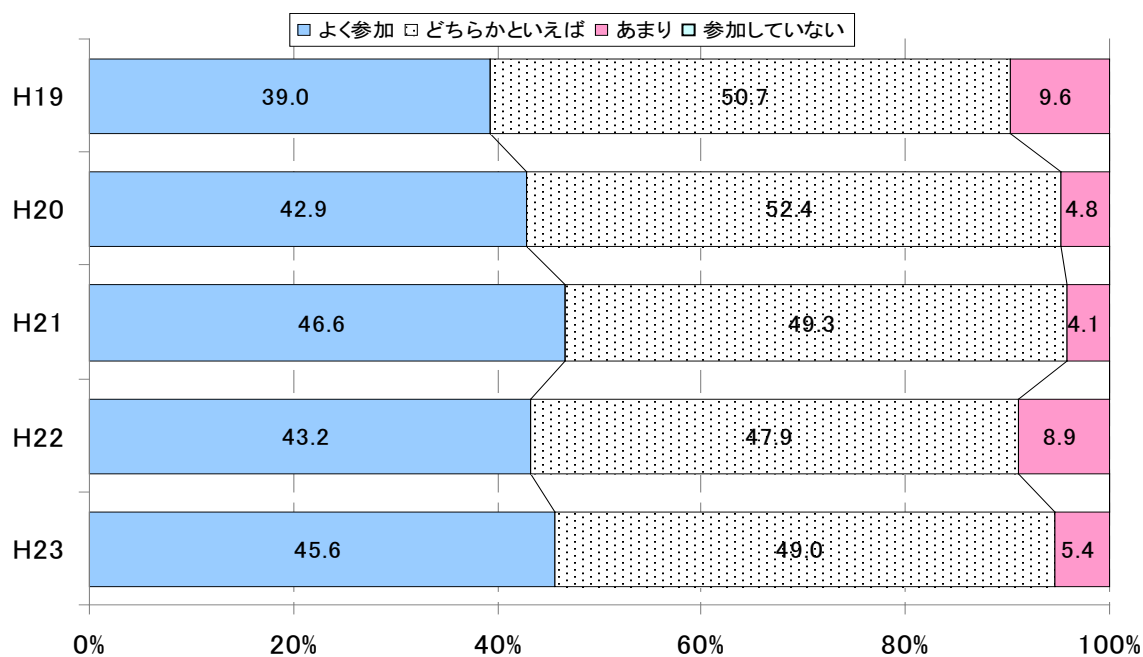
Ⅱ－４－１ ボランティア等による授業サポート補助（中学校）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■ ボランティア等による授業サポート補助を「よく行っている」割合は、増加傾向にある。

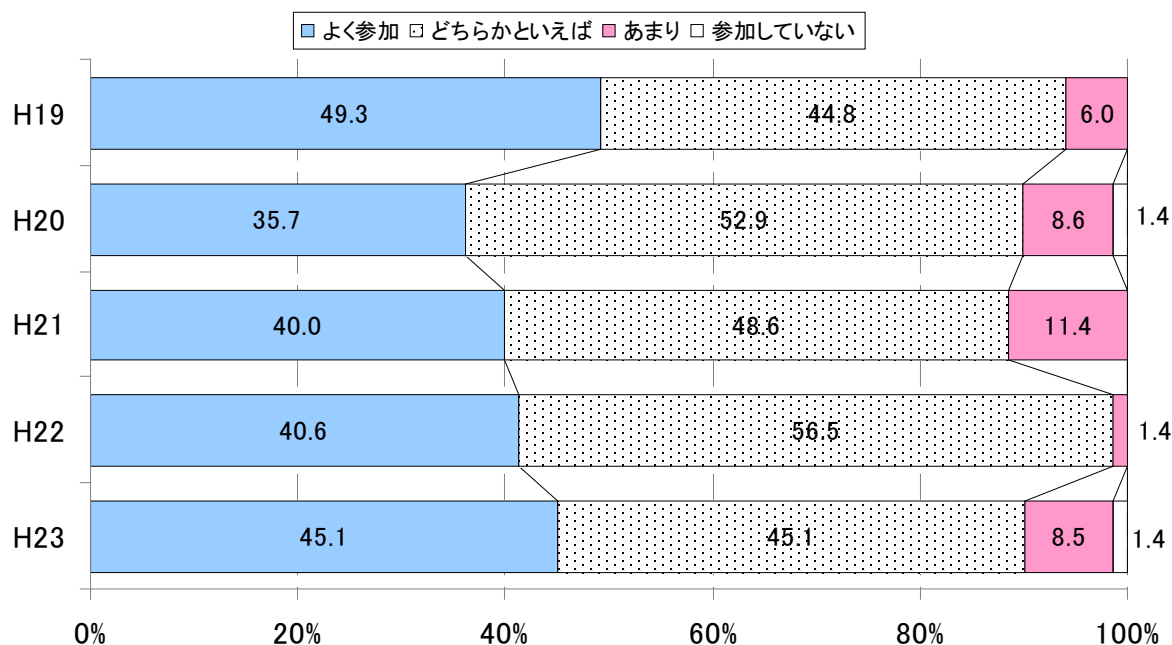
Ⅱ－４－２ ＰＴＡや地域の人ボランティア参加状況（小学校）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■ ＰＴＡや地域の人ボランティア参加の割合は、わずかに増加傾向にある。

Ⅱ－４－２ ＰＴＡや地域の人ボランティア参加状況（中学校）

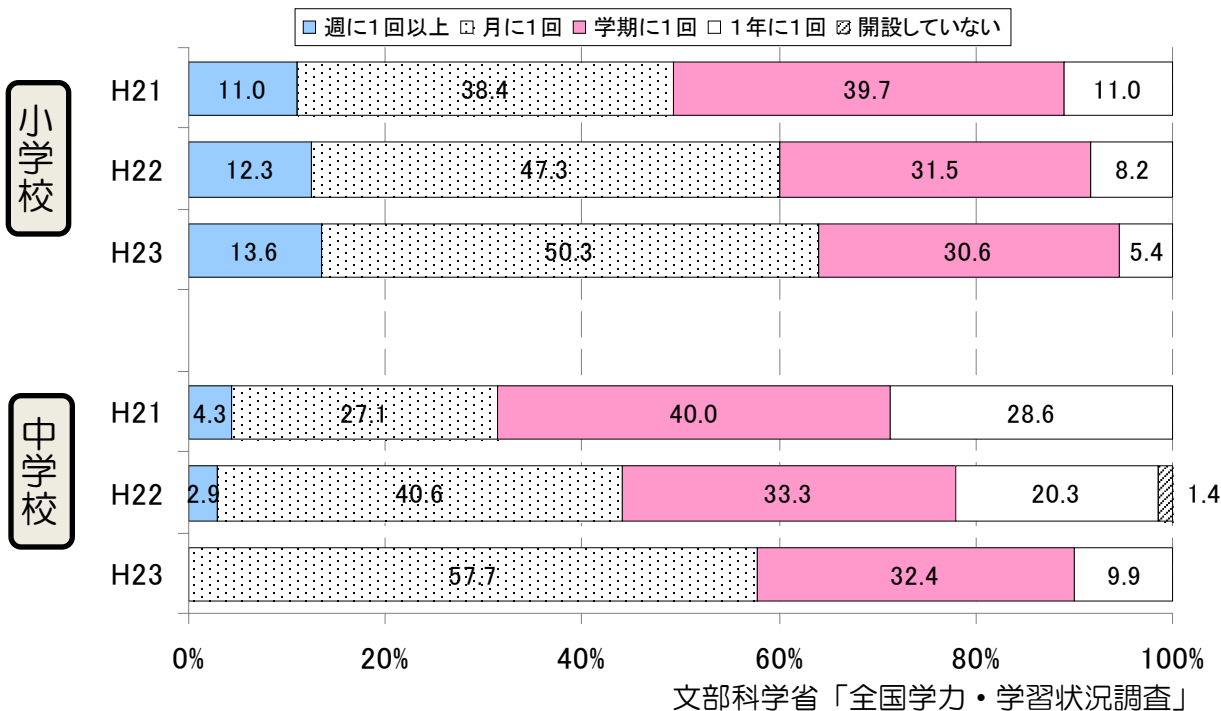


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■ ＰＴＡや地域の人ボランティア参加の割合は、年度によって大きく変化しているが、20年度と比較すると「よく参加している」割合が増加傾向にある。

Ⅱ－５ 学校情報の提供

Ⅱ－５－１ ホームページの更新状況



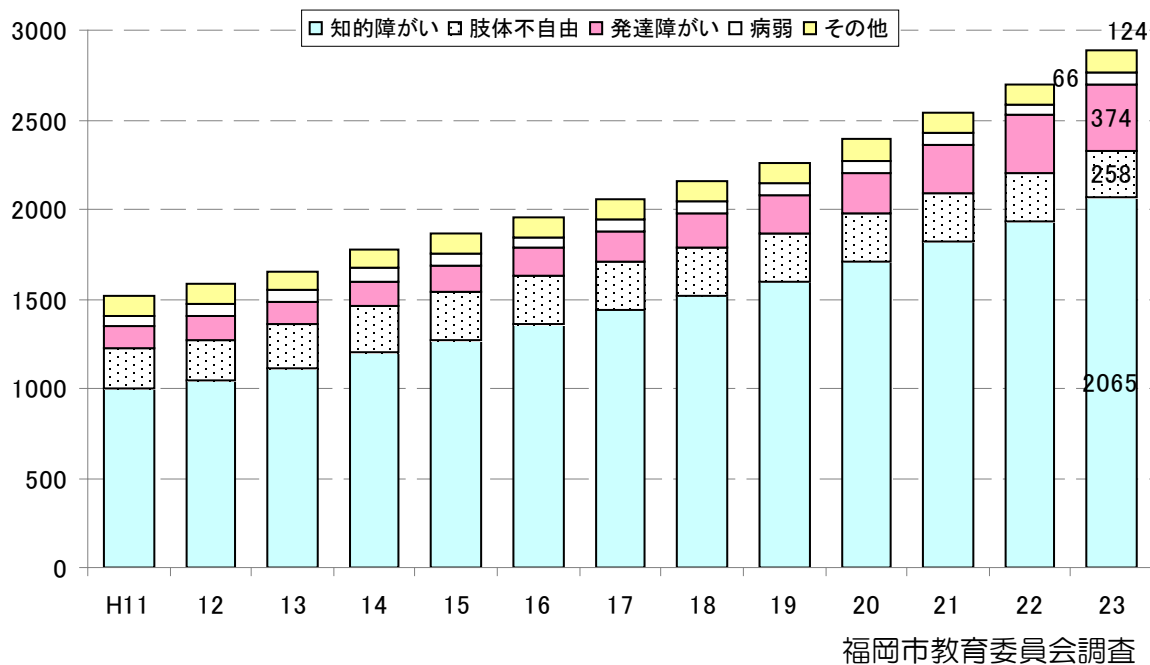
■小中学校で「月に1回」と回答している割合は、年々増加傾向にある。



Ⅱ－６ 特別支援教育

Ⅱ－６－１ 障がいのある児童生徒数

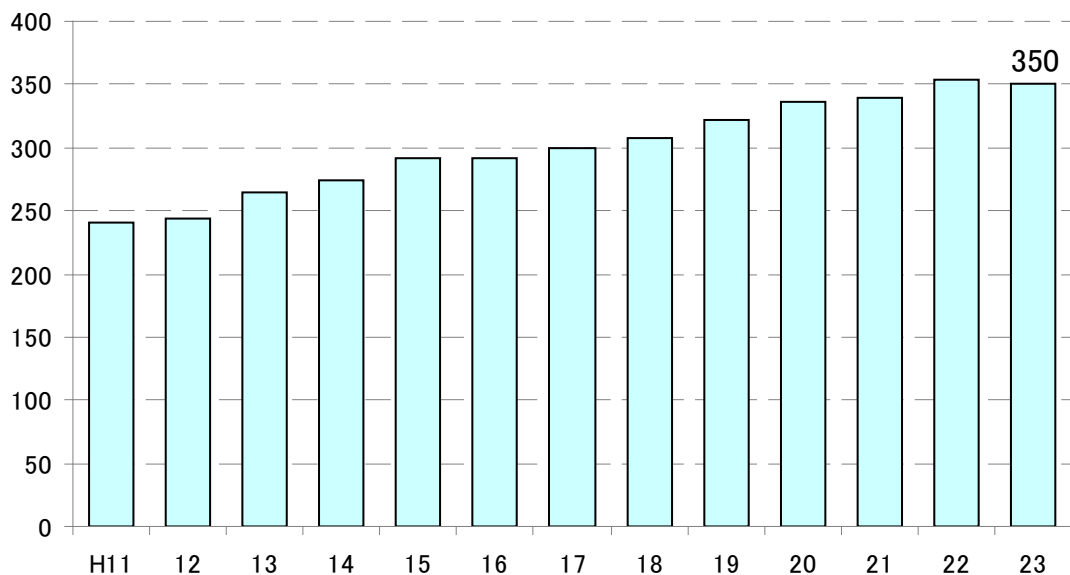
(人) ※その他・・・情緒障がい、LD/ADHD、言語障がい、難聴



■知的障がいのある児童生徒数が、年々増加している。

Ⅱ－６－２ 特別支援学校の学級数（小・中・高等部）

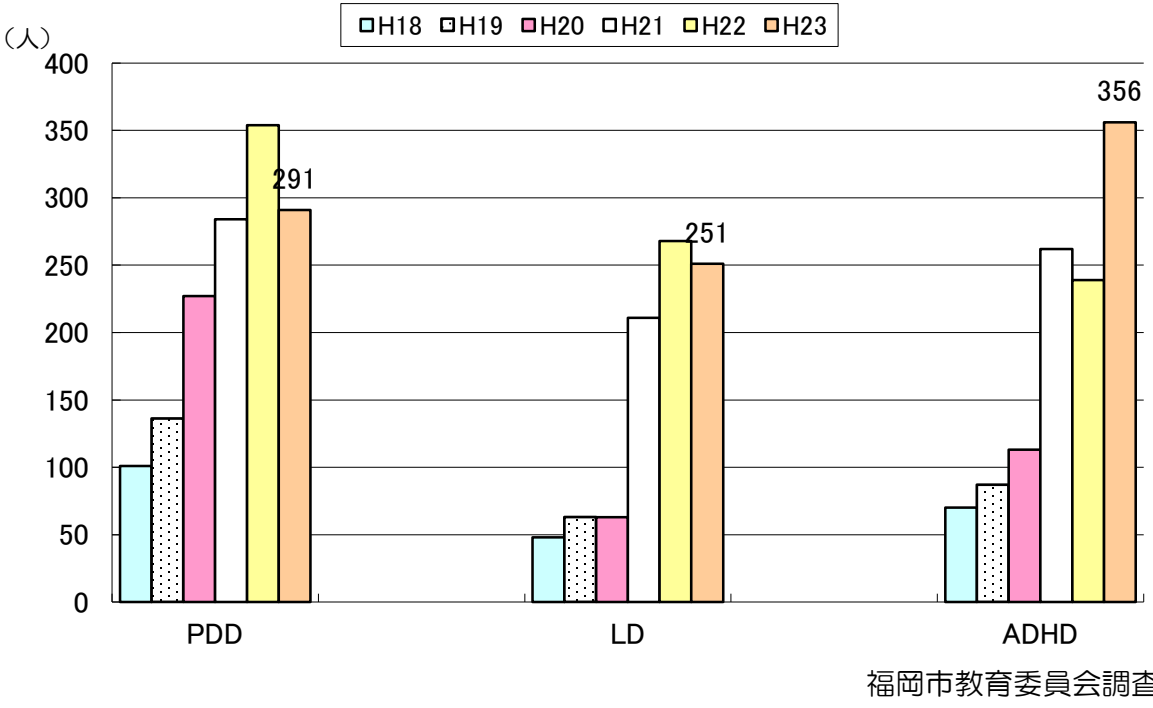
(学級数)



■特別支援学校の学級数は、増加傾向にある。

Ⅱ－６－３ 通常学級における発達障がいのある児童数（小学校）

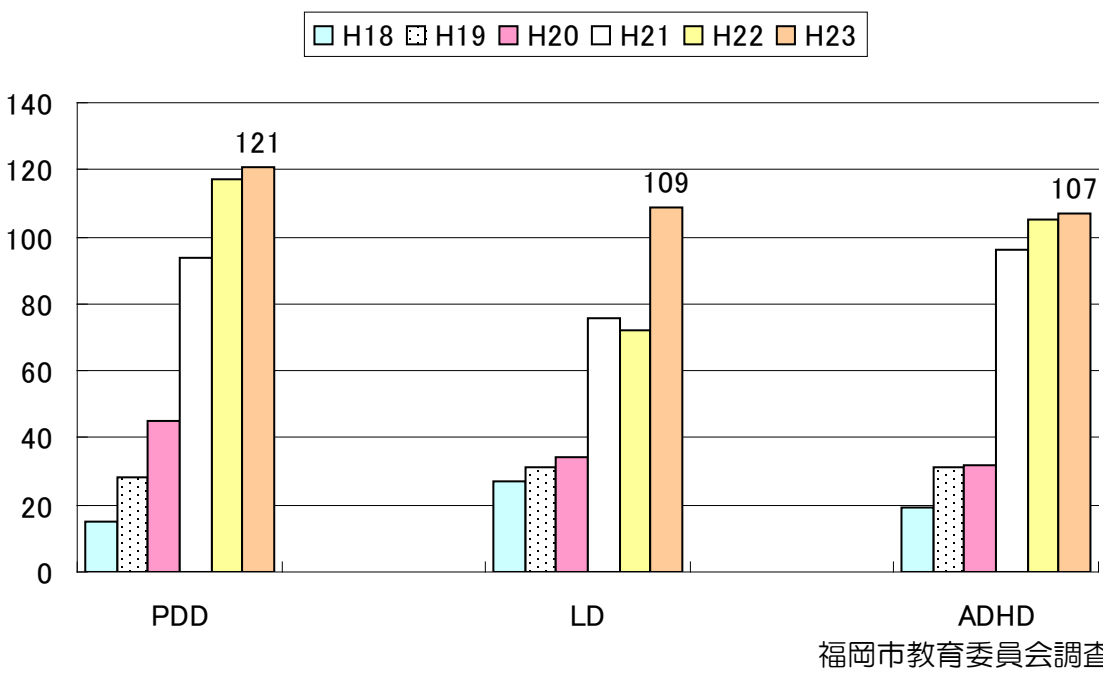
※PDD・・・広汎性発達障がい，LD・・・学習障がい，ADHD・・・注意欠陥多動性障がい



■23年度の通常学級における発達障がいのある児童（ADHD）の伸びが大きい。

Ⅱ－６－３ 通常学級における発達障がいのある生徒数（中学校）

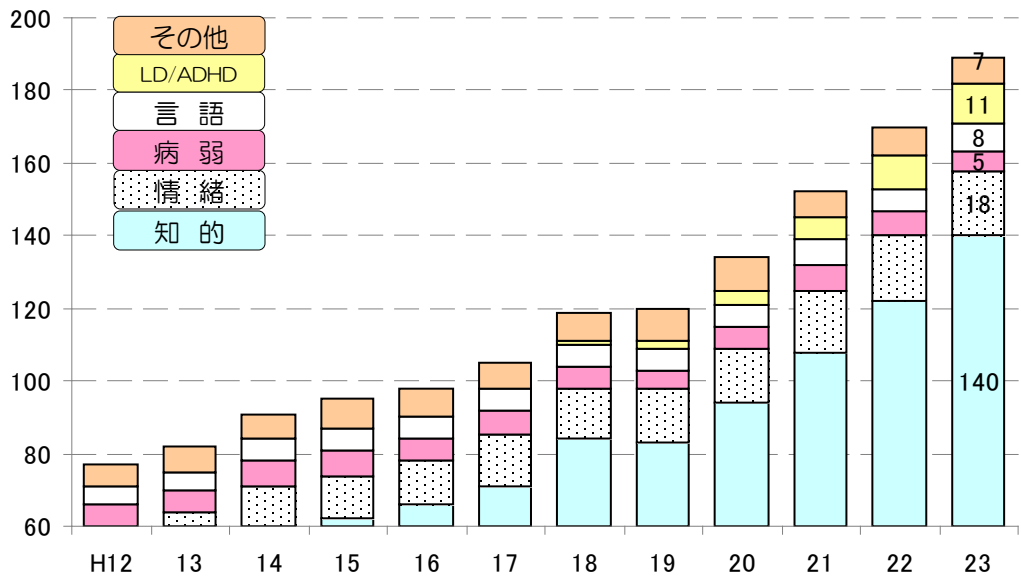
（人） ※PDD・・・広汎性発達障がい，LD・・・学習障がい，ADHD・・・注意欠陥多動性障がい



■通常学級における発達障がいのある生徒数は，PDD・LD・ADHDともに増加している。特に，23年度のLDの伸びは大きい。

Ⅱ－６－４ 特別支援学級の設置状況（小学校）

（学級数） ※学級数には、通級指導教室を含みます。
※その他・・・肢体不自由、弱視、難聴

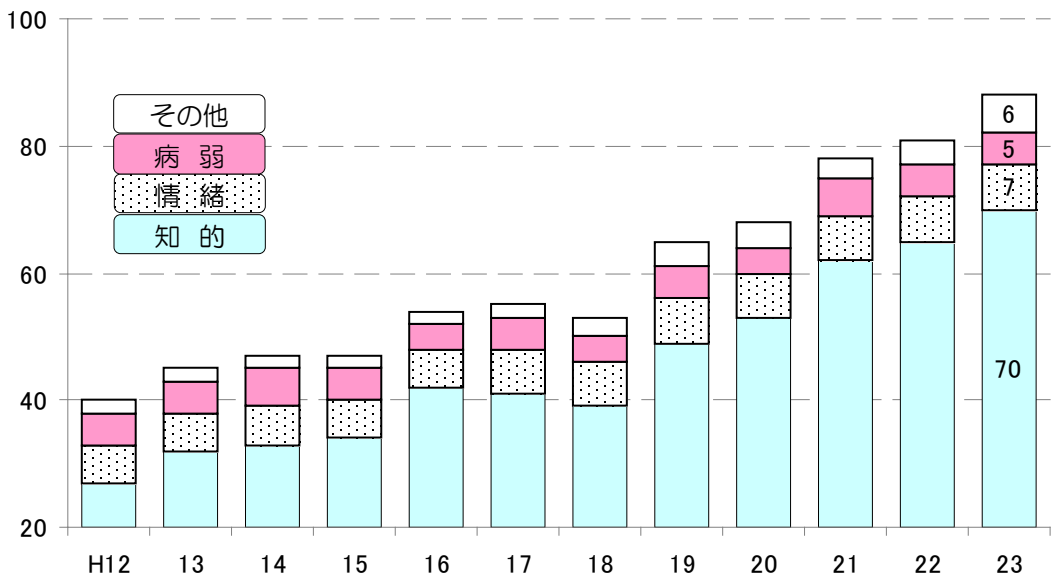


福岡市教育委員会調査

■通常の小学校における特別支援学級の設置は、年々増加している。なかでも、知的障がい学級が大きく増加している。

Ⅱ－６－４ 特別支援学級の設置状況（中学校）

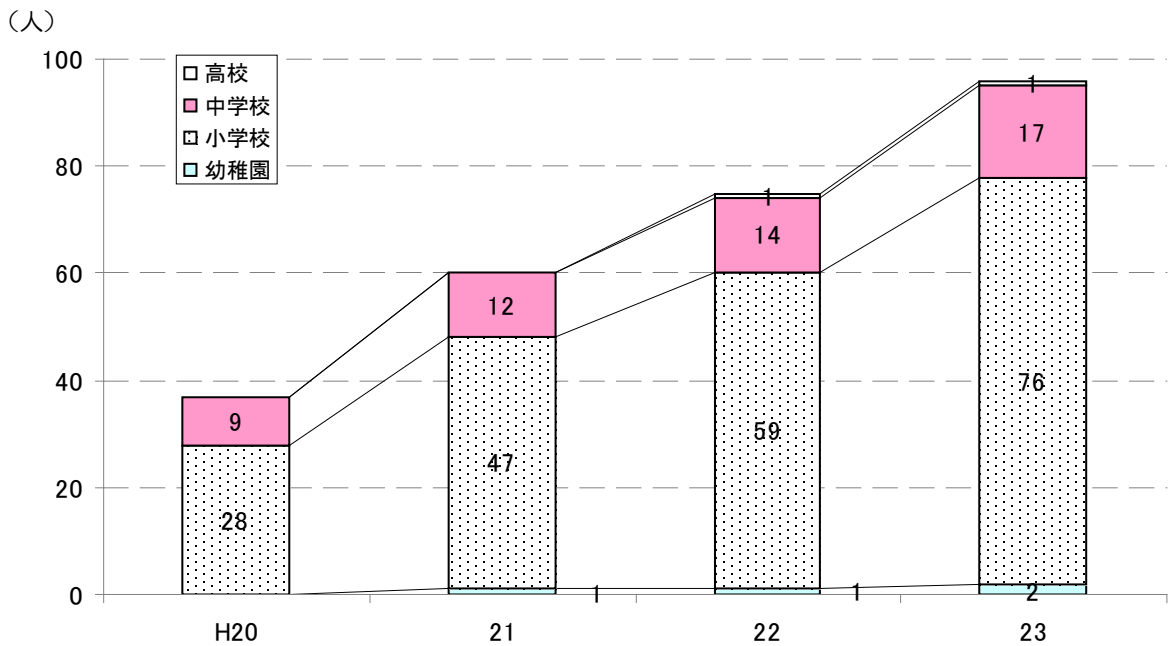
（学級数） ※学級数には、通級指導教室を含みます。
※その他・・・肢体不自由、LD/ADHD



福岡市教育委員会調査

■通常の中学校における特別支援学級の設置は、年々増加している。小学校同様、知的障がい学級が大きく増加している。

Ⅱ－６－５ 特別支援教育支援員の配置状況

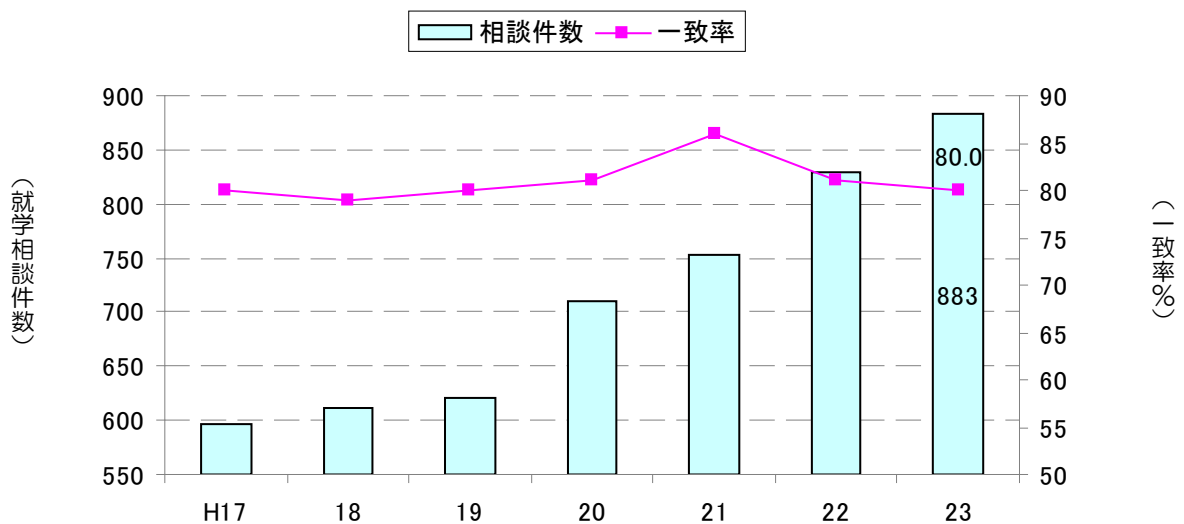


福岡市教育委員会調査

■特別支援教育支援員の配置数は、年々増加している。特に小学校で増加傾向にある。

Ⅱ－６－６ 就学相談数と一致率

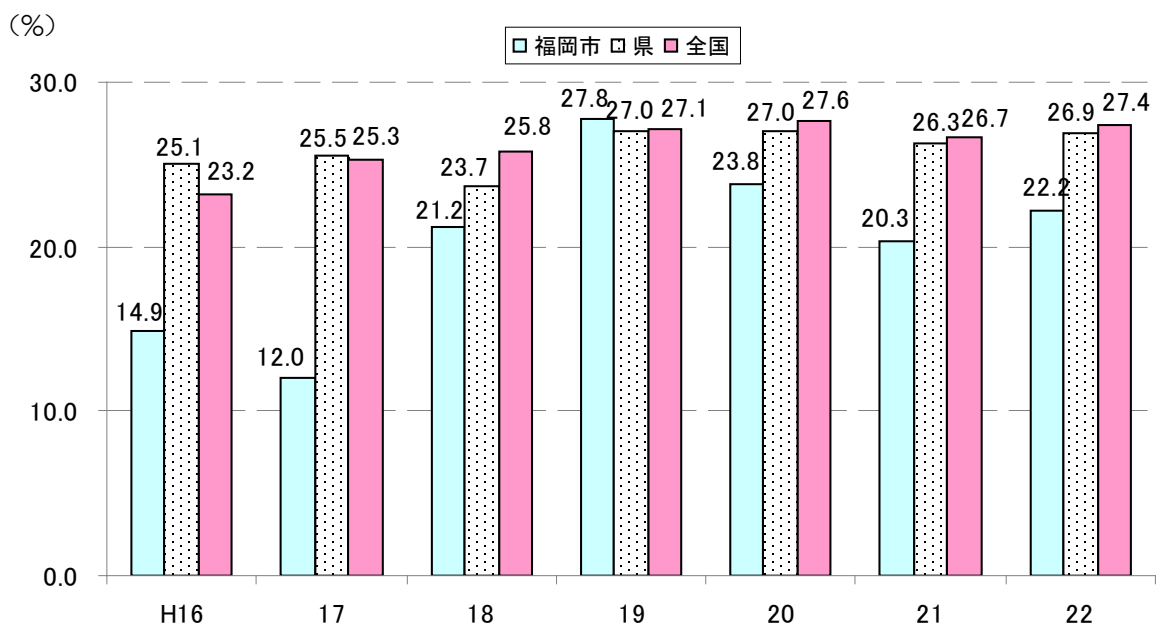
※一致率・・・就学指導委員会の判断通りに児童生徒の就学先が決定した割合



福岡市教育委員会調査

■就学相談数は、増加傾向となっている。23年度においては、就学相談の結果、就学指導委員会の判断通りに就学先が決定した割合は、わずかに減少傾向となっている。

Ⅱ－６－７ 特別支援学校高等部就職率



福岡市教育委員会調査

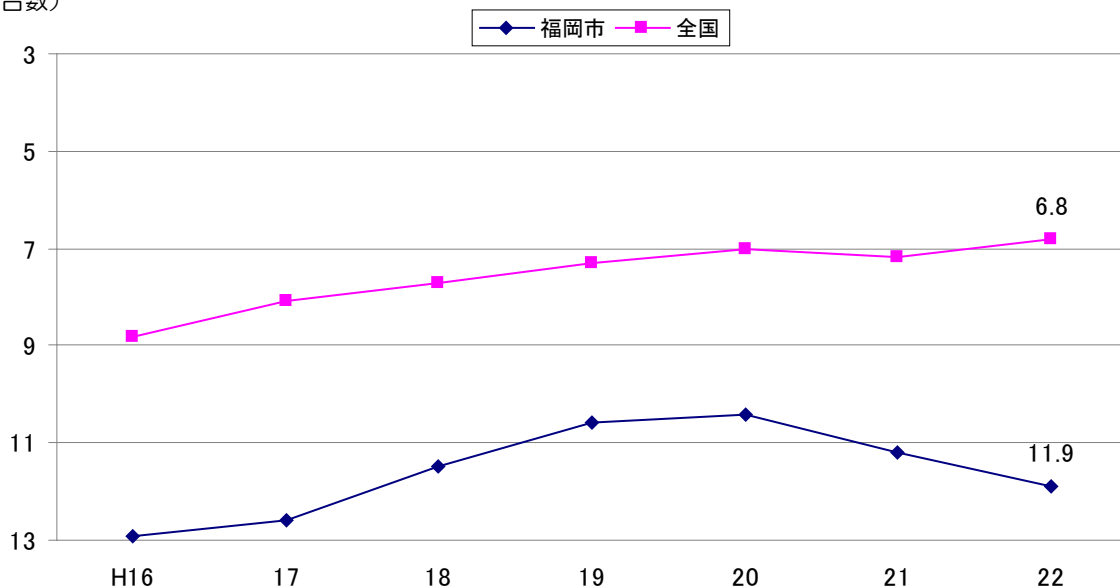
■昨年度に比べ、特別支援学校高等部の就職率は、増加傾向にある。



Ⅱ－７ ICT環境

Ⅱ－７－１ コンピュータ１台あたりの児童生徒数

(人/台数)

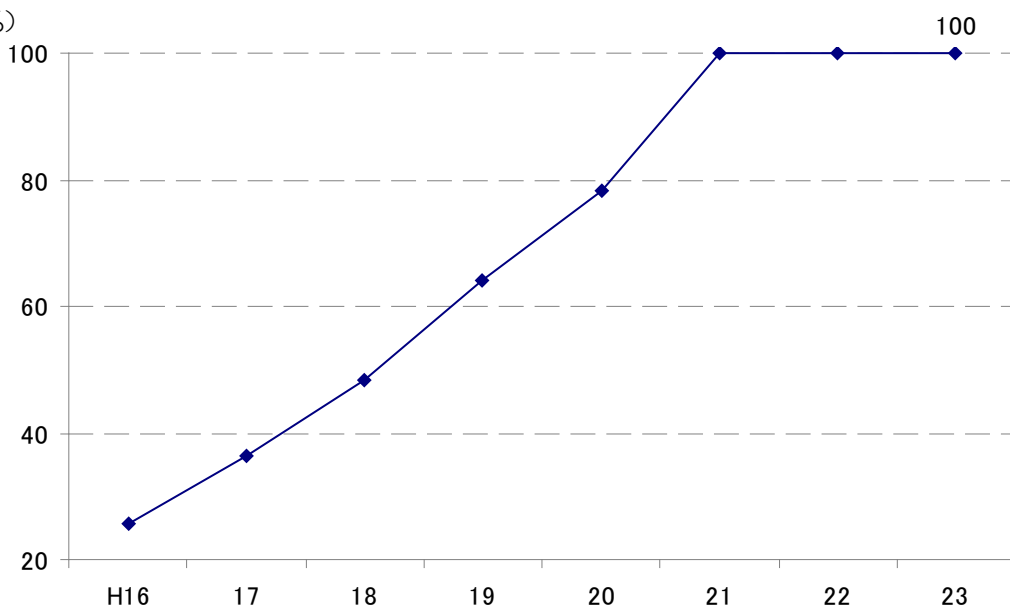


福岡市教育委員会調査

■ コンピュータ１台あたりの児童生徒数は、全国平均に比べてかなり多い。

Ⅱ－７－２ 普通教室における校内LAN整備率

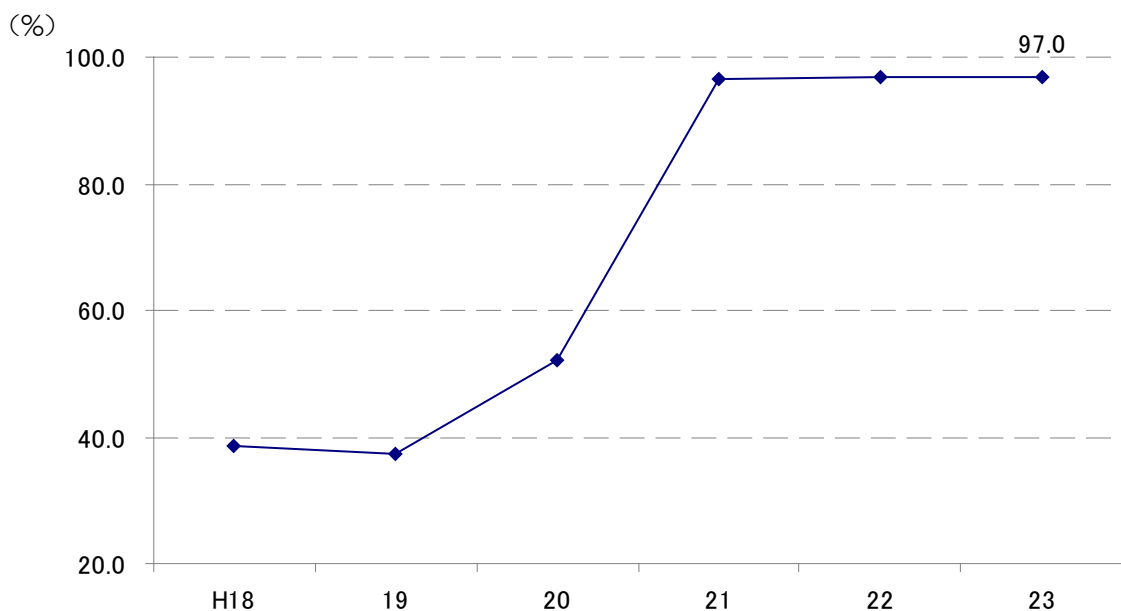
(%)



福岡市教育委員会調査

■ 普通教室における校内LAN整備率は、100%であるが、一部未整備の教室がある。

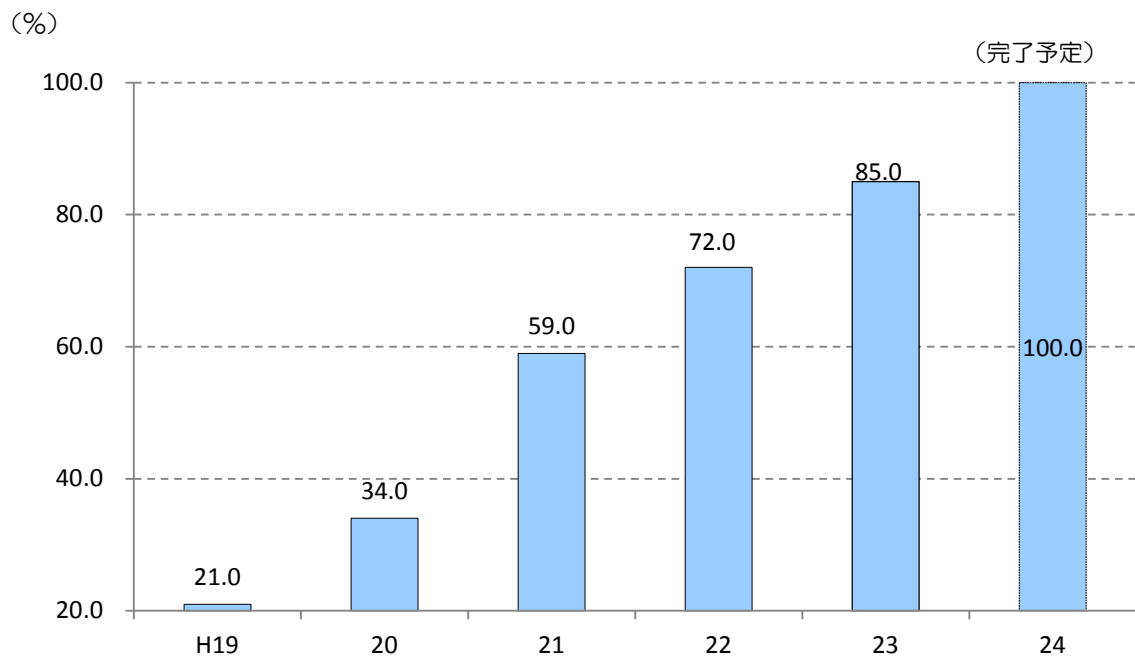
Ⅱ－７－３ 超高速インターネット接続率



福岡市教育委員会調査

■超高速インターネット接続率(30Mbps以上)は、通信速度の速い光ファイバ回線への移行している。

Ⅱ－７－４ 校務用コンピュータ整備率（24年度整備完了予定）

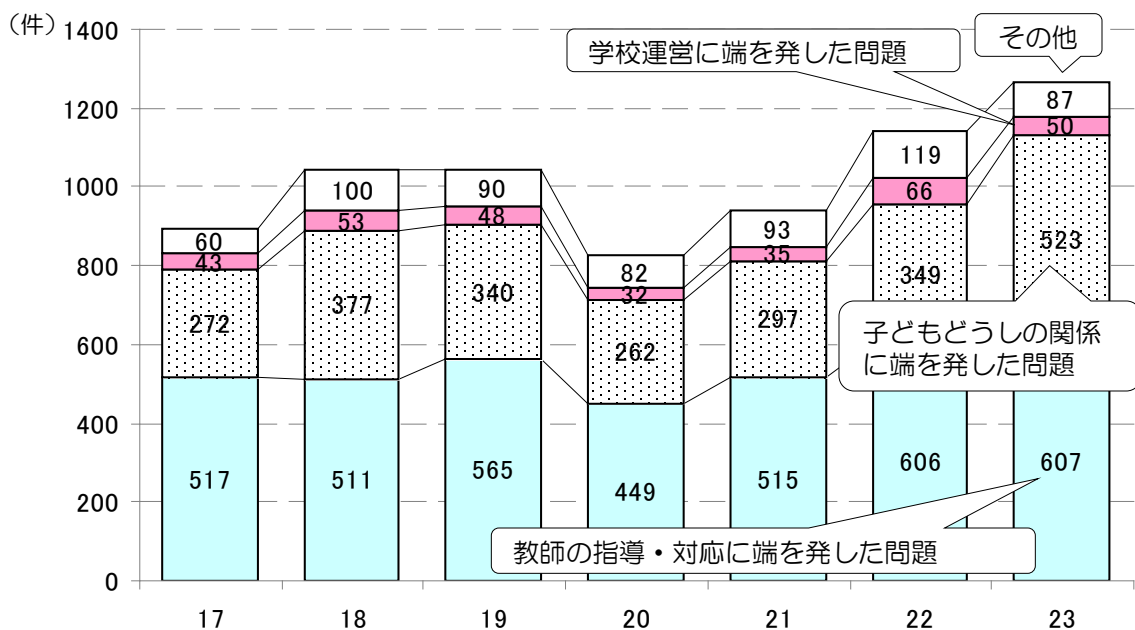


福岡市教育委員会調査

■校務用コンピュータの整備率は、24年度100%の整備完了を目標に整備が進んでいる。

Ⅱ－８ その他の状況

Ⅱ－８－１ 学校に寄せられる相談等の状況

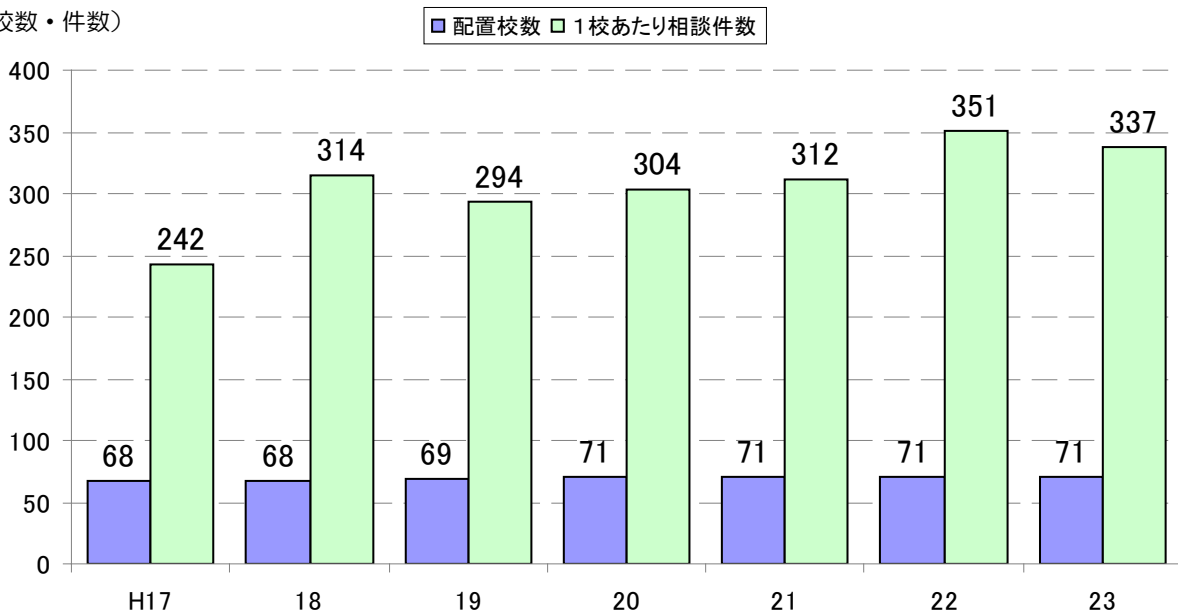


福岡市教育委員会調査

■学校に寄せられる相談等の状況は、21年度から増加に転じている。

Ⅱ－８－２ スクールカウンセラーへの相談等の状況

(校数・件数)



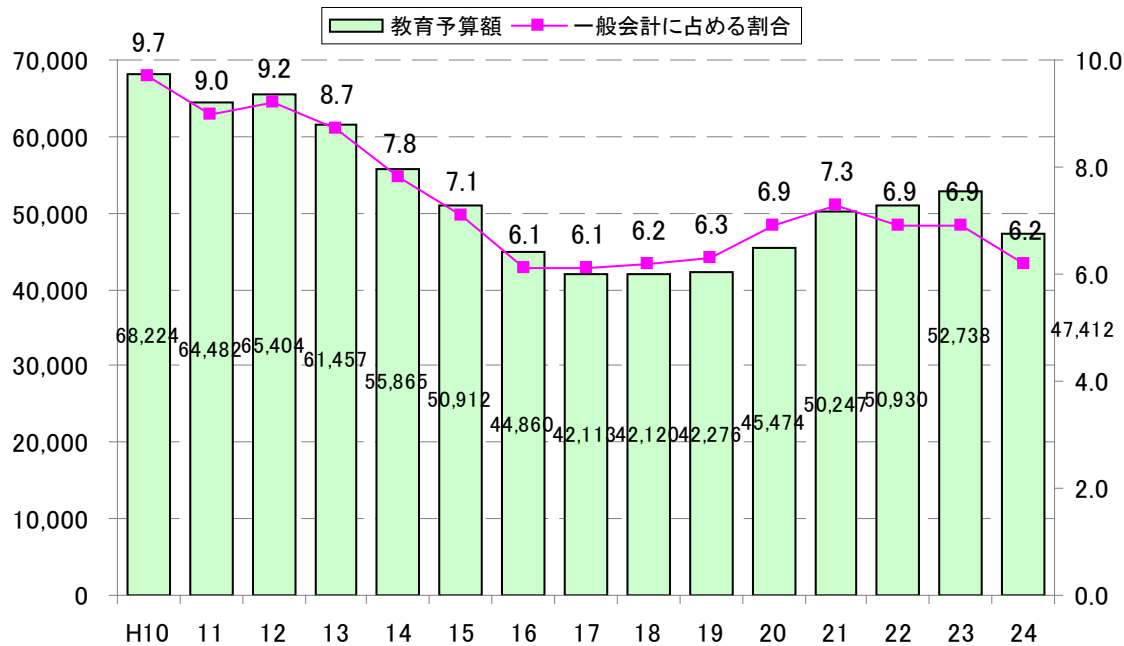
福岡市教育委員会調査

■スクールカウンセラーの配置校数は変化がない。スクールカウンセラーへの相談件数は、23年度では、1校あたり337件となっている。

Ⅱ－８－３ 福岡市の教育予算の推移

(予算額：百万円)

(%)



福岡市教育委員会調査

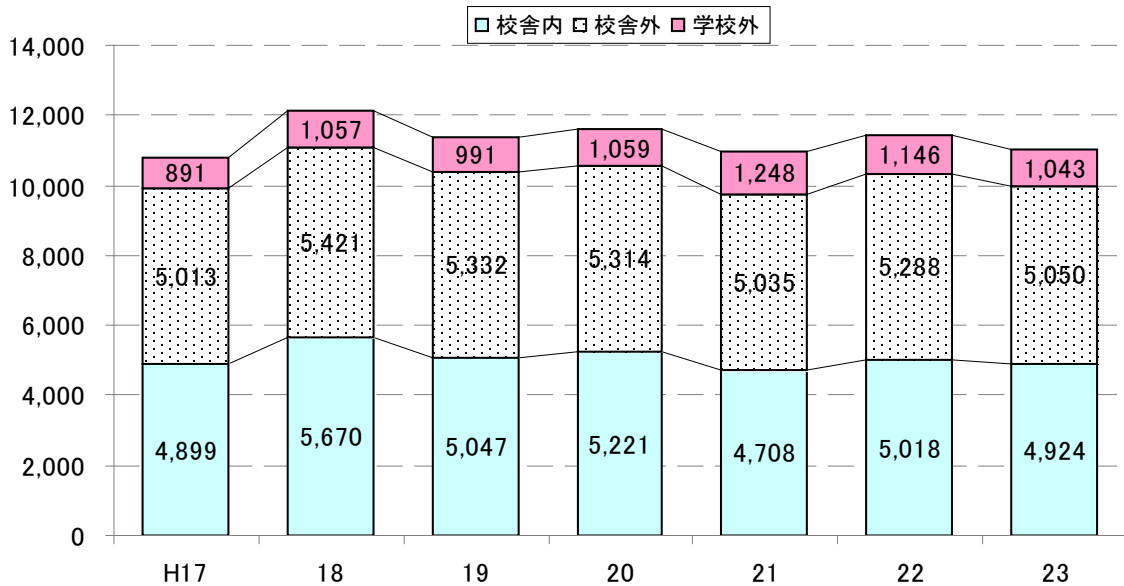
※平成24年度から美術館、博物館、アジア美術館、文化財部は、経済観光文化局へ移管

■教育予算は、18年度から増加傾向となっていたが、24年度は、美術館、博物館、アジア美術館、文化財部が経済観光文化局へ移管したこともあり、減少している。

Ⅱ－８－４ 学校災害の状況（市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校）

(件)

※学校災害・・・学校の管理下の事由による負傷、疾病等



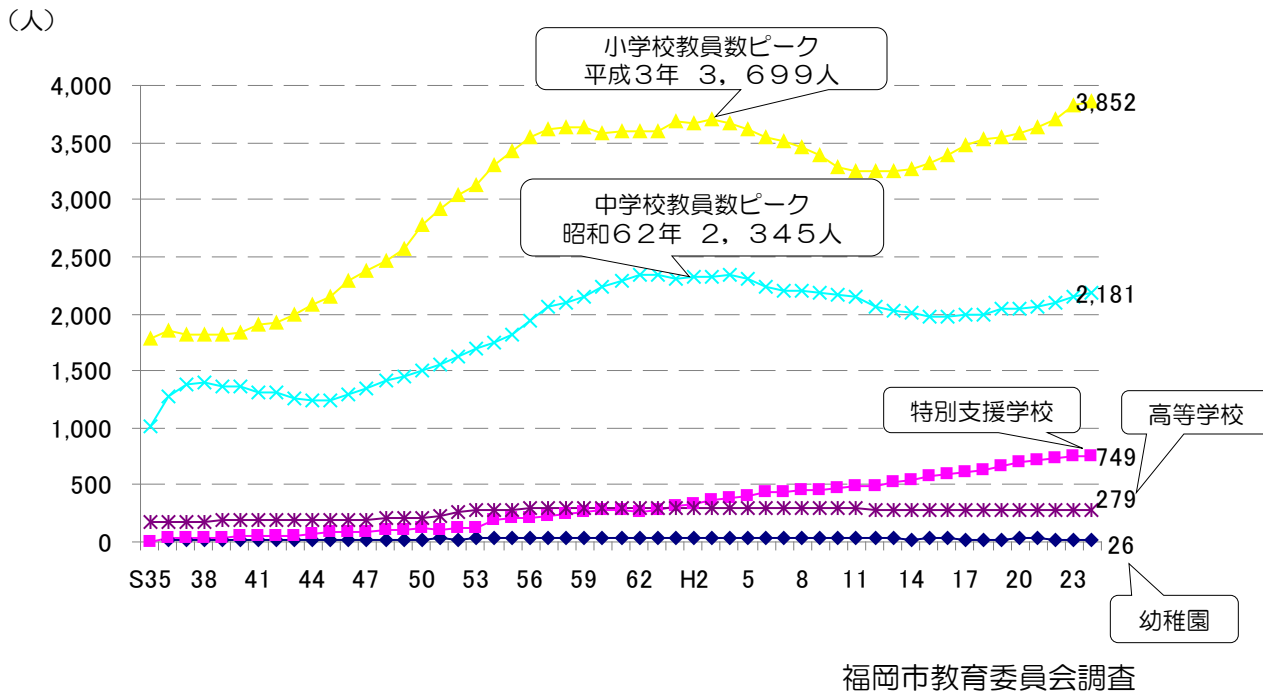
福岡市教育委員会調査

■学校災害は年間1万件ほどで推移しており、23年度は、前年度よりわずかに減少している。

Ⅲ 教職員

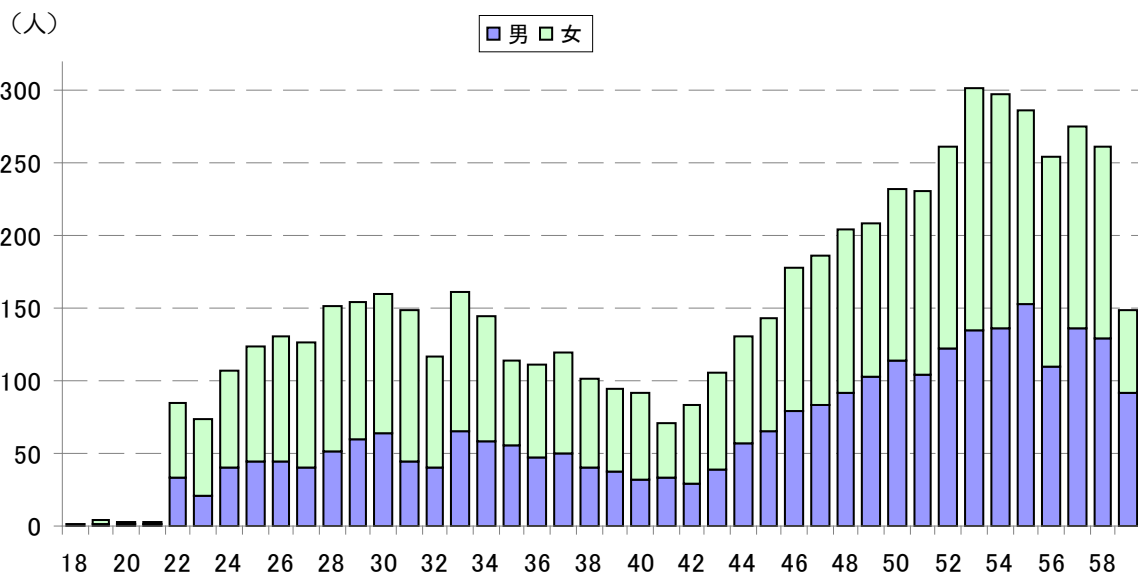
Ⅲ－１ 教職員

Ⅲ－１－１ 福岡市立学校教員数の推移



■福岡市立学校教員数は、24年度で幼稚園26名、高等学校279名、特別支援学校749名、中学校2,181名、小学校3,852名となっている。

Ⅲ－１－２ 教職員の年齢構成（平成24年7月現在）

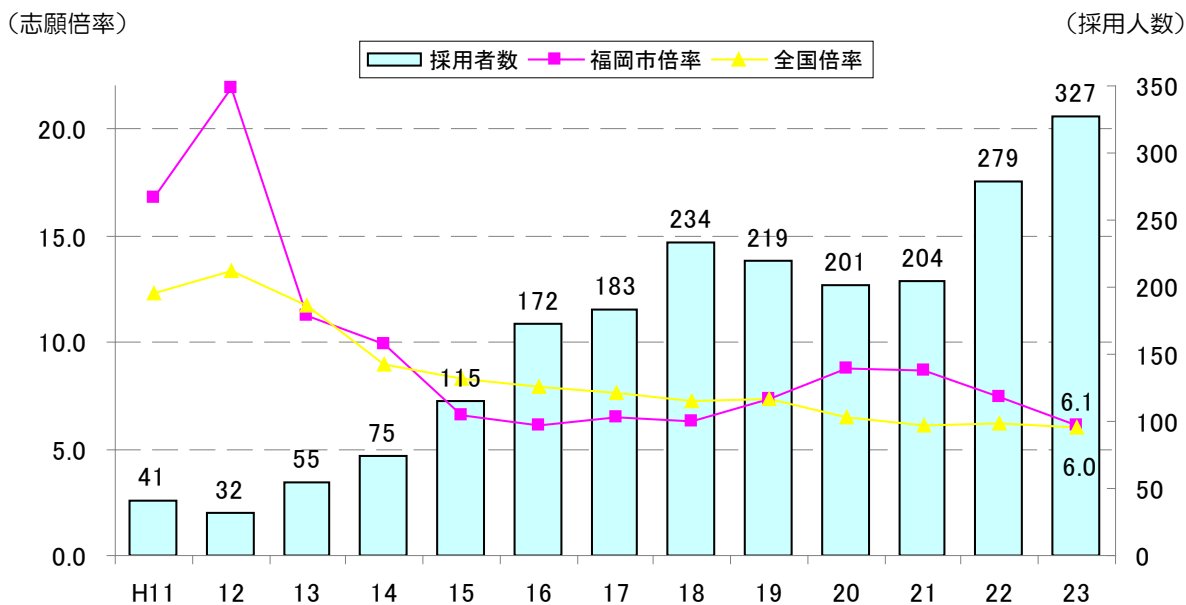


※対象者：小・中・特別支援学校における校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、期限を附さない常勤講師、養護教諭、栄養教諭、事務職員、学校栄養職員

福岡市教育委員会調査

■教職員の年齢構成は、50代が最も多く40前後が最も少ない構成となっている。既に大量退職期を迎え、10年以上続く。

Ⅲ－１－３ 教員採用者数と志願倍率

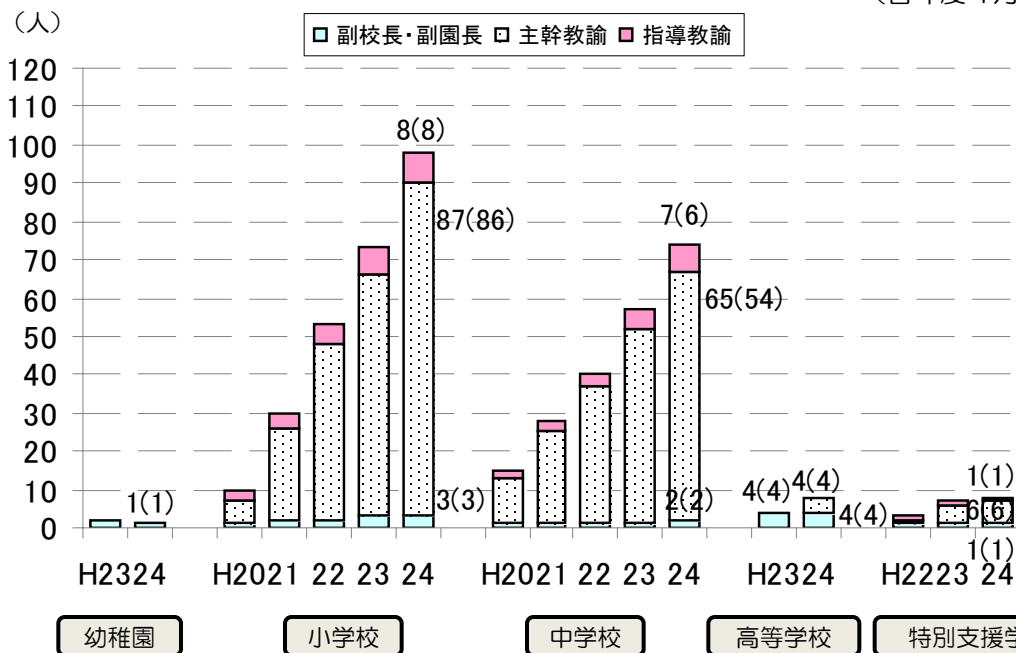


福岡市教育委員会調査

■教員採用者数は、18年度以降は200名を超えている。福岡市の志願倍率は低下しているが、採用者数は増加している。

Ⅲ－１－４ 副校長・主幹教諭・指導教諭の配置人数

(各年度4月1日時点)



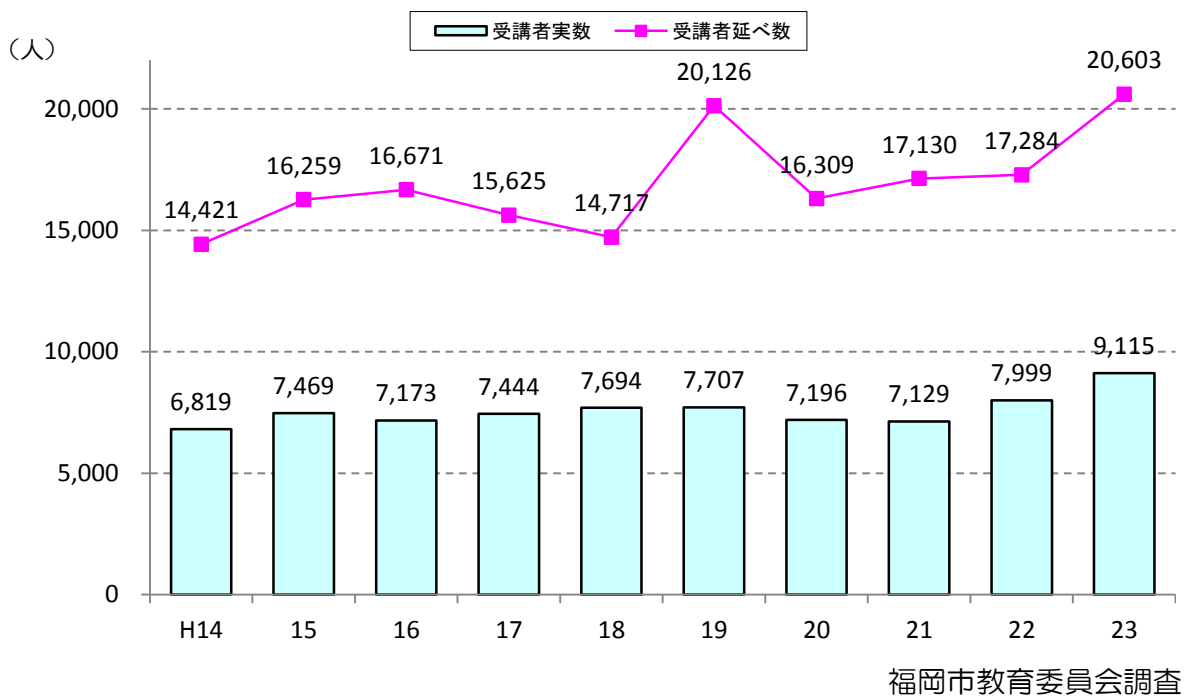
()は配置している園・学校数

福岡市教育委員会調査

■副校長・主幹教諭・指導教諭などの新たな職は、年々増加している。23年度からは、幼稚園、及び高等学校にも配置している。

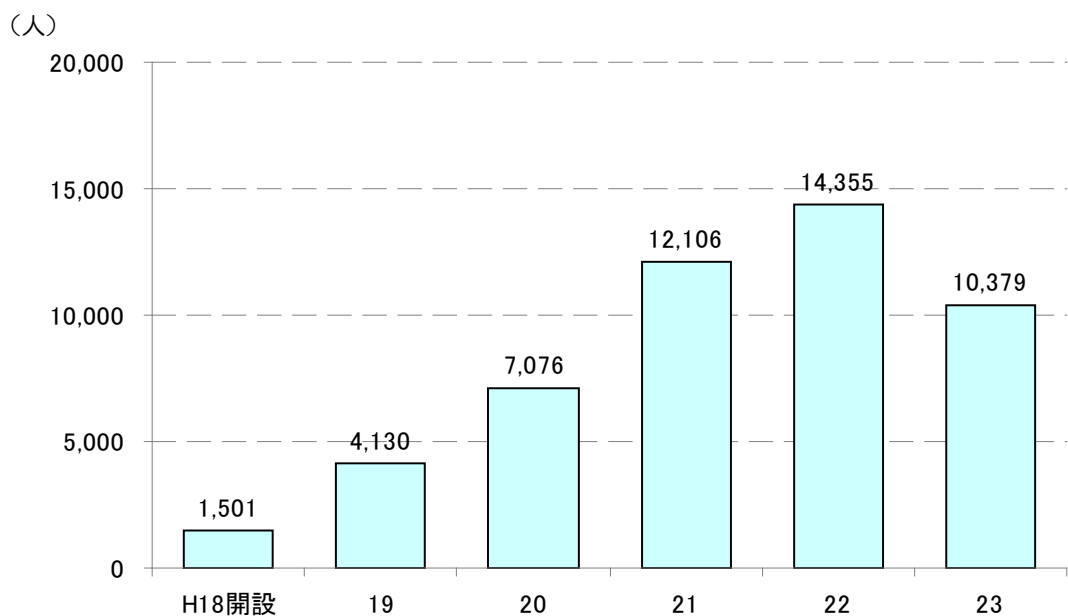
Ⅲ－２ 教職員の研修状況

Ⅲ－２－１ 教育センター研修講座受講者数の推移



■教育センター研修講座の受講者数は、昨年度より増加している。また、23年度の受講者延べ数は、20,000人を超えている。

Ⅲ－２－２ 授業力向上支援センター利用者数の推移

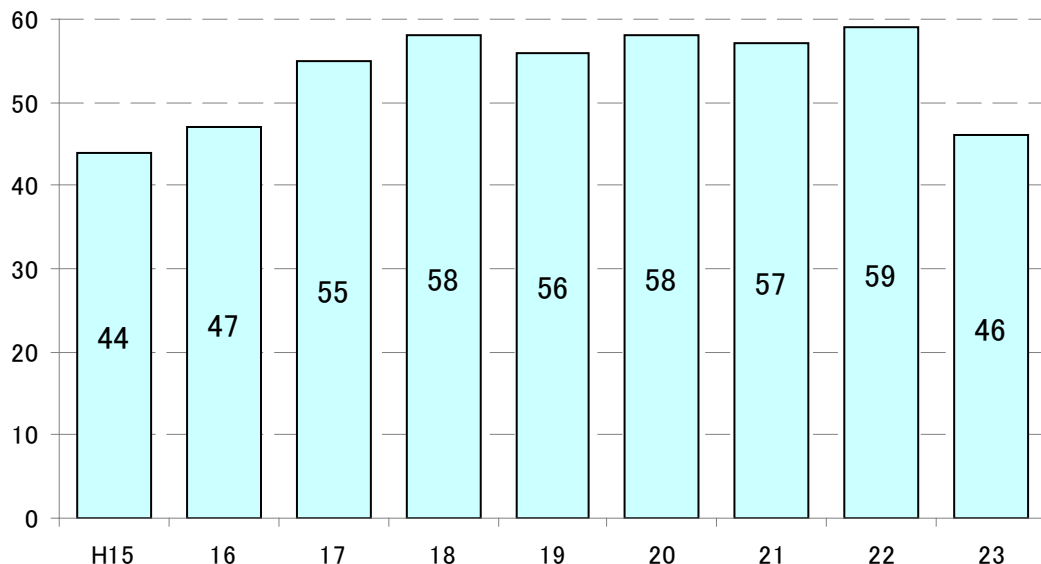


■18年度に開設された授業力向上支援センターの利用者数は、この数年、10,000人を超えている。

Ⅲ－３ 教員の休職状況

Ⅲ－３－１ 精神性疾患を原因とする病気休職者（教員）の推移

休職者数（人）

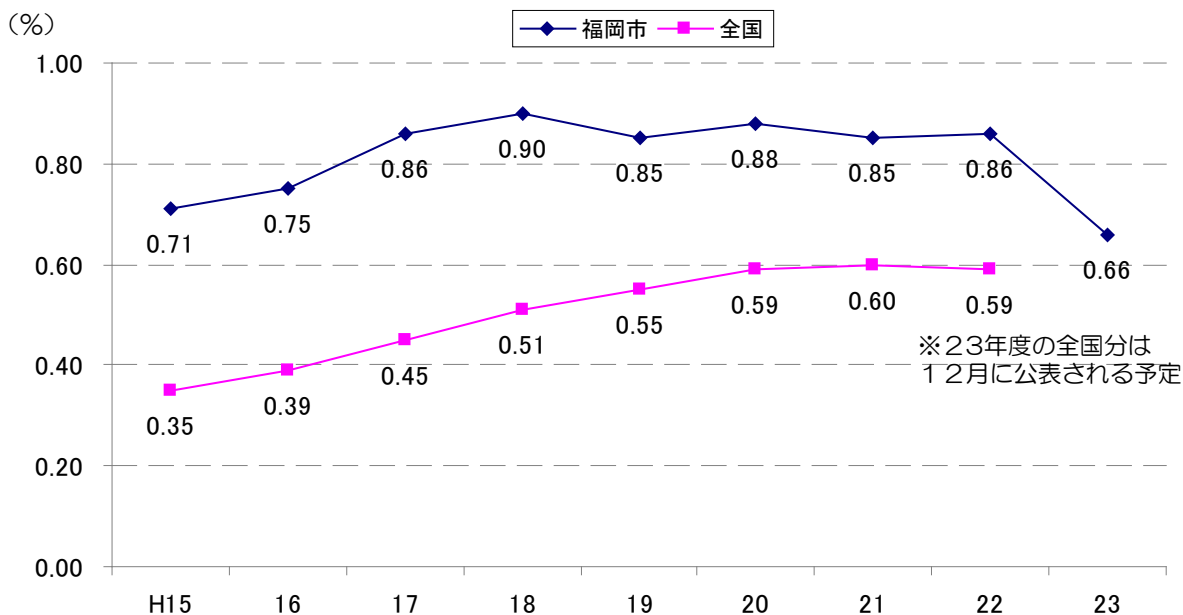


※対象者：小・中・高・特別支援学校における校長，副校長，教頭，主幹教諭，指導教諭，教諭，養護教諭，栄養教諭，常勤講師

福岡市教育委員会調査

■精神性疾患を原因とする病気休職者は，22年までは，60人弱で推移していたが，23年度の休職者数は減少している。

Ⅲ－３－２ 精神性疾患を原因とする病気休職者（教員）の割合

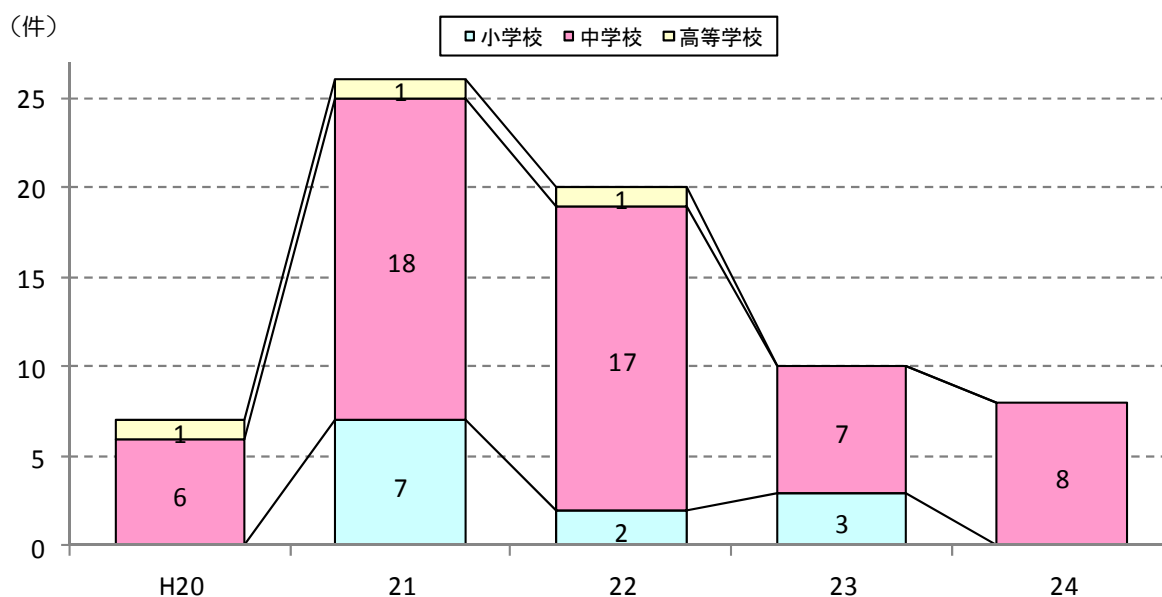


福岡市教育委員会調査

■精神性疾患を原因とする病気休職者の割合は，23年度には減少傾向に転じている。

Ⅲ－４ 体罰・処分

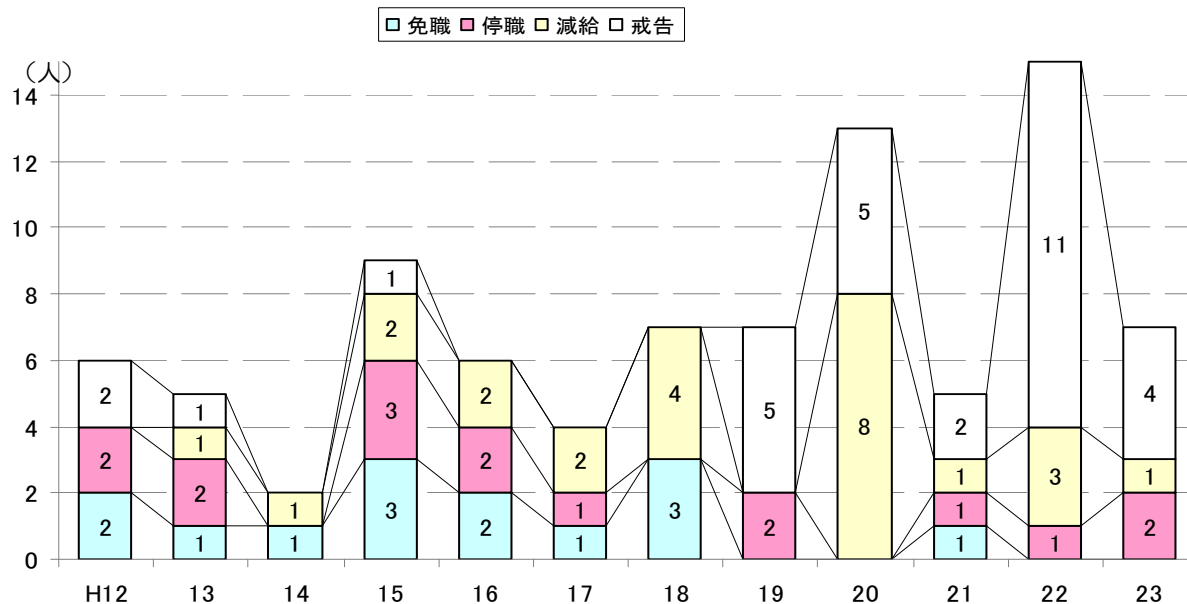
Ⅲ－４－１ 体罰による処分件数



福岡市教育委員会調査

■体罰の件数については、減少傾向となっている。学校別では、中学校が半分以上を占めている。

Ⅲ－４－２ 懲戒処分者数（教職員）の状況



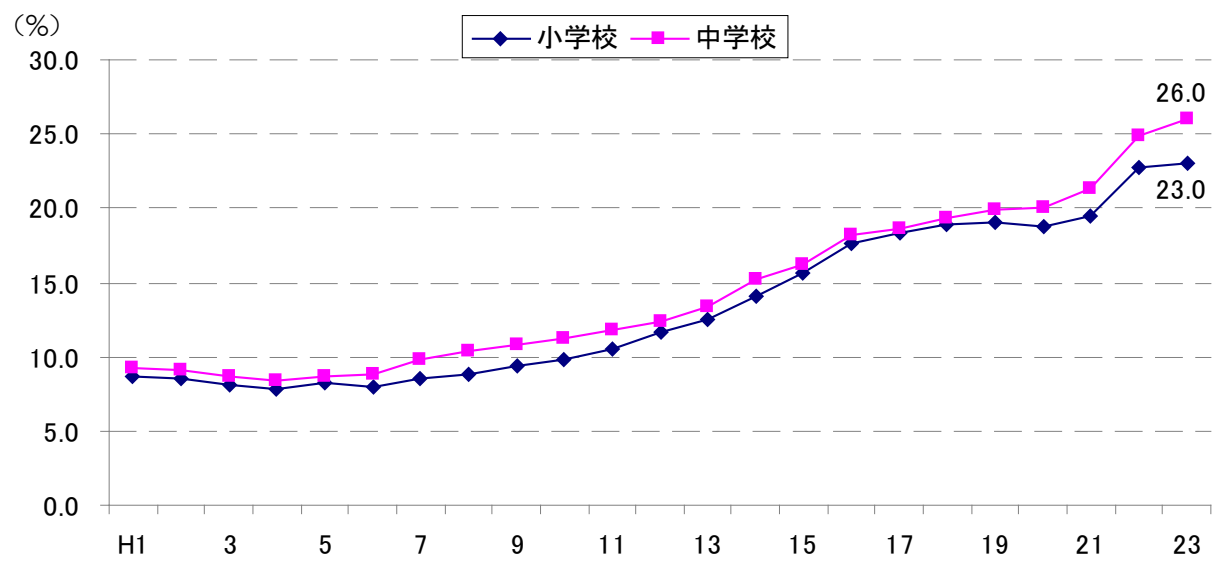
福岡市教育委員会調査

■懲戒処分者数は、年度により大きく異なるが、23年度は、戒告処分者数が減少している。

IV 家庭・地域等

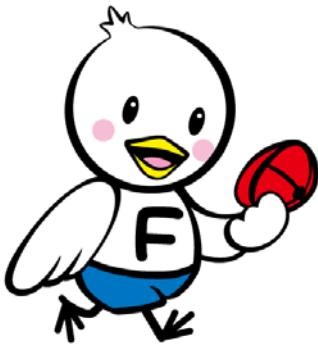
Ⅳ－１ 家庭状況

Ⅳ－１－１ 就学援助対象児童生徒数の割合



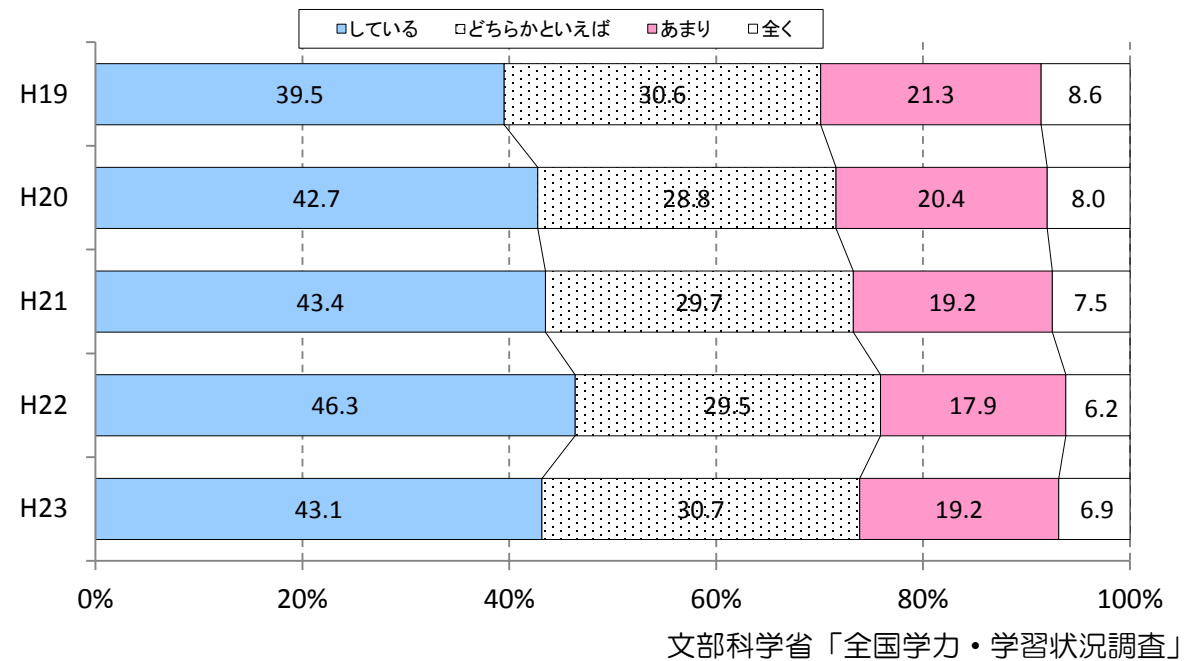
福岡市教育委員会調査

■ 就学援助対象児童生徒数は、4年度以降、増加傾向が続いている。



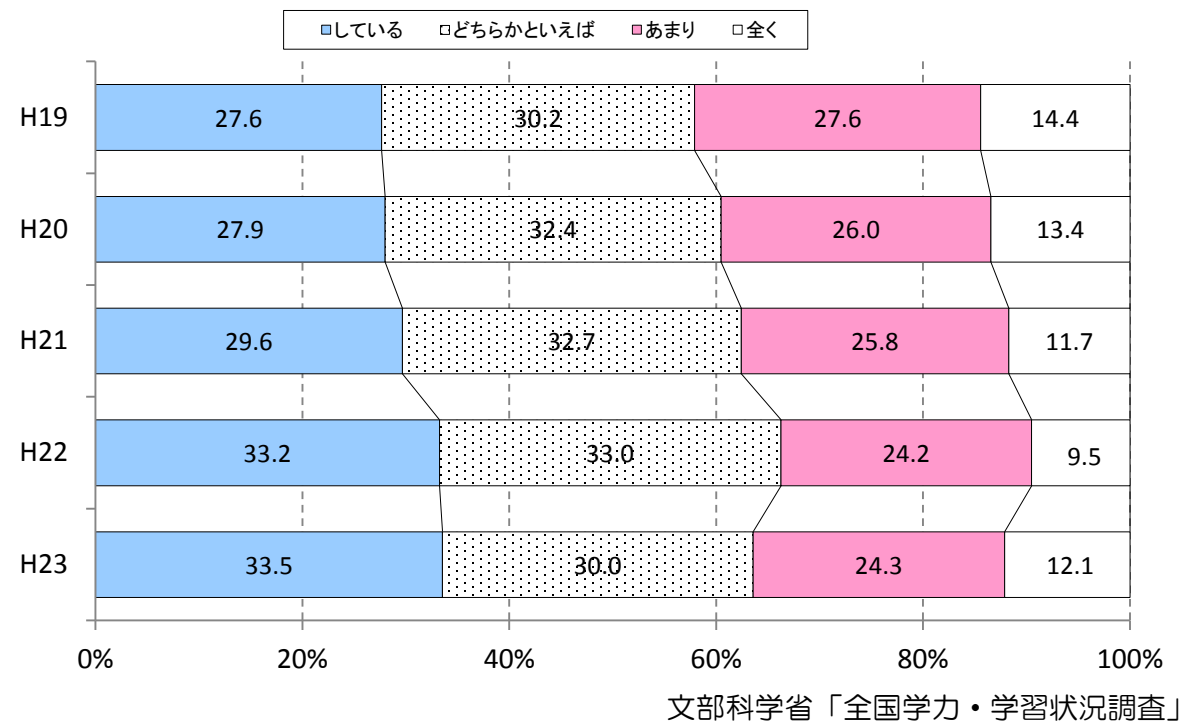
Ⅳ－２ 子どもとのかわり

Ⅳ－２－１ 学校の出来事についての会話（小学校６年）



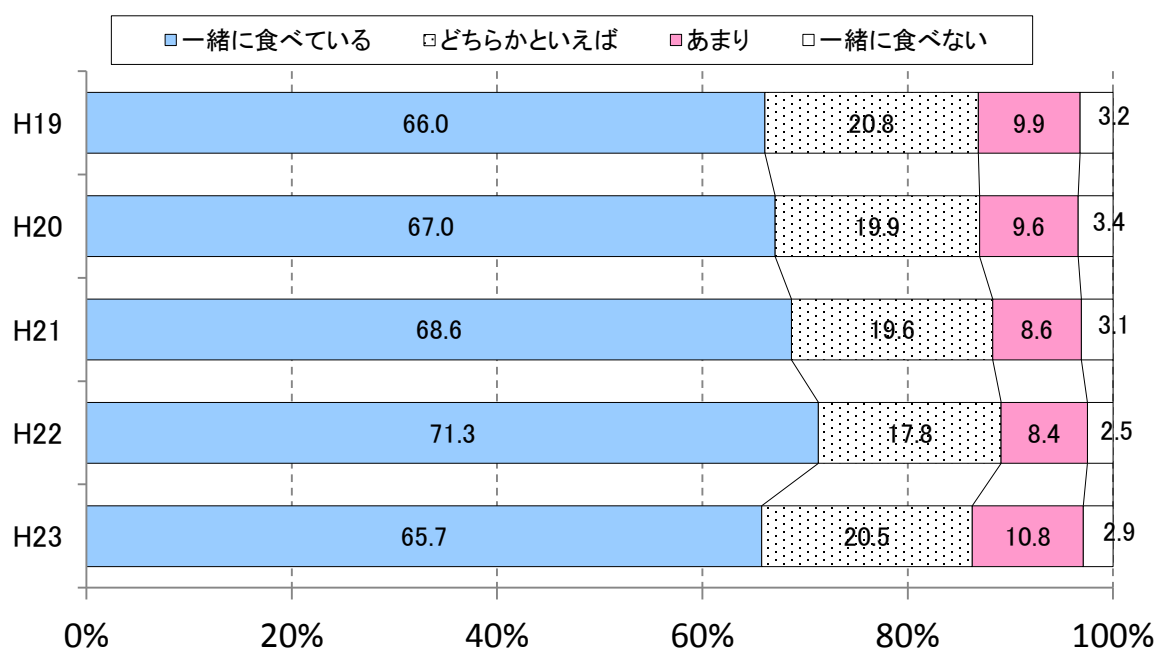
■学校の出来事について家庭で会話を「している」割合は、22年度と比較するとわずかに減少傾向にある。

Ⅳ－２－１ 学校の出来事についての会話（中学校３年）



■学校の出来事について家庭で会話を「している」割合は、年々、増加傾向にある。

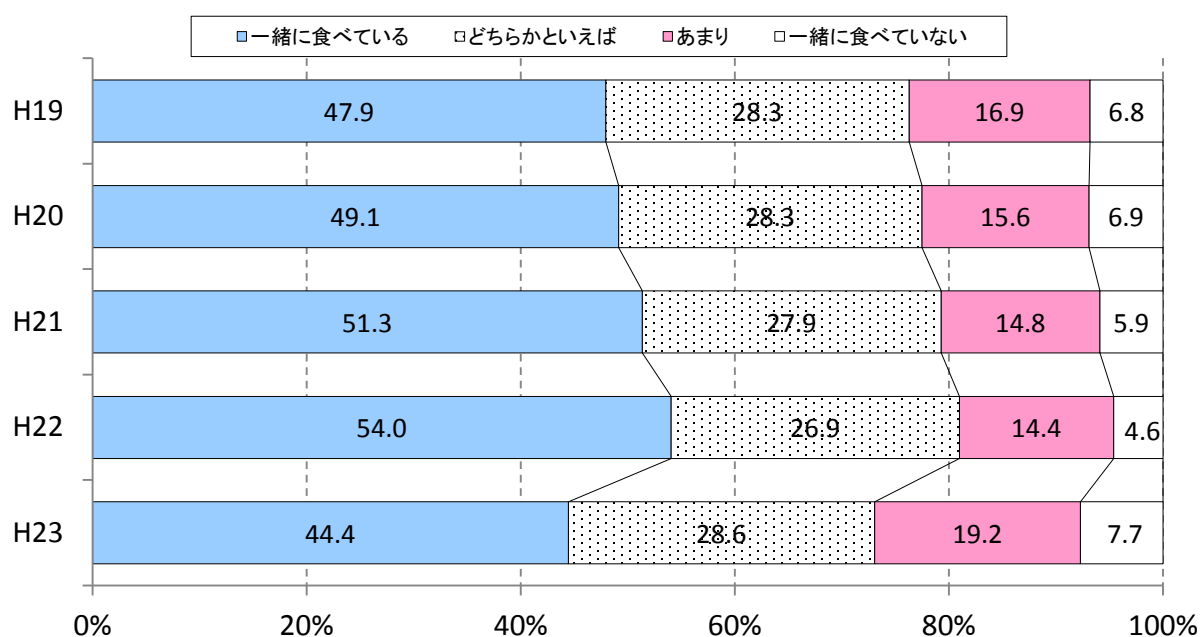
Ⅳ－２－２ 普段（月～金曜日）の家の人との夕食（小学校６年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■ 普段、家の人と「一緒に夕食を食べている」割合は、22年度と比較すると減少傾向にある。

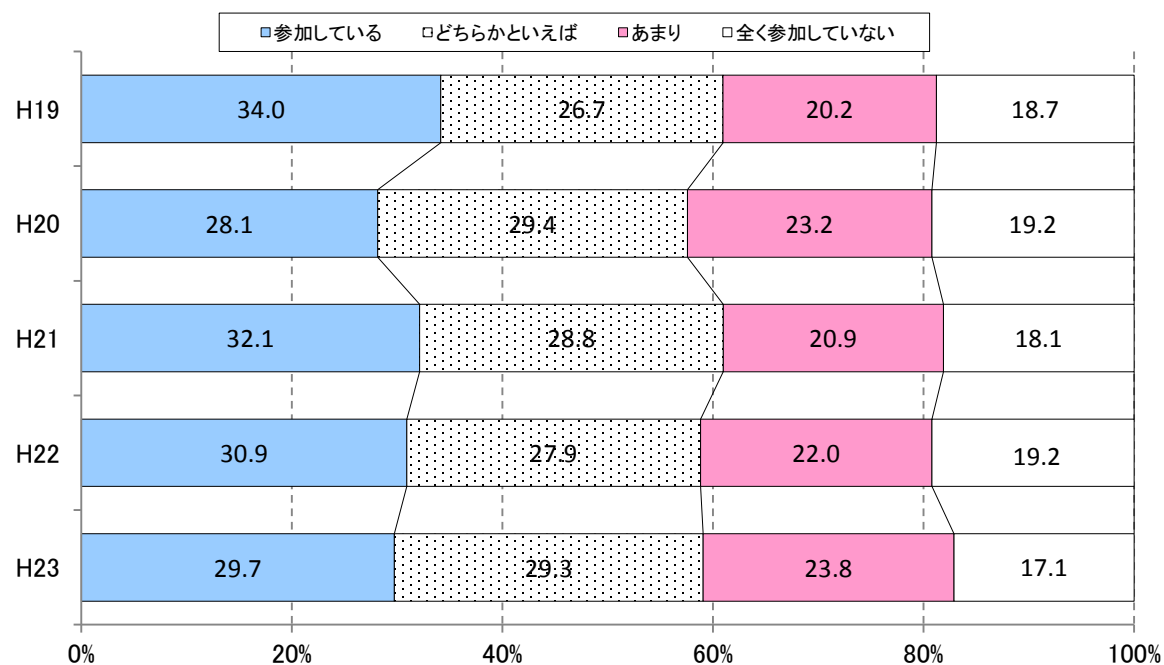
Ⅳ－２－２ 普段（月～金曜日）の家の人との夕食（中学校３年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■ 普段、家の人と一緒に夕食を食べている割合は、小学校同様、23年度は減少している。

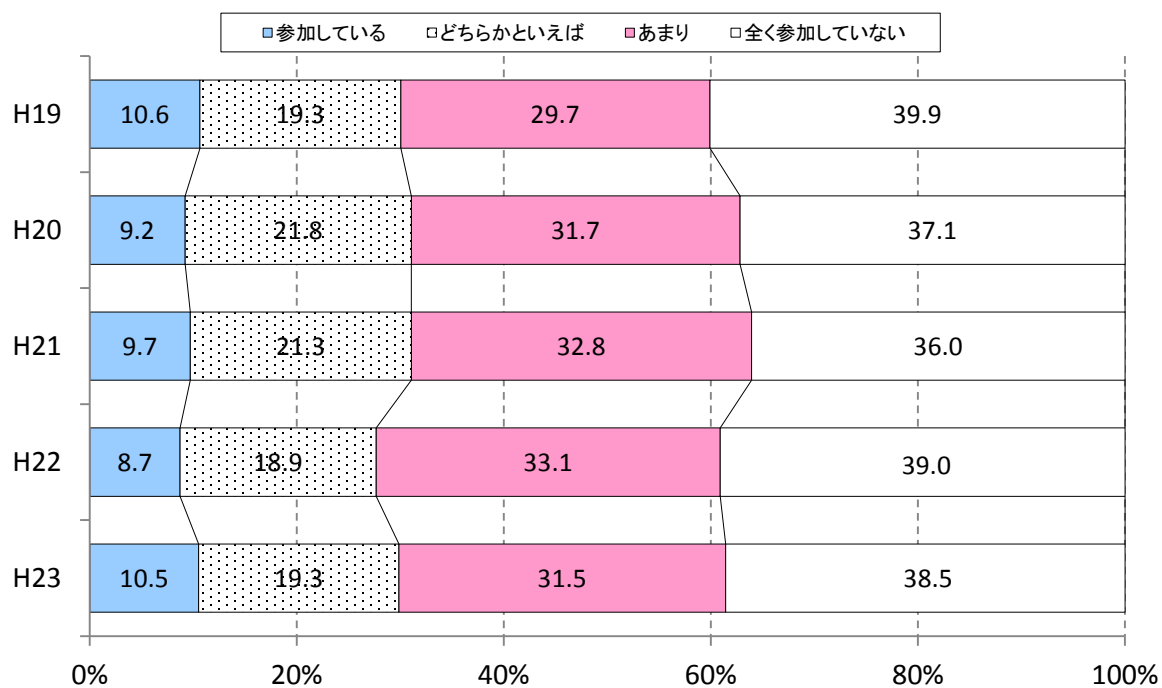
Ⅳ－２－３ 地域行事への参加（小学校６年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■地域行事への参加の割合には、大きな変化は見られない。

Ⅳ－２－３ 地域行事への参加（中学校３年）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

■地域行事への参加の割合には、大きな変化は見られない。

福岡市教育データブック（平成24年度版）

平成24年10月

編集・発行 福岡市教育委員会総務部総務企画課
福岡市中央区天神1丁目8番1号
電話 092-711-4605

